

東芝デジタル複合機 / デジタル複写機

インストールガイド






はじめに

このたびは東芝デジタル複合機 / デジタル複写機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、クライアントソフトウェアのインストール方法について説明しています。
これらの機能を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、これらの機能を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

■ 本書の読みかた

□ 本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

-  **警告** 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。
-  **注意** 「誤った取り扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示しています。
-  **注意** 操作するうえでご注意くださいの事柄を示しています。
-  **補足** 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。
-  関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

- *1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- *2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。
- *3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

□ 本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

対象機種	本文中の表記
e-STUDIO5540C/6540C/6550C	e-STUDIO6550C Series
e-STUDIO2540C/3540C/4540C	e-STUDIO4540C Series
e-STUDIO256/356/456/506	e-STUDIO456 Series
e-STUDIO656/856	e-STUDIO856 Series
e-STUDIO2050C	e-STUDIO2550C Series
e-STUDIO2555C/3555C/4555C/5055C	e-STUDIO5055C Series
e-STUIDO287CS/347CS/407CS	e-STUIDO407CS Series
e-STUIDO477S/527S	e-STUIDO527S Series
Loops LP301	Loops LP301
Loops LP30	Loops LP30
e-STUDIO5560C/6560C/6570C	e-STUDIO6570C Series
e-STUDIO257/357/457/507	e-STUDIO507 Series
e-STUDIO657/857	e-STUDIO857 Series

□ 画面と操作手順の説明について

- 本書では、Windowsでの画面および操作手順は、OSのバージョンが明記されていない場合には、Windows 7を例に説明しています。オプション機器の装着状況、お使いのOSのバージョンやアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。
- Windows Server 2008 R2をお使いの場合は、Windows 7の操作手順を参照してください。ただし、表示される画面やメニュー名などが異なることがあります。

□ 本書の表記について

本書では、東芝デジタル複合機 / デジタル複写機を総称して「複合機」と表記します。

□ 製品に付属するインストールディスクについて

本書では、ソフトウェアをインストールするためのディスクを総称して「インストールディスク」と表記します。

□ 商標について

- Windows Vistaの正式名称は、Microsoft Windows Vista Operating Systemです。
- Windows 7の正式名称は、Microsoft Windows 7 Operating Systemです。
- Windows 8の正式名称は、Microsoft Windows 8 Operating Systemです。
- Windows Server 2003の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating Systemです。
- Windows Server 2008の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 Operating Systemです。
- Windows Server 2012の正式名称は、Microsoft Windows Server 2012 Operating Systemです。
- Microsoft、Windows、Windows NT、またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac、Mac OS、Safari、iPhone、iPod touch、およびTrueTypeは、米国Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- AirPrint、AirPrintロゴ、iPadはApple Inc.の商標です。
- IOS は、米国およびその他の国におけるCisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader、Adobe Acrobat Reader およびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Mozilla、Firefox、Firefoxロゴは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- IBM、ATおよびAIXは、International Business Machines Corporationの商標です。
- NOVELL、NetWare、NDSは米国NOVELL, Inc.の商標または登録商標です。
- TopAccessは、東芝テック株式会社の商標です。
- その他、本書および本ソフトウェアに掲載または表示されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

エンドユーザソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアサプライヤーが別途提供する使用許諾契約書が適用される場合を除き、お客様は本ソフトウェアのインストールまたは使用の開始をもって、以下の契約条件に同意したとみなされます。本契約条項に同意できない場合、本ソフトウェアのインストールおよび使用はできませんので、速やかにお客様ご自身で本ソフトウェアを取得した場所にご返送ください。

使用許諾：

本契約は、エンドユーザ（以下「お客様」という）と東芝テック株式会社（以下「東芝テック」という）の間で締結する、法的効力を有する契約です。

本ソフトウェアならびにフォント（およびそのタイプフェイスを含む）、および関連するドキュメンテーション（以下「ソフトウェア」という）は、本ソフトウェアがインストールされた東芝テック製複合機と所定の機器（以下「システム」という）において、本契約条件に従って使用許諾されます。本ソフトウェアの著作権をはじめとするいかなる知的財産権、およびその他の権利ならびに所有権は東芝テックおよび／またはサプライヤーに帰属し、また所有されるものとします。東芝テックは本ソフトウェアのインストールおよび／または使用、ならびに本ソフトウェアを使用して得られる結果に対し責任を負いません。本ソフトウェアは単一のシステム上に単一の複製物をインストールして使用できるものとし、単一のシステム上で本ソフトウェアを使用する必要がある場合を除き、いかなる理由であっても本ソフトウェアを複製することはできません。いかなる本ソフトウェアの複製も本契約条件に従わなければなりません。お客様が本ソフトウェアの修正、適合、統合、翻訳、逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングを行うことはもちろん、第三者にこれらの行為を許諾することはできません。お客様が本契約条件に従わない場合、本ソフトウェアを使用することはできません。本ソフトウェアに関する知的財産権およびその他の権利はお客様には移転譲渡されないものとし、これら権利の所有権はすべて東芝テックおよび／またはサプライヤーが保持するものとします。本ソフトウェアのソースコードの使用はお客様に許諾されないものとし、お客様は本ソフトウェア（その複製を含む）の著作権表示に対し、修正、削除等を行うことができません。本ソフトウェアの著作権侵害、無許諾での移転譲渡、複製または使用に関するいかなる法的責任は、お客様に属するものとします。

期限：

本契約は、東芝テックにより任意に終了されるか、お客様による本契約条件の違反により終了されるまで、法的効力を有するものとします。本契約終了の場合、お客様には本ソフトウェアのすべての複製物を破棄していただきます。お客様は本ソフトウェアおよびそのすべての複製物を破棄することにより、随時、本契約を終了することができます。

免責事項：

本ソフトウェアは、商品市場性、特定目的との適合性、権利、権利の非侵害を含む（ただし必ずしもこれらに限定されない）いかなる明示または黙示の保証をせず、現状のまま提供するものとします。東芝テックは、本ソフトウェアの品質および性能に関する保証に対し、いかなる責任も負いません。本ソフトウェアに欠陥がある場合、その修理、修正およびサービスにかかる費用はすべてお客様の負担とし、東芝テックは責任を負いません。東芝テックは、本ソフトウェアの機能がお客様の要求を満たすこと、またはソフトウェアの動作に中断、エラーが起こらないことを保証しません。

アップデートおよび製造中止：

東芝テックはなんら制限を受けることなく、本ソフトウェアをアップデート、アップグレードし、またはその製造を中止することができます。

第三者ソフトウェア：

本ソフトウェア（将来のアップデート版、アップグレード版も含む）には第三者ソフトウェアが含まれる場合があります。このような第三者ソフトウェアは、そのサプライヤーが、使用許諾契約またはreadmeファイル（またはreadmeファイルに類するファイル）に別途定める、本契約とは異なる条件（「別途契約」等）により提供されます。お客様が第三者ソフトウェアを使用する際は、「別途契約」等に定められた条件に従うものとし、第三者ソフトウェアの条件以外は、本契約に定められた条件に従うものとします。

責任制限：

たとえ東芝テックおよびそのサプライヤーが次のような損害の可能性を示唆されていたとしても、東芝テックは本契約の記述あるいは不法行為の有無を問わず（東芝テックの過失による人身傷害または死亡を除き）、本ソフトウェアの使用または使用不能から発生する利益損失、データ損失、資産損失、あるいはその他の偶発的、特別的または間接的損害を含むいかなる損害に対しても、お客様および第三者に対し一切の責任を有さないものとします。

一般事項：

お客様は本ソフトウェアもしくはその使用权をサブライセンス、リース、貸与、付与譲渡または移転できないものとします。本契約に基づきいかなる権利、責務または義務に対するサブライセンス、リース、貸与、付与譲渡または移転の試みは、すべて無効とします。日本政府、米国政府および関連国政府が禁止する国または目的地への、お客様による本ソフトウェア（本ソフトウェアの複製、本ソフトウェアまたはそのメディアに含まれる技術情報、その他の関連する直接的製品を含む）の直接的または間接的出荷、送信、輸出または再輸出は、その試みを含め、許諾されないものとします。本契約は日本国の法律に準拠するものとし、また本契約に関して東芝テックのサプライヤーが関与する紛争が生じた場合は、その時々当該サプライヤーが指定する国の法律が適用されるものとします。本契約の一部の条項が違法、無効あるいは法的強制力なしとみなされた場合でも、その他の条項はすべて効力を維持し有効であるものとします。

お客様は本契約をお読みになり、上記の条件を理解し、同意するものとします。お客様は本契約条件に従うことに同意するものとします。さらに本契約は、お客様と東芝テックおよびそのサプライヤーとの間で締結する唯一完全な契約であり、かつ本契約の主題に関するいかなる提案、事前契約、口頭または書面その他の伝達事項より優先されることに同意したものとします。

契約者および製造元：〒141-8562 東京都品川区大崎1-11-1 東芝テック株式会社

目次

はじめに.....	1
エンドユーザソフトウェア使用許諾契約書.....	3

第1章 インストールについて

インストールディスクについて.....	10
Windows.....	10
Macintosh.....	12
UNIX/Linux.....	12
インストーラの内容.....	14
ファイアウォールソフトウェア使用時の注意事項.....	15
TopAccessからのダウンロード.....	16
Windows用インストーラのダウンロード.....	16
Macintosh用PPDファイルのダウンロード.....	18
UNIX/Linux用フィルタのダウンロード.....	19
NetWareプリントサーバーの設定.....	21
NDSモードでのNetWareプリントサーバー設定.....	21
NDPSモードでのNetWareプリントサーバー設定.....	22
Novell iPrintの設定.....	25

第2章 おすすめインストール

おすすめインストール手順.....	28
SNMP設定変更時の注意事項.....	33
お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV1およびV2の場合.....	33
お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV3の場合.....	34

第3章 プリンタドライバのインストール (Windows)

インストールする前に.....	36
プリンタドライバの種類.....	36
必要条件.....	36
インストール手順について.....	37
プリンタドライバのインストール.....	39
Software Installerを使ってインストールする.....	40
個別インストーラを使ってインストールする.....	60
TopAccessからインストールする.....	79
本機の共有フォルダからインストールする.....	81
その他のインストール.....	83
Raw TCP/LPR印刷 (プリンタの追加ウィザード).....	83
USB印刷.....	88
IPP印刷.....	98
Novell iPrint印刷.....	111
Web Serviceプリント.....	112
Windows用PPDファイルのコピー.....	122
プリンタドライバのアンインストール.....	123
Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2012.....	123
Windows Vista / Windows Server 2008.....	125
Windows Server 2003.....	127

第4章 プリンタドライバのインストール (Macintosh)

インストールについて	130
Macintoshのクライアントソフトウェアについて	130
計画と準備	130
プリンタのインストール (Mac OS X 10.4.x~10.10.x)	131
Macintosh PPDファイルのインストール	131
プラグインのインストール (Mac OS X 10.4.x~10.6.x)	135
プリンタの設定 (Mac OS X 10.7.x~10.10.x)	138
プリンタの設定 (Mac OS X 10.5.x~10.6.x)	147
プリンタの設定 (Mac OS X 10.4.x)	156
Macintosh PPDのアンインストール	166

第5章 プリンタドライバのインストール (UNIX/Linux)

UNIX/Linuxフィルタの設定	168
UNIX/Linuxフィルタについて	168
必要条件	169
ユーザ認証機能使用時の注意事項	169
UNIX/Linuxフィルタによるプリンタの設定	169
CUPSの設定	179
CUPSについて	179
CUPSによるプリンタの設定	180

第6章 スキャンドライバ&ユーティリティのインストール

インストールする前に	202
スキャンドライバ&ユーティリティの種類	202
必要条件	202
スキャンドライバ&ユーティリティのインストール	204
インストール手順	204
WIAドライバをインストールする	207
アンインストールする	211

第7章 ネットワークファクスユーティリティのインストール

インストールする前に	214
ネットワークファクスユーティリティの種類	214
必要条件	214
ネットワークファクスユーティリティのインストール	215
Web Serviceプリントによるインストール	217
ネットワークファクスユーティリティのアンインストール	218
N/W-Faxドライバのアンインストール	218
AddressBook Viewerのアンインストール	218

第8章 ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityをインストールする前に	220
必要条件	220
ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール	221

アンインストールする	224
第9章 インストールのメンテナンス	
<hr/>	
クライアントソフトウェアの削除	226
Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012.....	226
Windows Server 2003	230
クライアントソフトウェアの修復	232
索引	235

インストールについて

インストールの概要について説明します。

インストールディスクについて	10
Windows	10
Macintosh	12
UNIX/Linux	12
インストーラの内容	14
ファイアウォールソフトウェア使用時の注意事項	15
TopAccessからのダウンロード	16
Windows用インストーラのダウンロード	16
Macintosh用PPDファイルのダウンロード	18
UNIX/Linux用フィルタのダウンロード	19
NetWareプリントサーバーの設定	21
NDSモードでのNetWareプリントサーバー設定	21
NDPSモードでのNetWareプリントサーバー設定	22
Novell iPrintの設定	25

インストールディスクについて

■ Windows

下記コンテンツがインストールディスクに収録されています。

クライアントソフトウェア・インストーラ

[インストールディスク] : ¥e-STUDIO ¥Setup.exe

Universal Printer 2ドライバとその他のクライアントソフトウェアをお使いのコンピュータに一括してインストールするためのセットアッププログラムです。

Universal Printer 2ドライバ

以下のフォルダには、「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使って、Universal Printer 2ドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2003 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012にインストールできます。

- 32ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク] : ¥Client ¥Drivers ¥UNI ¥32bit ¥
- 64ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク] : ¥Client ¥Drivers ¥UNI ¥64bit ¥

補 足

Universal Printer 2ドライバは、印刷に使用するPDL（Page Description Language：ページ記述言語）を切り替えて使用することができます（「PCL6」⇔「PostScript」）。また、e-STUDIO Seriesの他機種を利用し印刷することもできます。詳しくは、**印刷ガイド**を参照してください。

Universal PS3プリンタドライバ（PostScript）

以下のフォルダには、「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使って、Universal PS3プリンタドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2003 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012にインストールできます。

- 32ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク] : ¥Client ¥Drivers ¥PS ¥32bit ¥
- 64ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク] : ¥Client ¥Drivers ¥PS ¥64bit ¥

Universal XPSプリンタドライバ

以下のフォルダには、「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使って、Universal XPS プリンタドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2003にインストールできます。

- 32ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク] : ¥Client ¥Drivers ¥XPS ¥32bit ¥
- 64ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク] : ¥Client ¥Drivers ¥XPS ¥64bit ¥

補 足

Universal XPSプリンタドライバは、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8、またはXPS Essentials PackがインストールされているWindows Server 2003 SP2以降のコンピュータにインストールできます。

Windows PPDファイル

以下のフォルダには、印刷する際にPPDファイルを必要とするWindowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。

ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- [インストールディスク] : ¥Client ¥ Drivers ¥ WinPPD ¥ 2-sided_default ¥
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
- [インストールディスク] : ¥Client ¥ Drivers ¥ WinPPD ¥ normal ¥
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

補 足

カラー MFPの場合は「TSES6D_1.PPD」を、モノクロMFPの場合は「TSES8O_1.PPD」をお使いください。

N/W-Faxドライバ

以下のフォルダには、「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使って、N/W-Faxドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2003 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012にインストールできます。

- 32ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク] : ¥Client ¥ FAX ¥ 32bit ¥
- 64ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク] : ¥Client ¥ FAX ¥ 64bit ¥

AddressBook Viewer

以下のフォルダには、AddressBook Viewerをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2003 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012にインストールできます。

- 32ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク] : ¥Client ¥ ADRBK ¥ 32bit ¥
- 64ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク] : ¥Client ¥ ADRBK ¥ 64bit

ファイルダウンローダ

以下のフォルダには、ファイルダウンローダをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

[インストールディスク] : ¥Client ¥ FD ¥

Remote Scanドライバ

以下のフォルダには、Remote Scanドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

- 32ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク] : ¥Client ¥ RS ¥ 32bit ¥
- 64ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク] : ¥Client ¥ RS ¥ 64bit ¥

TWAINドライバ

以下のフォルダには、TWAINドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

- 32ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク] : ¥Client ¥ TWAIN ¥ 32bit ¥
- 64ビット版のコンピュータをお使いの場合
[インストールディスク] : ¥Client ¥ TWAIN ¥ 64bit ¥

WIAドライバ

以下のフォルダには、WIAドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2003 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012にインストールできます。

[インストールディスク] : ¥Client ¥ WIA ¥

TOSHIBA Office Scan Add-In ツール

Microsoft Office 2013で、「Remote Scan driver」、「TWAIN driver」、「WIA driver」を利用するためのAdd-In ツールです。

[インストールディスク] : ¥ Admin ¥ Add-In ¥

■ Macintosh

下記コンテンツがインストールディスクに収録されています。

Macintosh PPDファイル

Mac OS X 10.4.x~10.6.x 用

以下のフォルダには、Mac OS X 10.4.x~10.6.xのバージョンで使用するPPDファイルおよびプラグインが収録されています。

- [インストールディスク] : MacPPD/OSX10_4-10_6
Mac OS X 10.4.x~10.6.xのバージョンで使用するプラグインです。
- [インストールディスク] : MacPPD/OSX10_4-10_6/2-sided_default
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
- [インストールディスク] : MacPPD/OSX10_4-10_6/normal
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

Mac OS X 10.7以降用

以下のフォルダには、Mac OS X 10.7以降のバージョンで使用するPPDファイルおよびプラグインが収録されています。

- [インストールディスク] : MacPPD/OSX10_7-
Mac OS X 10.7以降のバージョンで使用するプラグインです。
- [インストールディスク] : MacPPD/OSX10_7-/2-sided_default
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
- [インストールディスク] : MacPPD/OSX10_7-/normal
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

■ UNIX/Linux

下記コンテンツがインストールディスクに収録されています。

Solarisフィルタ

以下のフォルダには、Solaris v2.6/2.7/7.8/8/9/10用tarファイルが収録されています。

ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
[インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/SolarisFilter/Usa/
- モノクロMFP
[インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/SolarisFilter/Usa/

HP-UXフィルタ/HP-UX64フィルタ

以下のフォルダには、HP-UX ver.10.20/11.x用およびHP-UX64 ver.11.31用のtarファイルが収録されています。

ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
[インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/HP-UXFilter/Usa/
- モノクロMFP
[インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/HP-UXFilter/Usa/

AIXフィルタ

以下のフォルダには、AIX 4.3.3用tarファイルが収録されています。

ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
[インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/AIXFilter/Usa/
- モノクロMFP
[インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/AIXFilter/Usa/

Linuxフィルタ

以下のフォルダには、Red Hat 7.x/8.x/9.x、Red Hat Enterprise WS2、SuSE Linux 7.x/8.x/9.x、Mandrake Linux 7.x/8.x/9.x、Turbolinux 8/10用tarファイルが収録されています。

ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
[インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/LinuxFilter/Usa/
- モノクロMFP
[インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/LinuxFilter/Usa/

SCO UNIXフィルタ

以下のフォルダには、SCO UNIXWare 7およびSCO Open UNIX 8用tarファイルが収録されています。ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
[インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/OpenUnixFilter/Usa/
- モノクロMFP
[インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/OpenUnixFilter/Usa/

CUPS PPDファイル

以下のフォルダには、UNIX/LinuxのCUPS環境からの印刷に使用するPPDファイルが収録されています。ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
 - [インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/CUPS/Usa/2-sided_default/
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
 - [インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/CUPS/Usa/normal/
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。
- モノクロMFP
 - [インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/CUPS/Usa/2-sided_default/
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
 - [インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/CUPS/Usa/normal/
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

インストーラの内容

インストールディスクにて提供されているインストーラでは、以下のソフトウェアをインストールすることができます。

プリンタドライバ（プリント機能）

プリンタドライバは、お使いのアプリケーションから印刷を行うためのソフトウェアです。本機では、Universal Printer 2（PCL6、PostScript）、Universal PS3（PostScript）、Universal XPSの3種類のプリンタドライバを用意しています。これらのドライバは、アプリケーションでは設定できないような、文書レイアウトやページ組みなど、高度な印刷機能を提供します。

補 足

Universal XPSプリンタドライバは、Windows Vista / Windows 7、またはXPS Essentials PackがインストールされているWindows Server 2003 SP2以降のコンピュータにインストールできます。

TWAINドライバ（スキャン機能）

ファイリングボックスに保管された文書をTWAIN対応アプリケーションに画像として取り込むことができます。

ファイルダウンローダ

ファイリングボックスに保管された文書をお使いのコンピュータのハードディスクにファイルとして取り込むことができます。

Remote Scanドライバ（スキャン機能）

Remote Scanドライバを使用すると、お使いのWindowsコンピュータからリモート操作でスキャンを行い、スキャンした画像をTWAIN対応アプリケーションに取り込むことができます。

WIAドライバ（スキャン機能）

WIAドライバを使用すると、お使いのWindowsコンピュータからリモート操作でスキャンを行い、スキャンした画像をWIA対応アプリケーションに取り込むことができます。

N/W-Faxドライバ（プリント機能）

N/W-Faxドライバを使用すると、お使いのWindowsコンピュータから任意の宛先へ文書をファクス送信することができます。

AddressBook Viewer

AddressBook Viewerを使用すると、連絡先のファクス番号やEメールアドレスを効率よく管理することができます。また、AddressBook Viewerで管理しているファクス番号やEメールアドレスは、N/W-Faxドライバを用いてファクスを送信する際に宛先として利用することができます。

ファイアウォールソフトウェア使用時の注意事項

Windows コンピュータでファイアウォールソフトウェアを使用している環境の場合、本機とコンピュータ間のネットワーク通信をファイアウォールソフトウェアがブロックしてしまい、インストールが実行できなくなることがあります。インストールを開始する前に現在の環境を確認し、もしファイアウォールソフトウェアを使用している場合は、ネットワーク管理者へ問い合わせる指示に従ってください。

なお、ネットワーク通信が必要となるクライアントソフトウェアとその実行ファイルは以下のとおりです。ファイアウォールソフトウェアの例外設定を行う際の参考にしてください。

個別インストーラ : setup.exe

Software Installer : Setup.exe

プリンタドライバ、N/W-Faxドライバ : printui.exe

ファイルダウンローダ : ESFileDL.exe

AddressBook Viewer : ABVExe.exe (32ビット版用)、ABVExe6.exe (64ビット版用)

Backup/Restore Utility : ESeFBKRT.exe

注意

- TWAIN ドライバ、Remote Scan ドライバ、WIA ドライバに関しては、各ドライバに対応したアプリケーションソフトウェアの実行ファイルを例外設定する必要があります。
- 個別インストーラまたは Software Installer を例外設定した場合、インストールが完了した後で各実行ファイルに対する例外設定を解除してください。

TopAccessからのダウンロード

システム管理者がクライアントソフトウェアを本機にアップロードしてある場合、各ユーザはTopAccessからインストーラやインストールに必要なファイルをダウンロードすることができます。

TopAccessからは、以下のソフトウェアをダウンロードすることができます。

- Windows用インストーラ
📖 P.16 「Windows用インストーラのダウンロード」
- Macintosh用PPDファイル
📖 P.18 「Macintosh用PPDファイルのダウンロード」
- UNIX/Linux用フィルタ
📖 P.19 「UNIX/Linux用フィルタのダウンロード」

補足

- サービスパックが適用されたWindows Server 2003の場合、TopAccessからドライバソフトウェアをダウンロードできないことがあります。ダウンロードできないときには、他の方法でインストールしてください。
- TopAccessの起動方法や、ソフトウェアを本機へアップロードする方法については、**TopAccessガイド**を参照してください。

■ Windows用インストーラのダウンロード

1 TopAccessの画面下にある【ソフトウェアのインストール】リンクをクリックします。

The screenshot shows the TopAccess web interface. At the top, there are navigation tabs: 装置 (Devices), ジョブ (Jobs), ログ (Logs), 登録 (Registration), and カウンタ (Counters). The main content area is titled "装置" (Devices) and displays information for a specific device. On the left, there is an image of a printer and a table of options. In the center, there is a table of device information. On the right, there is a table of paper sizes. At the bottom, there is a navigation bar with a link labeled "ソフトウェアのインストール" (Software Installation) which is highlighted by a mouse cursor.

装置情報	
状態	待機中
名称	MFP07088510
設置場所	
MFPモデル	TOSHIBA e-STUDIO6550C
シリアル番号	CLE000047
MACアドレス	00:80:91:6C:29:7E
メインメモリサイズ	2048 MB
ページメモリサイズ	1024 MB
ローカル共有フォルダとファイリングボックスの容量	25973 MB
ファクスマモリ容量	977 MB
連絡先	
電話番号	0
メッセージ	
警告	*

オプション	
フィニッシュ	なし
リッチユニット	なし
ファクス	なし

トナー	
イエロー(Y)	100%
マゼンタ(M)	100%
シアン(C)	75%
ブラック(K)	75%

用紙サイズ				
カセット	紙サイズ	タイプ	容量	状態
1段目カセット	A4	普通紙	540	少
2段目カセット	A3	普通紙	540	少
3段目カセット	A4R	普通紙	540	少
4段目カセット	B4	普通紙	540	少

[インストールクライアントソフトウェア] ページが表示されます。

2 [Install Client1] リンクをクリックします。



補足

このページには、TopAccessからプリンタドライバをインストールするためのリンクも表示されます。それらをインストールする方法については、以下のセクションを参照してください。

📖 P.79 「TopAccessからインストールする」

3 表示されるプロンプト画面に従い、Install Client1ファイルをデスクトップにダウンロードします。

4 ダウンロードしたファイルをダブルクリックして解凍します。

解凍すると、各「WebInstaller.exe」が収められたフォルダが展開されます。これらを使ってインストールするにはAdministrator権限で「WebInstaller.exe」を起動します。Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008の場合、Administrator権限を持たないユーザは「WebInstaller.exe」を右クリックして「管理者として実行」(「管理者で実行」)でAdministratorのパスワードを入力することでインストールできます。WebInstaller.exeが収められているフォルダは以下の名称です。

- ABV32 : AddressBook Viewerのインストーラが入っています。(32ビット版)
- ABV64 : AddressBook Viewerのインストーラが入っています。(64ビット版)
- FD : ファイルダウンローダのインストーラが入っています。
- NWFAX : N/W-Faxドライバのインストーラが入っています。
- UNI : Universal Printer 2ドライバのインストーラが入っています。
- PS3 : Universal PS3プリンタドライバのインストーラが入っています。
- RS32 : Remote Scanドライバのインストーラが入っています。(32ビット版)
- RS64 : Remote Scanドライバのインストーラが入っています。(64ビット版)
- TWAIN32 : TWAINドライバのインストーラが入っています。(32ビット版)
- TWAIN64 : TWAINドライバのインストーラが入っています。(64ビット版)
- WIA : WIAドライバのインストーラが入っています。
- XPS : Universal XPSプリンタドライバのインストーラが入っています。

■ Macintosh用PPDファイルのダウンロード

1 TopAccessの画面下にある [ソフトウェアのインストール] リンクをクリックします。

The screenshot shows the TopAccess web interface. At the top, there are navigation tabs: 装置 (Device), ジョブ (Job), ログ (Log), 登録 (Registration), and カウンタ (Counter). The main content area is titled "装置" (Device) and contains a device icon, a table of options, a table of toner levels, a table of device information, and a table of paper tray capacities. At the bottom of the page, there is a navigation bar with the following links: [ソフトウェアのインストール] (Install Software), [トップ] (Home), and [ヘルプ] (Help). A mouse cursor is pointing to the [ソフトウェアのインストール] link.

装置情報	
状態	待機中
名称	MFP07088510
設置場所	
MFPモデル	TOSHIBA e-STUDIO6550C
シリアル番号	CLE000047
MACアドレス	00:80:91:6C:28:7E
メインメモリサイズ	2048 MB
ページメモリサイズ	1024 MB
ローカル共有フォルダとファイリングボックスの容量	25973 MB
ファクスマモリ容量	977 MB
連絡先	
電話番号	0
メッセージ	
警告	*

オプション	
フィニッシュ	なし
リボンユニット	なし
ファクス	なし

トナー	
イエロー(Y)	100%
マゼンタ(M)	100%
シアン(C)	75%
ブラック(K)	75%

用紙サイズ				
カセット	紙サイズ	タイプ	容量	状態
1段目カセット	A4	普通紙	540	少
2段目カセット	A3	普通紙	540	少
3段目カセット	A4R	普通紙	540	少
4段目カセット	B4	普通紙	540	少

[インストールクライアントソフトウェア] ページが表示されます。

2 [Macintosh PPD Files] リンクをクリックします。

The screenshot shows the TopAccess web interface for "インストールクライアントソフトウェア" (Install Client Software). It features a navigation menu with "Drivers", "Unix Filters", and "Macintosh PPD Files". Below the menu, there is a message: "Client Installファイルをダウンロードするためにこのリンクをクリックして下さい" (Please click this link to download the Client Install file). A table lists the available files:

ファイル名	サイズ
Install Client1	51534(KB)

ソフトウェアコンポーネントの一覧が表示されます。

3 ダウンロードしたいファイルのリンクをクリックします。



TOSHIBA_xxxxxMFP_X4.dmg.gz : Mac OS X 10.4.x ~ 10.6.xのバージョンで使用するPPDファイルをダウンロードします。

TOSHIBA_xxxxxMFP_X7.dmg.gz : Mac OS X 10.7以降のバージョンで使用するPPDファイルをダウンロードします。

* ファイル名の「xxxxx」部分が、「Color」はカラーMFP用、「Mono」はモノクロMFP用のファイルとなります。お使いになる機種に合わせて選択してください。

TOSHIBA_eS-Ex_Features.dmg.gz : Mac OS X 10.4.x ~ 10.6.xのバージョンで使用するプラグインをダウンロードします。

4 表示されるプロンプト画面に従い、ファイルをデスクトップにダウンロードします。

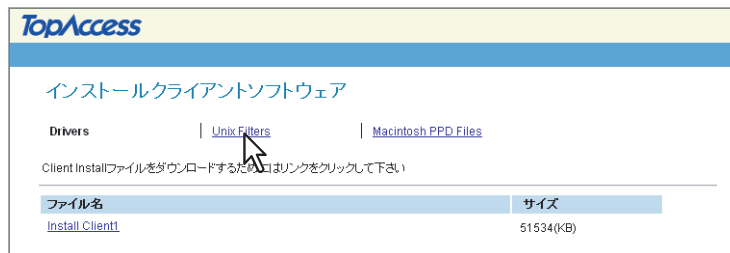
■ UNIX/Linux用フィルタのダウンロード

1 TopAccessの画面下にある【ソフトウェアのインストール】リンクをクリックします。



[インストールクライアントソフトウェア] ページが表示されます。

2 「UNIX Filters」リンクをクリックします。



ソフトウェアコンポーネントの一覧が表示されます。

3 インストールしたいUNIX/Linuxフィルタのリンクをクリックします。



4 表示されるプロンプト画面に従い、UNIX/Linuxフィルタを含むUNIX/Linuxのtarファイルをデスクトップにダウンロードします。

本機では、以下のNovell印刷サービスをサポートしています。

- NetWare 6.5 NDSモード (IPX/SPX使用時のみ)
- NetWare 6.5 NDPSモード
- NetWare 6.5 iPrintモード

ここでは、本機をNovellネットワークプリンタ、プリントサーバーもしくはNDPSプリンタエージェントとして使用するために、本機をどのように設定するかについて概要を説明します。詳細については、Novellの説明書を参照してください。

■ NDSモードでのNetWareプリントサーバー設定

NDSを使ったNetWareプリントサーバーを設定する手順は、以下のとおりです。この設定によってネットワーク内の各ユーザは自分のコンピュータから本機に印刷することができ、また本機はNetWareプリントサーバーから印刷ジョブを取り込むことができます。

- 1 NetWare Administratorで、プリンタを作成するコンテナオブジェクトを選択し、[Object] メニューから [Create] を選択します。**
[Class of new object] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [Class of new object] 一覧で、[Print Queue] を選択し、[OK] をクリックします。**
[Create Print Queue] ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [Directory Service Queue] を選択し、[Print Queue name] ボックスにプリントキューの名前を入力します。**
- 4 [Print Queue Volume] ボックスの隣にある [参照] をクリックします。**
[Select Object] ダイアログボックスが表示されます。
- 5 プリントキューを作成するボリュームを選択し、[OK] をクリックします。**
- 6 [Create] をクリックします。**
プリントキューが作成されます。
- 7 [Object] メニューから [Create] を選択します。**
[Class of new object] ダイアログボックスが表示されます。
- 8 [Class of new object] 一覧で、[Printer (Non NDPS)] を選択し、[OK] をクリックします。**
[Create Printer] ダイアログボックスが表示されます。
- 9 プリンタ名を入力し、[Define additional properties] チェックボックスをオンにしたら、[Create] をクリックします。**
- 10 [Assignments] 画面を表示し、[Add] をクリックします。**
[Select Object] ダイアログボックスが表示されます。
- 11 作成したキューを選択し、[OK] をクリックします。**
- 12 [Configuration] 画面を表示し、[Printer type] ボックスで [Other/Unknown] を選択し、[OK] をクリックします。**
プリンタが作成されます。
- 13 [Object] メニューから [Create] を選択します。**
[Class of new object] ダイアログボックスが表示されます。
- 14 [Class of new object] 一覧で、[Print Server (Non NDPS)] を選択し、[OK] をクリックします。**
[Create Print Server] ダイアログボックスが表示されます。

15 プリントサーバー名を入力し、[Define additional properties] チェックボックスをオンにしたら、[Create] をクリックします。

プリントサーバー名には、「MFP_<NICのシリアル番号>」を入力します。本機NICのシリアル番号は、コントロールパネルからの操作で印刷されるNIC設定ページで確認することができます。

16 [Assignments] 画面を表示し、[Add] をクリックします。

[Select Object] ダイアログボックスが表示されます。

17 作成したプリンタを選択し、[OK] をクリックします。

18 [OK] をクリックします。

プリントサーバーが作成されます。

■ NDPSモードでのNetWareプリントサーバー設定

本機は、TCP/IPまたはIPXプロトコルが起動しているNetWare 6.5ネットワークを経由した印刷をサポートしています。単なるIP印刷には、本機はNDPS（Novell Distributed Print Services）の機能を利用します。

注意

新しいNDPSオブジェクトを作成するには、ネットワークに対する管理者の権利を有している必要があります。

NDPSは、キューベース以前のNetWare印刷とは異なり、NDPSマネージャやプリンタエージェントを使ってタスクを管理します。また、各Windowsクライアントにてポイントアンドプリントでダウンロードできるように、NDPSブローカーを使用してプリンタドライバをNetWareプリントサーバーにアップロードすることもできます。

NDPSモードでのNetWareプリントサーバーを設定する前に、以下をご確認ください。

- Windows Vistaをクライアントコンピュータに使用する場合は、NetWare 6.5サポートパック8がインストールされていること。
- TCP/IP環境で使用する場合は、本機および、本機で印刷を実行する各コンピュータに有効なIPアドレスが設定されていること。
- TCP/IP環境で使用する場合は、本機のセットアップにおいて、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが入力されていること。
- Novell iPrintを有効にするには、あらかじめNovell iManagerがインストールされている必要があります。Novell iManagerのインストール方法については、Novell, Inc.から提供されているNovell iManagerのドキュメントを参照してください。
- iPrintクライアントがインストールされていること。

📖 P.25 「Novell iPrintのインストール」

□ NDPSの設定

1 ブラウザのアドレス欄に「https://<IPアドレス>/nps/iManager.html」を入力し、iManagerを開きます。

2 ユーザ名、パスワードおよびTreeを入力し、Novell iManagerにログインします。

3 Roles and Tasksで [iPrint] をクリックし、[Create Broker] を選択します。

Broker の作成画面が表示されます。

補足

NetWareプリントサーバーをNDPSサービスのサポートとしてすでにインストールしてある場合は、NDPSブローカーがデフォルトで作成されます。この場合は、そのデフォルトNDPSブローカーを使用することができます。

4 [Broker name] および [RMS volume] オプションを設定し、[OK] をクリックします。

NDPS Broker が作成されます。

5 Roles and Tasksで **[iPrint]** をクリックし、**[Create Print Manager]** を選択します。
Print Manager の作成画面が表示されます。

6 [Print Manager name] および **[Database volume]** オプションを設定し、**[OK]** をクリックします。
NDPS Manager が作成されます。

7 [Manage Broker] を選択します。
NDPS Broker の選択画面が表示されます。

8 [NDPS Broker name] に作成し使用するBrokerを設定し、**[OK]** をクリックします。

注意

Broker のステータスがActiveでない場合は **[Startup]** をクリックして、Brokerをロードしてください。

9 [RMS Drivers] タブを選択します。
OSの一覧のタブが表示されます。

注意

Broker が起動していない場合は、リソースの追加を操作することはできません。**[RMS Drivers]** タブが使用できない場合は、Broker の状態がActiveになっていることを確認してください。

10 一覧から適用するOSのタブを選択します。
現在インストールされているDriverが表示されます。

11 [Add From File] をクリックします。
[プリンタドライバの選択] ダイアログボックスが表示されます。

12 ディスクドライブにインストールディスクをセットします。
インストールディスクをディスクドライブにセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの **[Exit]** をクリックしてSoftware Installerを終了します。

13 お使いのWindowsのバージョンに適合するプリンタドライバがあるディレクトリを検索し、INFファイルを選択します。

- 32ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
 - Universal Printer 2ドライバ：
[インストールディスク]：¥Client¥ Drivers¥ UNI¥ 32bit
 - Universal PS3プリンタドライバ：
[インストールディスク]：¥Client¥ Drivers¥ PS¥ 32bit
- 64ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
 - Universal Printer 2ドライバ：
[インストールディスク]：¥Client¥ Drivers¥ UNI¥ 64bit
 - Universal PS3プリンタドライバ：
[インストールディスク]：¥Client¥ Drivers¥ PS¥ 64bit

14 [OK] をクリックします。
DriverのリストにインストールしたDriverが追加されます。

15 お使いのオペレーティングシステムに複数のプリンタドライバをインストールする場合は、手順11~14を繰り返します。

16 [Apply] または **[OK]** をクリックして設定を保存します。
[NDPSブローカー] ダイアログボックスに戻ります。

17 [Manage Print Manager] を選択します。
NDPS Manager の選択画面が表示されます。

18 [NDPS Manager name] に作成し使用するManagerを設定し、[OK] をクリックします。

注意

ManagerのステータスがActiveでない場合は [Startup] をクリックして、Managerをロードしてください。

19 使用する接続タイプに応じ、下記を参照して設定を続けます。

☞ P.24 「LPR接続の設定」

☞ P.24 「キューベース接続の設定」

□ LPR接続の設定

1 [Create Printer] を選択します。

Printer作成画面が表示されます。

2 [Printer name] および [Print Manager name] オプションを設定し、[Gateway Type] 一覧から [Novell Gateway] を選択したら、[Next] をクリックします。

Novell Gatewayの設定画面が表示されます。

3 [Host IP address] に本機のIPアドレス、[LPR Printer name] のPORT_PASSTHROUGHを設定したら、[Next] をクリックします。

Driverの選択画面が表示されます。

4 各OSタブの [プリンタドライバ] 一覧からインストールするプリンタドライバを選択し、[Next] をクリックします。

プリンタが正常に作成されたことを示す画面が表示されます。

5 [OK]をクリックします。

□ キューベース接続の設定

1 [Manage Printer] を選択します。

2 [NDPS Printer name] に本機用に作成したPrinterを選択し、[OK] をクリックします。

注意

事前にLPR接続でPrinterを作成しておいてください。

3 [Client Support] タブを選択します。

クライアントのサポート情報が表示されます。

4 [QMS Support] を選択します。

5 [Add] をクリックします。

キューを選択するダイアログボックスが表示されます。

6 使用するNDSキューを選択し、[OK] をクリックします。

キューのリストに選択したキューが表示されます。

注意

事前にNDSキューを作成しておいてください。

7 [Apply] または [OK] をクリックして設定を保存します。

■ Novell iPrintの設定

本機はNovell iPrintをサポートしています。Novell iPrintを利用すると、クライアントコンピュータからURLでアクセスできるプリンタをセットアップすることができます。

Novell iPrintは、NDPSアーキテクチャをベースとしていますので、使用する前にNetWareプリントサーバーへNDPSをインストールしておく必要があります。

Novell iPrintを設定する前に、以下の事項を確認してください。

- NDPSブローカー、NDPSマネージャ、およびNDPSプリンタがすでに作成されていること。
 P.22 「NDPSの設定」
- Novell iManagerがインストールされていること。
 Novell iManagerの詳細については、Novell, Inc.から提供されているNovell iManagerのドキュメントを参照してください。

Novell iPrintシステムをセットアップするには、以下の手順で設定を行います。

1. Novell iPrintをインストールする
 P.25 「Novell iPrintのインストール」
2. プリントサービスマネージャでDNSを有効にする
 P.25 「DNSの有効化」
3. iPrintサービスを有効にする
 P.26 「Novell iPrintの有効化」

□ Novell iPrintのインストール

- 1 「`http://[NetWare serverのIPアドレス]/ipp`」からiPrint Clientをインストールします。

□ DNSの有効化

プリントサービスマネージャでDNSを有効にする前に、DNSサーバーにプリントサービスマネージャのDNS名を登録してください。

DNSサーバーへの登録が完了したら、以下の手順に従いプリントサービスマネージャでDNSを有効にします。

- 1 サーバーコンソール画面で、以下のコマンドを入力します。

```
NDPSM <NDPS マネージャ名> /dnsname=<NDPS マネージャ DNS名>
```

□ Novell iPrintの有効化

プリントサービスマネージャでDNSを有効にしたら、Novell iManagerを使用してNovell iPrintを有効にします。

注意

- Novell iPrintを有効にするには、あらかじめNovell iManagerがインストールされている必要があります。Novell iManagerのインストール方法については、Novell, Inc.から提供されているNovell iManagerのドキュメントを参照してください。
- Novell iManagerにアクセスするには、以下のブラウザを使用する必要があります。サポートするブラウザは、インストールされているNovell iManagerのバージョンによって異なります。

Novell iManager 1.5.2の場合

- Microsoft Internet Explorer 5.5以降（推奨）
- Netscape 6.2以降

Novell iManager 2.0.xの場合

- Microsoft Internet Explorer 6 SP1以降（推奨）
- Netscape 7.1以降
- Mozilla 1.4以降

- 1** ブラウザのアドレス欄に「<https://<IPアドレス>/nps/iManager.html>」を入力し、iManagerを開きます。
- 2** ユーザ名、パスワードおよびTreeを入力し、Novell iManagerにログインします。
- 3** Roles and Tasks の [iPrint] をクリックし、[Manage Printer] をクリックします。
- 4** 本機用に作成したプリンタを選択します。
- 5** [OK] をクリックします。
- 6** [Client Support] をクリックし、[iPrint Support] をクリックします。
- 7** [Enable iPrint support] チェックボックスをオンにします。
- 8** セキュア印刷を行う場合は、[Enable secure printing] チェックボックスをオンにします。
このオプションを有効にすると、印刷時にeDirectoryを使用したユーザ名およびパスワードの入力が必要になります。
- 9** [Apply] または [OK] をクリックして設定を保存します。

おすすめインストール

おすすめインストール手順について説明します。

おすすめインストール手順	28
SNMP設定変更時の注意事項	33

おすすめインストール手順

WindowsコンピュータにUniversal Printer 2ドライバとその他のクライアントソフトウェアをインストールする場合は、おすすめインストールの手順でソフトウェアをインストールしてください。

注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

なお、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してインストールを実行することができます。

- インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダを開き、「Setup.exe」をダブルクリックします。
- [ユーザアカウント制御] ダイアログボックスが表示されますので、管理者のパスワードを入力した後、[はい] ([OK]) をクリックします。

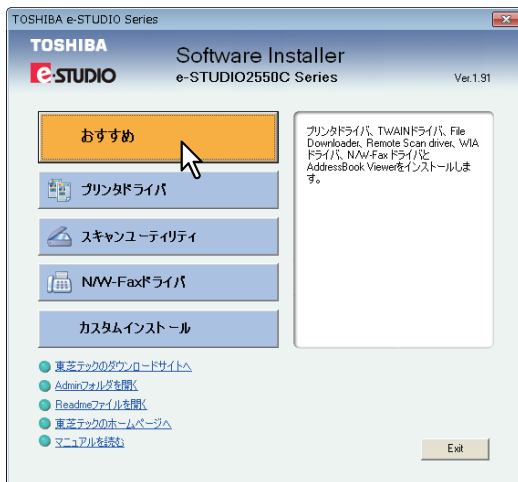
1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

Software Installerが自動的に起動しないときには、インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

2 [使用許諾契約の全条項に同意します。] を選択し、[次へ] をクリックします。



3 [おすすめ] をクリックします。



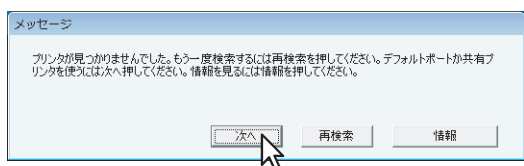
4 インストールするソフトウェアを確認し、[インストール] をクリックします。



AddressBook Viewerまたはファイルダウンローダ（File Downloader）はインストール先のフォルダを変更できます。[参照] をクリックして [フォルダの参照] ダイアログボックスが表示されたら、インストール先のフォルダを選択して [OK] をクリックします。

注意

- 以下のメッセージが表示された場合は、[次へ] をクリックします。



以下のセクションの手順7以降を参照してインストールを続行してください。

- 📖 P.45 「本機が自動的に検出されなかった場合には」

 - Universal PS3プリンタドライバおよびUniversal XPSプリンタドライバをインストールする場合は、[カスタムインストール] または個別インストーラからインストールを行ってください。詳しくは、以下のセクションを参照してください。
 - 📖 P.39 「プリンタドライバのインストール」
- Microsoft Office 2013がインストールされているコンピュータに、「Remote Scan driver」、「TWAIN driver」、「WIA driver」のいずれかまたは全てをインストールすると、自動的に「TOSHIBA Office Scan Add-In」がインストールされます。

【SNMP設定】について

目的の東芝複合機と【SNMP設定】ダイアログボックスのSNMP設定が一致していないと、複合機を検出することができません。【SNMP設定】ダイアログボックスでSNMP設定が正しいことを確認し、必要であれば設定の変更を行ってください。

お使いの東芝複合機のSNMP設定については、管理者にお問い合わせください。

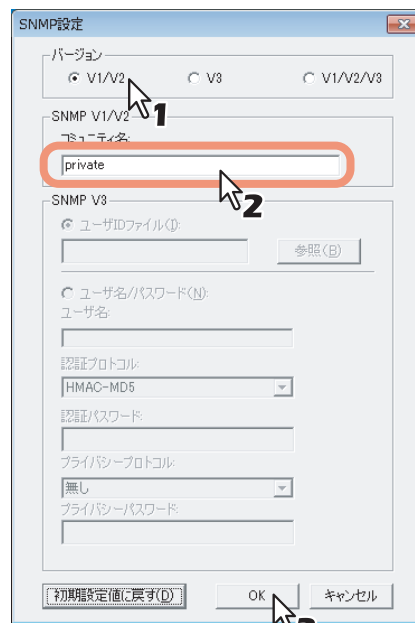
SNMPバージョンがV1およびV2の場合

1. お使いの東芝複合機に「private」（初期値）以外のSNMPコミュニティ名が設定されている場合は、[V1/V2] をクリックします。
2. SNMPコミュニティ名を変更します。
3. [OK] をクリックします。

注意

SNMPコミュニティ名を変更する場合は、以下のセクションを参照してください。

📖 P.33 「SNMP設定変更時の注意事項」



SNMPバージョンがV3の場合

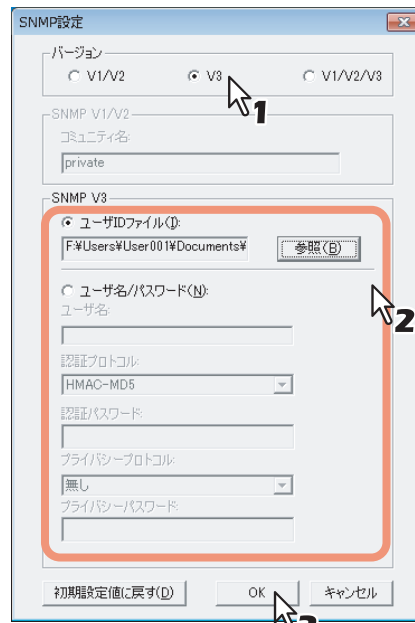
1. [V3] をクリックします。
2. ユーザIDファイルを使用して認証を行う場合は、[参照] をクリックし、ユーザIDファイルを指定します。
ユーザ認証情報を使用して認証を行う場合は、[ユーザ名/パスワード] をクリックし、必要な認証情報を入力します。

注意

- 事前に管理者から認証方法についての確認を行ってください。
- SNMP設定を変更する場合は、以下のセクションを参照してください。

📖 P.33 「SNMP設定変更時の注意事項」

3. [OK] をクリックします。



* お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV1、V2、V3の場合は、上記設定の両方を行ってください。

5 検出されたプリンタが表示されるので、本機を選択し [OK] をクリックします。



TCP/IPポートが作成されます。

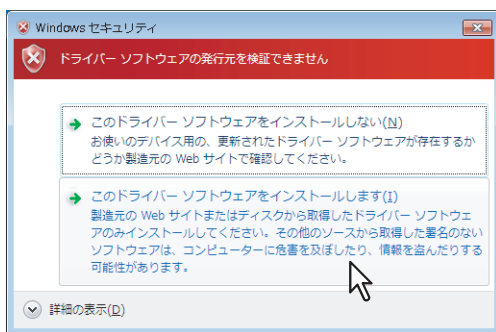
6 インストールが開始されます。

注意

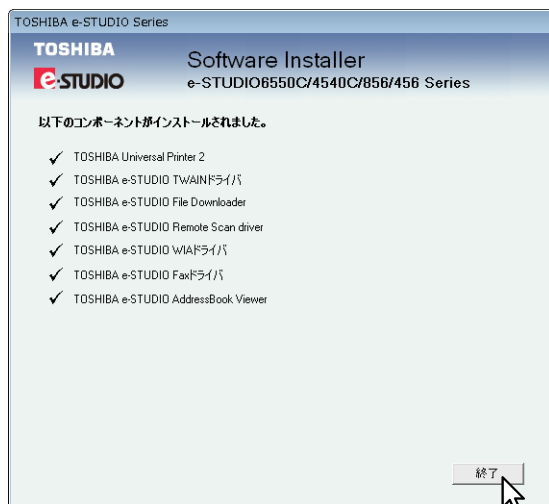
- 以下のメッセージが表示された場合は、Universal Printer 2ドライバを標準で使うプリンタに設定するかを選択してください。



- 以下のメッセージが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてインストールを続けてください。



7 インストールが完了したら、[終了] をクリックします。



メインメニューが表示されます。

補足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。

8 [Exit] をクリックします。

インストール作業の終了を確認するメッセージが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

注意

インストールしたUniversal Printer 2ドライバを使って印刷を行う前に、本機に装着されている各オプション機器のオプション構成をセットアップしてください。また、必要に応じて部門コードをセットアップしてください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

SNMP設定変更時の注意事項

お使いの東芝複合機でコミュニティ名やユーザ情報などを使って認証を行っている場合、印刷ジョブやファクスジョブを正常に印刷または送信するには、以下のように複合機とお使いのコンピュータのSNMP設定が一致している必要があります。

SNMPバージョンなどの詳細は、管理者にお問い合わせください。

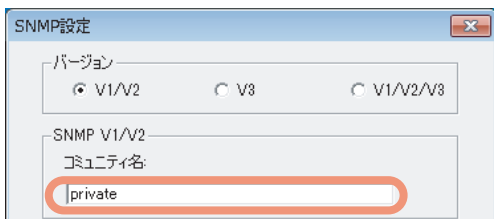
■ お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV1およびV2の場合

TCP/IP印刷ポートをご使用の場合は、下記項目1～3のSNMPコミュニティ名を確認してください。

1. お使いの複合機（例：リードコミュニティ「public」/リードライトコミュニティ「private」が設定されている場合）

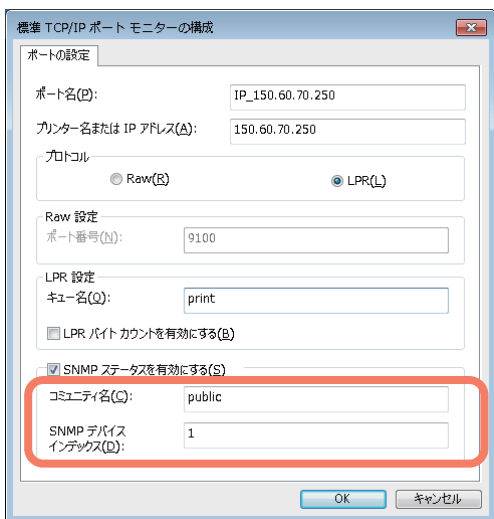


2. [SNMP設定] ダイアログボックス



複合機のリードライトコミュニティ名と同じコミュニティ名が入力されていることを確認してください。間違ったリードライトコミュニティ名を入力すると、部門管理などいくつかの機能が使用できなくなりますので、ご注意ください。

3. プリンタドライバ/N/W-Faxドライバ [ポートの設定] タブのTCP/IPポート



複合機のリードコミュニティ名と同じコミュニティ名が入力されていることを確認してください。
[ポートの設定] タブの [SNMP デバイス インデックス] の値が "1" になっていることを確認してください。

注意

- [SNMP デバイス インデックス] の値が "0" の場合、機器と通信ができなくなります。
- SMB 印刷ポートをご使用の場合は、お使いの複合機のリードライトコミュニティ名と [SNMP 設定] ダイアログボックスのコミュニティ名が同じである必要があります。
- インストールディスクに収録されているアプリケーション（TWAINドライバ、ファイルダウンローダ、AddressBook Viewer）のSNMP設定もお使いの複合機の設定と合わせてください。SNMP設定が異なる場合、それらのアプリケーションは使用できなくなります。

■ お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV3の場合

下記項目1と2のSNMP設定を確認してください。

1. お使いの複合機のSNMP V3ユーザ情報

Context Name: MFP
Username:
Authentication Protocol: HMAC-MD5
Authentication Password:
Privacy Protocol: なし
Privilege Level: 管理者

2. [SNMP設定] ダイアログボックス

バージョン: V1/V2 V3 V1/V2/V3
SNMP V1/V2
コミュニティ名: private
SNMP V3
 ユーザIDファイル(D): F:\Users\#t12253tt\Desktop\#au 参照(B)
 ユーザ名/パスワード(B):
ユーザ名:
認証プロトコル: HMAC-MD5
認証パスワード:
プライバシープロトコル: なし
プライバシーパスワード:
初期設定値に戻す(D) OK キャンセル

複合機のユーザ情報と同じ情報が入力されていることを確認してください。

注意

インストールディスクに収録されているアプリケーション（TWAINドライバ、ファイルダウンローダ、AddressBook Viewer）のSNMP設定もお使いの複合機の設定と合わせてください。SNMP設定が異なる場合、それらのアプリケーションは使用できなくなります。

プリンタドライバのインストール (Windows)

Windows環境でのクライアントソフトウェアのインストール方法について説明します。

インストールする前に	36
プリンタドライバの種類	36
必要条件	36
インストール手順について	37
プリンタドライバのインストール	39
Software Installerを使ってインストールする	40
個別インストーラを使ってインストールする	60
TopAccessからインストールする	79
本機の共有フォルダからインストールする	81
その他のインストール	83
Raw TCP/LPR印刷 (プリンタの追加ウィザード)	83
USB印刷	88
IPPE印刷	98
Novell iPrint印刷	111
Web Service印刷	112
Windows用PPDファイルのコピー	122
プリンタドライバのアンインストール	123
Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2012	123
Windows Vista / Windows Server 2008	125
Windows Server 2003	127

インストールする前に

クライアントソフトウェアをインストールする前に、以下を参照して適切なインストールを行ってください。

本機のプリンタドライバがすでにインストールされている場合

本機のプリンタドライバをアップデートする前に、現在お使いのプリンタドライバをすべて削除してください。

📖 P.123 「プリンタドライバのアンインストール」

同じ種類のプリンタドライバを連続してインストールする場合は、ドライバをアンインストール後、コンピュータを再起動してからインストールを行ってください。

■ プリンタドライバの種類

- **Universal Printer 2ドライバ**：PCL6とPS3を統合したプリンタドライバです。お使いのアプリケーションの用途に合わせ幅広くお使いいただけます。
- **Universal PS3プリンタドライバ**：DTPに用いるようなPostScriptに準拠したアプリケーションからの印刷に適しています。
- **Universal XPS プリンタドライバ**：Windows Vista用に開発されたWPF（Windows Presentation Foundation）アプリケーションから印刷を行う場合に使用します。

補 足

- Universal Printer 2ドライバは、印刷に使用するPDL（Page Description Language：ページ記述言語）を切り替えて使用することができます（「PCL6」⇔「PS3」）。また、e-STUDIO Seriesの他機種を利用し印刷することもできます。詳しくは、**印刷ガイド**を参照してください。
- Universal XPSプリンタドライバは、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8、またはXPS Essentials PackがインストールされているWindows Server 2003 SP2以降のコンピュータにインストールできます。
- インストールディスクには、印刷する際にPPDファイルを必要とするWindowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。このファイルはお使いのコンピュータの適切な場所にコピーして使用します。詳細は、以下のセクションを参照してください。
📖 P.122 「Windows用PPDファイルのコピー」

■ 必要条件

Windowsコンピュータにプリンタドライバや他のクライアントソフトウェアをインストールするには、下記環境が必要です。

- **ディスプレイ解像度**
1024×768ドット以上
- **ディスプレイ色**
High Color（16ビット）以上を推奨
- **CPU**
Pentium 133 MHz（Pentium 266 MHz以上を推奨）
- **メモリ**
OSと同等の必要メモリ容量
- **OS**
Windows Vista Service Pack 2
Windows 7（Service Pack 1推奨）
Windows 8
Windows Server 2003 Service Pack 2
Windows Server 2008 Service Pack 2
Windows Server 2012

■ インストール手順について

接続環境に適したインストール手順を下記から選択します。

Raw TCP/LPR 印刷

本機は、TCP/IPによるRaw TCPおよびLPR印刷をサポートしています。TCP/IPネットワークで本機と接続されている場合は、Raw TCP/LPR印刷をお勧めします。

📖 P.39 「プリンタドライバのインストール」

補 足

- Raw TCP接続で印刷を行うには、本機のRaw TCP印刷サービスが有効である必要があります。Raw TCP印刷サービスは管理者がTopAccessから行います。Raw TCP印刷サービスが有効であるかはネットワーク管理者にご確認ください。
- LPR接続で印刷を行うには、本機のLPD印刷サービスが有効である必要があります。LPD印刷サービスは管理者がTopAccessから行います。LPD印刷サービスが有効であるかはネットワーク管理者にご確認ください。

SMB 印刷

本機では、「Microsoft用ファイルとプリンタ共有サービス」によるSMBプロトコルを利用して本機と接続することができます。ただし、大量文書の印刷には適していません。

📖 P.39 「プリンタドライバのインストール」

注 意

SMB印刷は小規模ネットワークで利用することを想定しています。Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Server 2012いずれかをプリントサーバーとして利用可能なネットワーク環境がある場合は、Windowsプリントサーバー経由で印刷することをお勧めします。

インターネット印刷

IPP印刷では、インターネットを経由して本機で印刷することができます。遠隔地から印刷したいときに利用することができます。

📖 P.98 「IPP印刷」

補 足

IPP印刷を行うには、本機のIPP印刷サービスは管理者がTopAccessから行います。IPP印刷サービスが有効であるかはネットワーク管理者にご確認ください。

Novell印刷

NetWare 6.5を使用し、TCP/IPまたはIPX/SPXを経由して印刷を管理する場合、Windows Server 2003からNetWareプリントサーバーを経由して印刷を実行することができます。この場合、NetWareプリントサーバーに作成されたプリントキューにSMB接続をセットアップしてプリンタドライバをインストールします。

📖 P.39 「プリンタドライバのインストール」

補 足

Novell印刷を行うには、本機のNetWare印刷サービスが有効であり、NetWareプリントサーバーにプリントキューが作成されている必要があります。本機のNetWare印刷サービスは管理者がTopAccessから行います。NetWare印刷サービスが有効であるかはネットワーク管理者にご確認ください。

Novell iPrint印刷

本機がTCP/IP環境で接続されておりNetWare 6.5のiPrintサービスがセットアップされている場合は、NetWareプリントサーバーを経由してWindows Server 2003から印刷することができます。この場合は、iPrint Clientを使用してNetWareプリントサーバーからプリンタドライバをインストールします。

📖 P.111 「Novell iPrint印刷」

補 足

Novell iPrint印刷を行うには、本機のNetWare印刷サービスが有効であり、NetWareプリントサーバーでNovell iPrintが設定されている必要があります。本機のNetWare印刷サービスは管理者がTopAccessから行います。NetWare印刷サービスが有効であるかはネットワーク管理者にご確認ください。

Web Serviceプリント

本機がTCP/IP環境で接続されている場合、Web Serviceプリント機能を利用して印刷することができます。この機能は、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012が提供する機能です。

📖 P.112 「Web Serviceプリント」

プリンタドライバのインストール

Windowsコンピュータへプリンタドライバをインストールします。

プリンタドライバのインストールは、インストールディスク、TopAccessまたは本機の共有フォルダから行うことができます。

- インストールディスクを使ってインストールする
インストール方法には、次の2つがあります。
 - Software Installerを使用する
インストールディスクをディスクドライブに挿入すると、Software Installerが自動的に起動します。このプログラムからプリンタドライバや他のクライアントソフトウェアをインストールすることができます。プリンタドライバだけでなく他のソフトウェアも同時にインストールする場合には、この方法をお勧めします。
☞ P.40 「Software Installerを使ってインストールする」
 - 個別インストーラを使用する
インストールディスクには、Universal Printer 2やUniversal PS3、Universal XPSの各プリンタドライバを個別にインストールするためのセットアッププログラム (Setup.exe) が収録されています。お好みのプリンタドライバだけをインストールしたい場合には、この方法をお勧めします。
☞ P.60 「個別インストーラを使ってインストールする」
- TopAccessからインストールする
Universal Printer 2やUniversal PS3、Universal XPSの各プリンタドライバが本機にアップロードされている場合、各ユーザはTopAccessから必要なプリンタドライバをインストールすることができます。
☞ P.79 「TopAccessからインストールする」

注意

本機能を使用するには以下の条件が必要です。

- 本機にハードディスクが装着されていること
- 本機のSMB設定で、SMBプロトコルが有効であり、かつファイル共有が制限されていないこと
詳細は、本機の管理者にお問い合わせください。

- 本機の共有フォルダからインストールする
本機の共有フォルダにはUniversal Printer 2やUniversal PS3、Universal XPSの各プリンタドライバのセットアッププログラム (Setup.exe) が格納されています。各ユーザはそのフォルダから必要なプリンタドライバをインストールすることができます。
☞ P.81 「本機の共有フォルダからインストールする」

注意

本機能を使用するには以下の条件が必要です。

- 本機にハードディスクが装着されていること
- 本機のSMB設定で、SMBプロトコルが有効であり、かつプリント共有が制限されていないこと
詳細は、本機の管理者にお問い合わせください。

■ Software Installerを使ってインストールする

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

注意

- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
なお、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してインストールを実行することができます。
 - インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダを開き、「Setup.exe」をダブルクリックします。
 - [ユーザアカウント制御] ダイアログボックスが表示されますので、管理者のパスワードを入力した後、[はい] ([OK]) をクリックします。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも [ユーザアカウント制御] ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行] などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

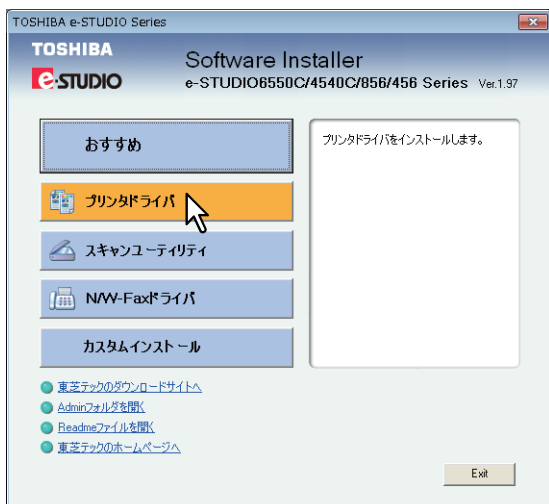
Software Installerが自動的に起動しないときには、インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

2 [使用許諾契約の全条項に同意します。] を選択し、[次へ] をクリックします。



メインメニューが表示されます。

3 [プリンタドライバ] または [カスタムインストール] をクリックします。



プリンタドライバ：Universal Printer 2ドライバをインストールします。このメニューを選択した場合は、手順5にお進みください。

カスタムインストール：インストールしたいプリンタドライバ、およびユーティリティを選択できます。このメニューを選択した場合は、手順4にお進みください。

注意

Universal PS3およびUniversal XPSプリンタドライバをインストールする場合は、[カスタムインストール] または個別インストーラからインストールを行ってください。

📖 P.60 「個別インストーラを使ってインストールする」

4 手順3で「カスタムインストール」を選択した場合は、インストールするソフトウェアを選択し、[次へ] をクリックします。



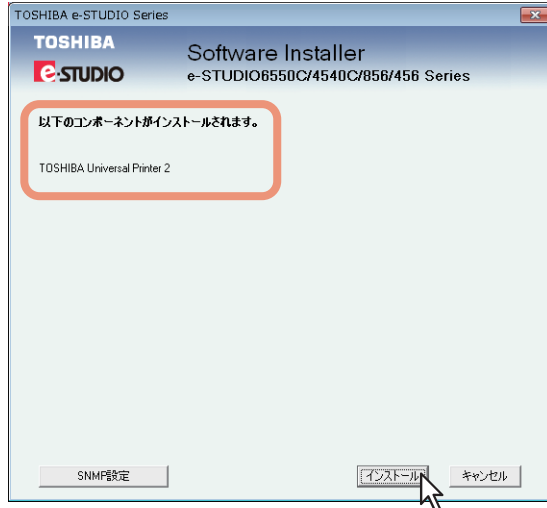
以下のプリンタドライバをインストールできます。

- TOSHIBA Universal Printer 2
- TOSHIBA Universal PS3
- TOSHIBA Universal XPS

補足

ダイアログボックスには、上記のプリンタドライバのほかにスキャン用ソフトウェアやファクス用ソフトウェアが表示されます。必要に応じて、これらもここでインストールすることができます。

5 インストールするソフトウェアを確認し、[インストール] をクリックします。



インストールが開始されます。

補 足

- Universal XPSプリンタドライバは、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8、またはXPS Essentials PackがインストールされているWindows Server 2003 SP2以降のコンピュータへインストールできます。
- 目的の東芝複合機を検出するためにSNMP設定を確認／変更する場合は、以下のセクションの手順4を参照してください。

📖 P.28 「おすすめインストール手順」

6 プリンタドライバの印刷ポートを設定します。

印刷ポートの設定手順は、接続環境によって異なります。接続環境に応じて以下の項目を参照してください。

📖 P.43 「Raw TCP/LPR印刷」

📖 P.55 「SMB印刷」

📖 P.57 「Novell印刷」

□ Raw TCP/LPR印刷

Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

注意

設定を行う前に、以下のことを確認してください。

- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- TCP/IPが本機およびお使いのコンピュータで正しく設定されていること。

本機を自動的に検出する

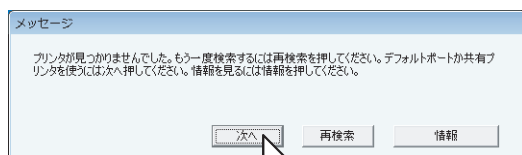
ネットワーク上の本機を自動的に検出してプリンタドライバをインストールすることにより、Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

注意

インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、それを示すダイアログボックスが表示されます。以下の操作を行って、設定を続行してください。

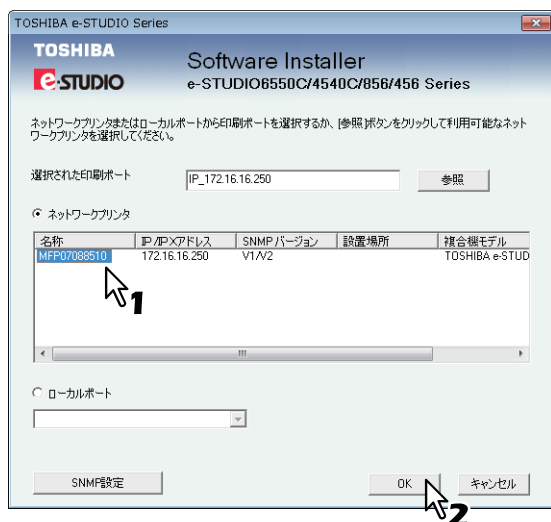
- 本機を再検索する場合は、[再検索] をクリックします。
- [SNMP設定] ダイアログボックスで指定したSNMP設定が正しいかを確認してください。
- 暫定的にローカルポートを選択し、その後にRaw TCP/LPR印刷のポートを設定する場合は、[次へ] をクリックします。以降の設定手順は、下記の項目を参照してください。

📖 P.45 「本機が自動的に検出されなかった場合には」



- 本機の IP アドレスがあらかじめ分かっている場合は、キーボードからの直接入力により印刷ポートを指定することができます。手順7で [選択された印刷ポート] ボックスに下記のようにネットワークパスを入力してください。
¥ ¥ IP_<IPアドレス>

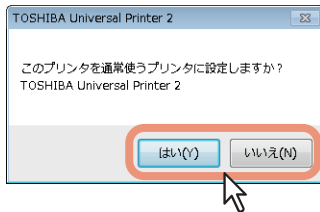
7 検出されたプリンタが表示されるので、本機を選択し [OK] をクリックします。



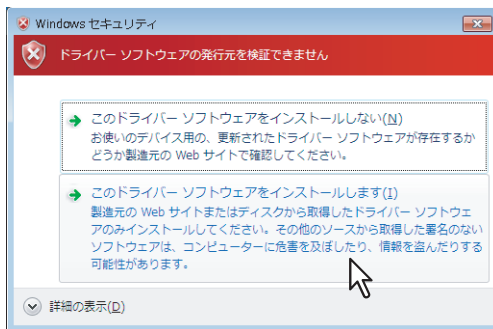
TCP/IPポートが作成されます。

補足

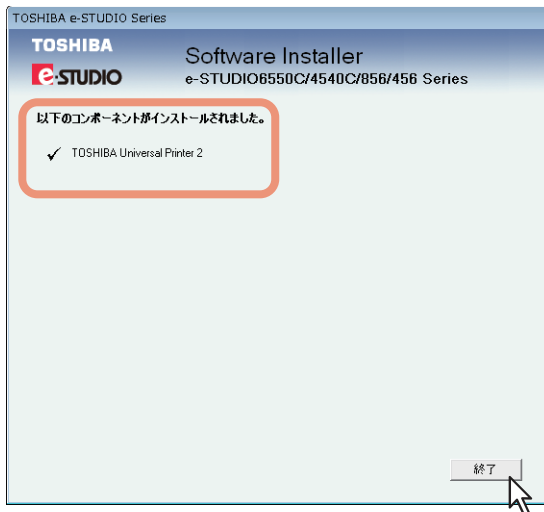
- Windowsやネットワークの環境により、検索が完了するまでに時間がかかることがあります。
- 以下のメッセージが表示された場合は、インストール中のプリンタドライバを標準で使うプリンタに設定するかを選択してください。



- [Windows セキュリティ] ダイアログボックスが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてください。



8 インストールの完了を確認し、[終了] をクリックします。



補足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。

9 [Exit] をクリックします。

インストールの終了を確認するダイアログボックスが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

注意

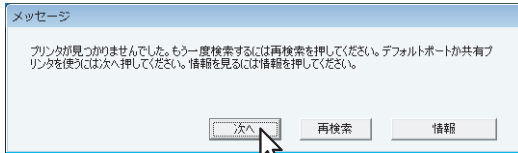
インストールしたプリンタドライバを使って印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションの構成を設定し、必要に応じて部門コードを設定してください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

本機が自動的に検出されなかった場合には

ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、暫定的にローカルポートを選択してプリンタドライバをインストールし、その後Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

注意

インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。[次へ]をクリックし、設定を続行してください。

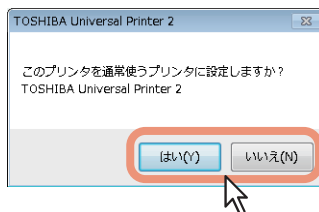


7 [ローカルポート] および「LPT1:」を選択し、[OK] をクリックします。

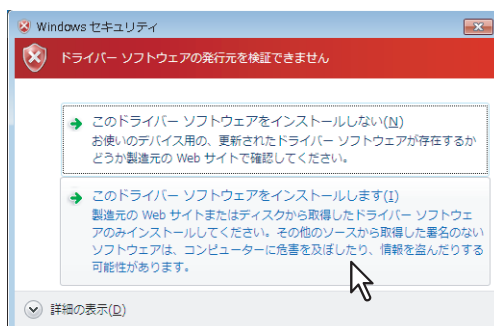


補足

- 以下のメッセージが表示された場合は、インストール中のプリンタドライバを標準で使うプリンタに設定するかを選択してください。



- [Windows セキュリティ] ダイアログボックスが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてください。



8 インストールの完了を確認し、[終了] をクリックします。



補足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。

9 [Exit] をクリックします。

インストールの終了を確認するダイアログボックスが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

10 プリンタフォルダを開きます。

- Windows 7をお使いの場合

[スタート] → [デバイスとプリンター] をクリックして、[デバイスとプリンター] フォルダを開きます。



- Windows Vista / Windows Server 2008をお使いの場合

[スタート] → [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] メニューの [プリンタ] の順にクリックして、[プリンタ] フォルダを開きます。



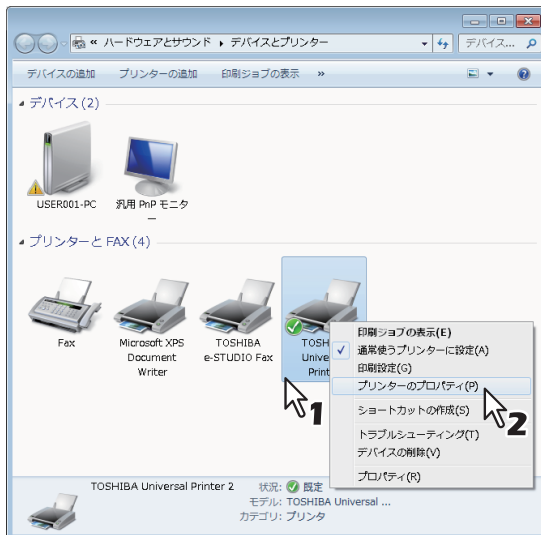
- Windows Server 2003をお使いの場合
[スタート] → [プリンタとFAX] をクリックして、[プリンタとFAX] フォルダを開きます。



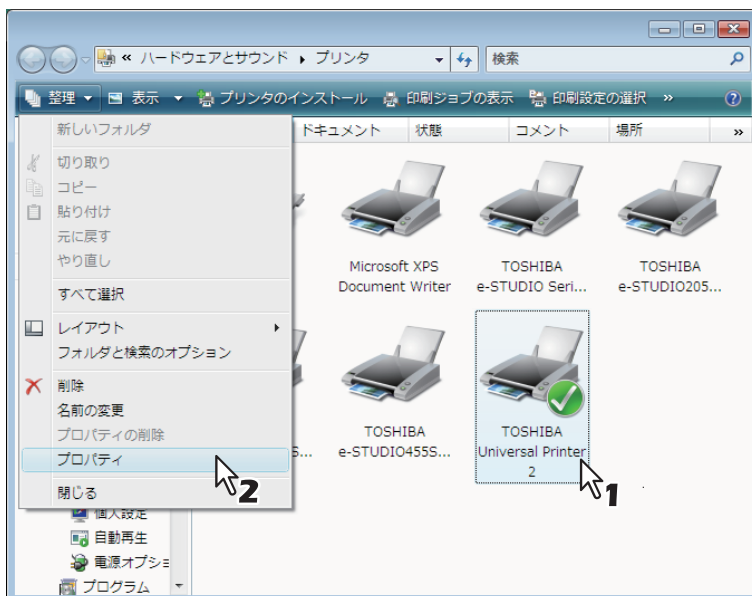
- Windows 8 / Windows Server 2012での操作方法は、以下のセクションを参照してください。
P.52 「Windows 8 / Windows Server 2012でプリンタフォルダを表示する」

11 インストールしたプリンタドライバのプロパティを表示します。

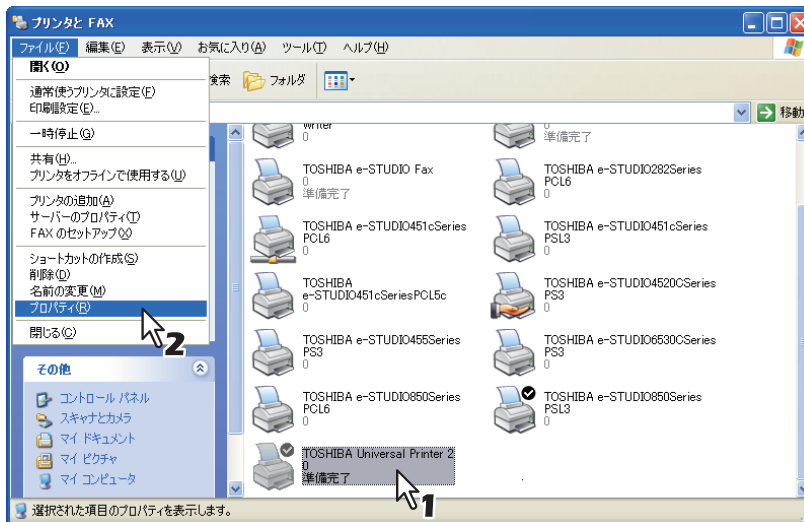
- Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2012をお使いの場合
インストールしたプリンタドライバを選択し、右クリックメニューから [プリンタのプロパティ] をクリックします。



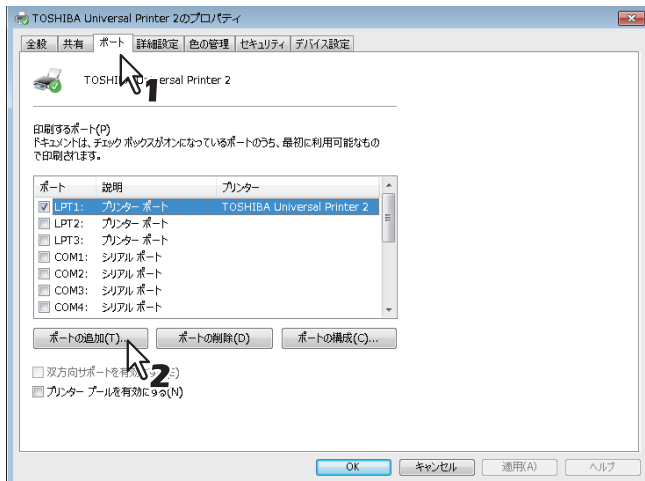
- Windows Vista / Windows Server 2008をお使いの場合
インストールしたプリンタドライバを選択し、[整理] メニュー → [プロパティ] を選択します。



- Windows Server 2003をお使いの場合
インストールしたプリンタドライバを選択し、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。



12 [ポート] タブを選択し、[ポートの追加] をクリックします。



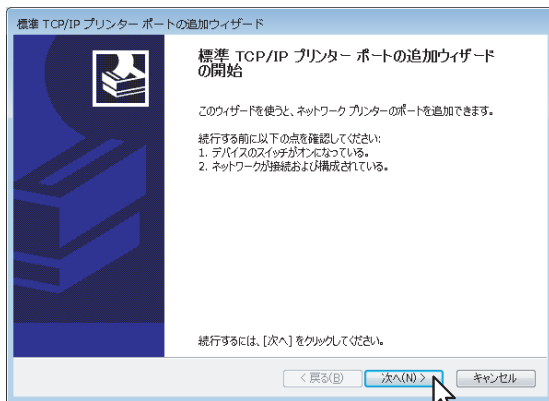
[プリンターポート] ダイアログボックスが表示されます。

13 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] をクリックします。

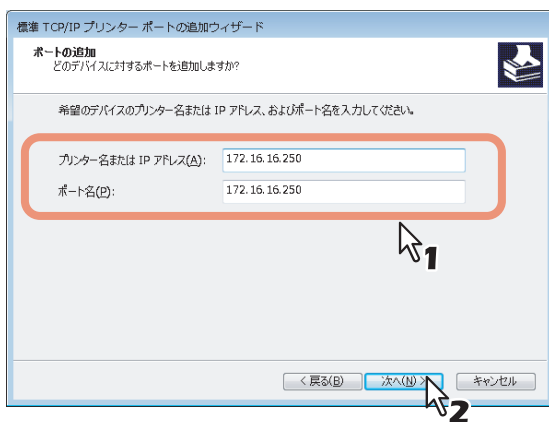


[標準TCP/IPプリンターポートの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

14 [次へ] をクリックします。



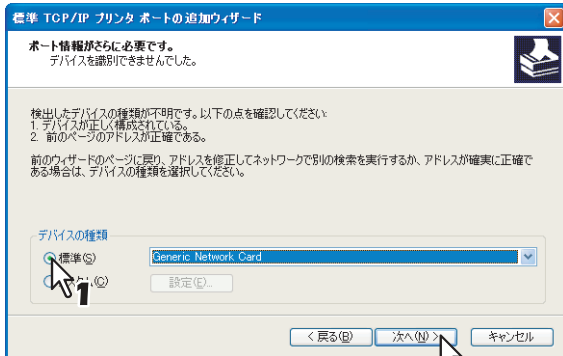
15 [プリンター名またはIPアドレス] ボックスに本機のIPアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。



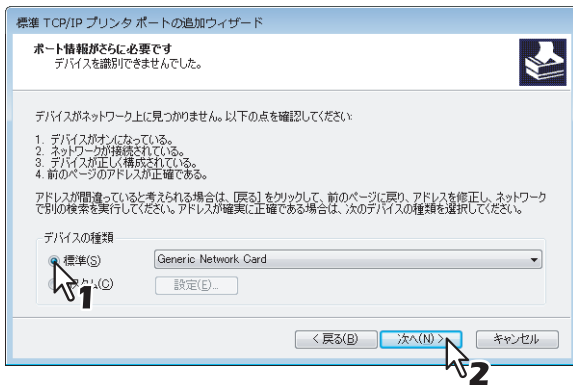
- ネットワークがDNSまたはWINSサーバーを使用している場合、[プリンター名またはIPアドレス] ボックスには、DNSまたはWINSサーバーが提供する本機の装置名を入力します。
- [プリンター名またはIPアドレス] ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力すると、[ポート名] ボックスには自動的にポート名が入力されます。なお、Windows Server 2003の場合は、先頭に“IP_”が表示されます。
- IPv6環境の場合は、IPv6のアドレスを入力してください。

注意

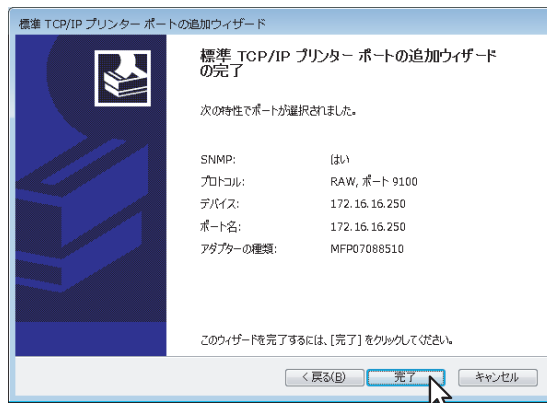
- Windows Server 2003の場合は、以下の画面が表示されることがあります。[標準] を選択し、[次へ] をクリックしてください。



- Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012の場合は、以下の画面が表示されることがあります。[標準] を選択し、[次へ] をクリックしてください。

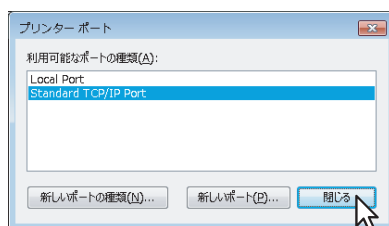


16 [完了] をクリックします。

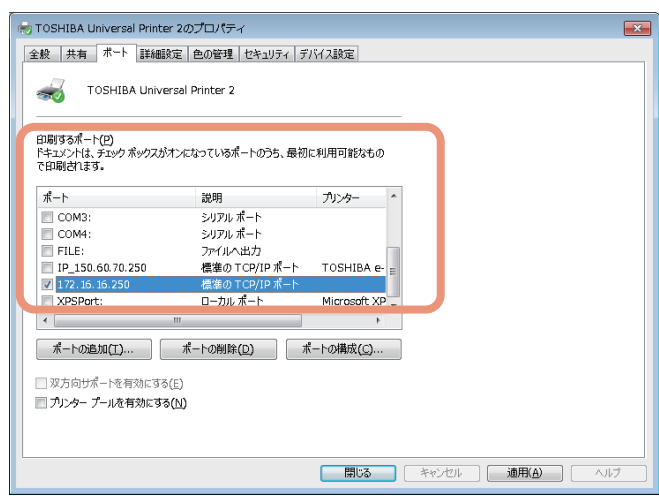


[プリンターポート] ダイアログボックスに戻ります。

17 [閉じる] をクリックし、[プリンターポート] ダイアログボックスを閉じます。



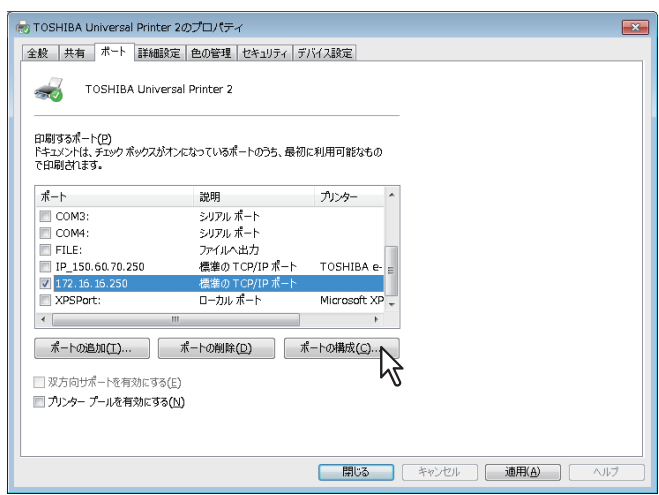
18 [印刷するポート] リストにて、作成したRaw TCPポートがチェックされていることを確認します。



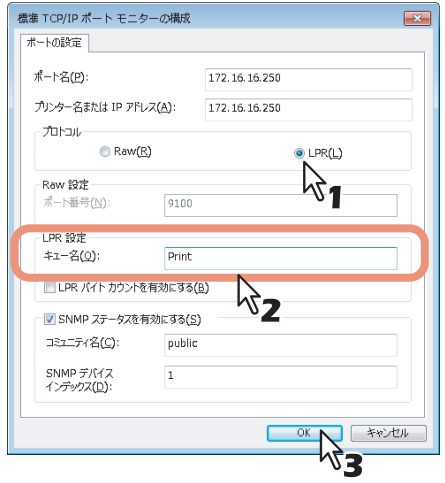
補足

LPD印刷サービスが有効になっている場合は、LPR印刷を利用することもできます。LPR印刷を設定する場合は、以下の手順で設定してください。

1. [ポートの構成] をクリックします。

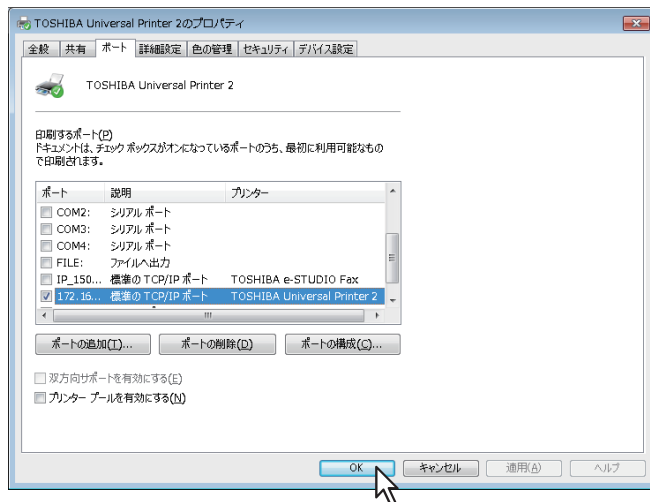


2. [プロトコル] で [LPR] を選択して、[LPR設定] の [キュー名] ボックスへ「Print」と入力し、[OK] をクリックします。



19 [適用] をクリックします。

20 [OK] をクリックし、設定を保存します。



注意

インストールしたプリンタドライバを使って印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションの構成を設定し、必要に応じて部門コードを設定してください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

Windows 8 / Windows Server 2012でプリンタフォルダを表示する

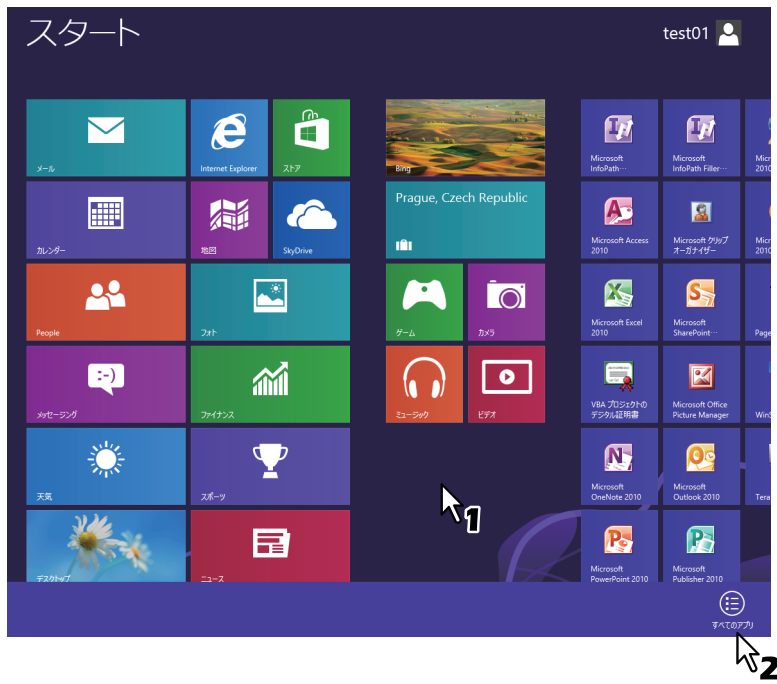
Windows 8 / Windows Server 2012をお使いの場合は、以下の手順でプリンタフォルダを表示します。

- 1 カーソルを画面の右上隅または右下隅に移動させ、表示メニューから**[スタート]**を選択します。



[スタート] 画面が表示されます。

2 [スタート] 画面の空白エリアを右クリックし、表示された [すべてのアプリ] をクリックします。



[アプリ] 画面が表示されます。

3 [コントロールパネル] をクリックします。



[すべてのコントロールパネル項目] 画面が表示されます。

4 [デバイスとプリンター] をクリックします。



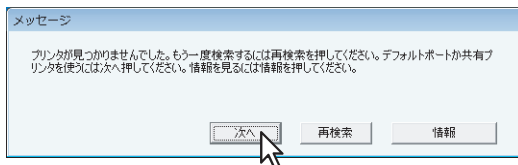
[デバイスとプリンター] フォルダが表示されます。

□ SMB印刷

SMB印刷ポートを手動で指定してプリンタドライバをインストールします。

注意

- SMB印刷は、小規模ネットワークで利用することを想定しています。
プリントサーバーとして、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Server 2012のいずれかを利用している場合は、これらのプリントサーバーを経由して印刷や設定することをお勧めします。
- 設定を行う前に、本機がネットワークに接続され、電源が入っていること確認してください。
- インストール開始後、ネットワーク上のプリンタが検出されなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。
[次へ] をクリックし、設定を続行してください。



7 [参照] をクリックします。

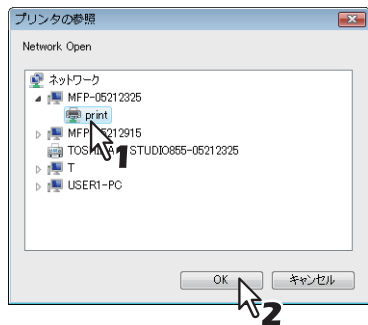


[プリンタの参照] ダイアログボックスが表示されます。

補足

- 本機のIPアドレスまたは装置名称があらかじめ分かっている場合は、[参照] をクリックする代わりに、キーボードからの直接入力により印刷ポートを指定することができます。[選択された印刷ポート] ボックスへ下記のようにネットワークパスを入力し、手順9へ進んでください。
¥¥<IPアドレスまたは装置名称>¥print
- Windows 7やWindows Vistaなどをお使いの場合、ネットワーク環境により [参照] から本機のポートを参照できないことがあります。この場合には、[選択された印刷ポート] ボックスへ下記のようにネットワークパスを入力し、手順9へ進んでください。
¥¥<IPアドレスまたは装置名称>¥print

8 本機の「print」を選択し、[OK] をクリックします。

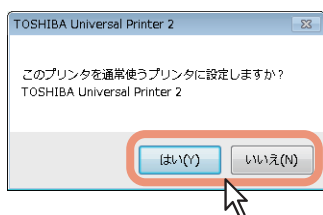


9 [OK] をクリックします。

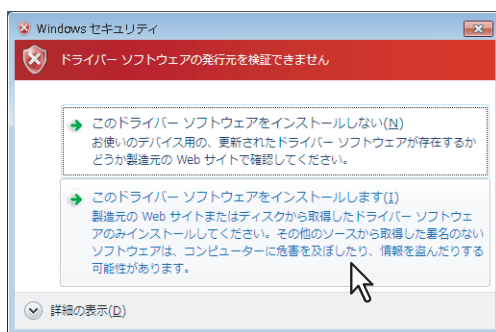


補足

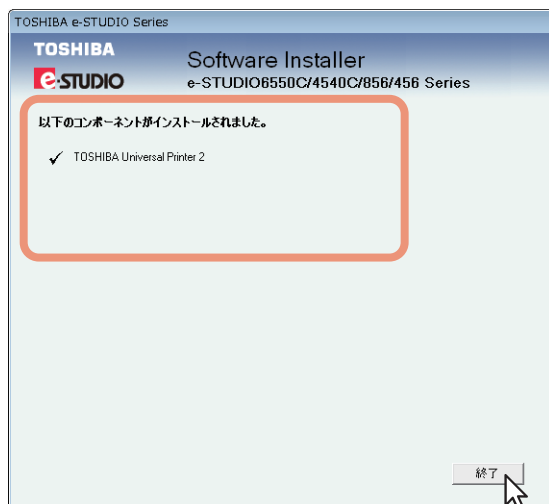
- 以下のメッセージが表示された場合は、インストール中のプリンタドライバを標準で使うプリンタに設定するかを選択してください。



- [Windows セキュリティ] ダイアログボックスが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてください。



10 インストールの完了を確認し、[終了] をクリックします。



補足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。

11 [Exit] をクリックします。

インストールの終了を確認するダイアログボックスが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

注意

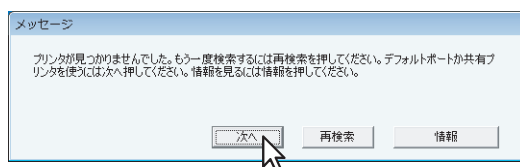
インストールしたプリンタドライバを使って印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションの構成を設定し、必要に応じて部門コードを設定してください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

Novell印刷

Novell印刷用の印刷ポートを設定します。

注意

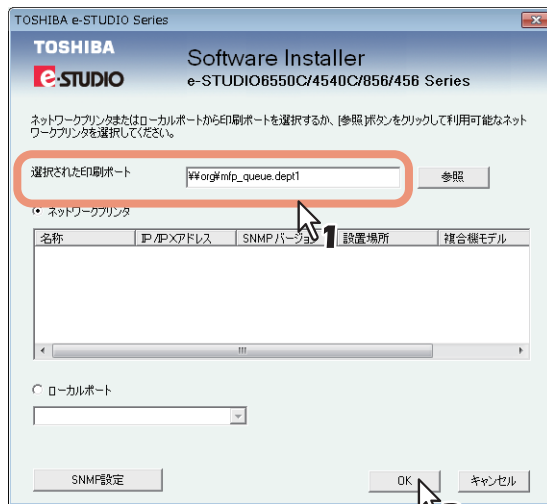
- NetWareプリントサーバーにアクセスするための権限が必要です。
- インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。
[次へ] をクリックし、設定を続行してください。



7 [選択された印刷ポート] にキュー名を入力し、[OK] をクリックします。

- NDS/NDPSモードの場合

例：ルート=Org コンテキスト=dept1 キュー名=mfp_queue
¥¥Org¥mfp_queue.dept1



- パインタリモードの場合

例：NetWareプリントサーバー名=Nwsrv キュー名=mfp_queue
¥¥Nwsrv¥mfp_queue

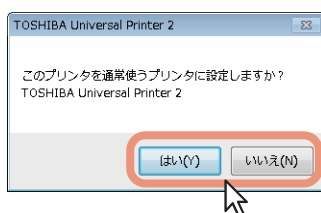


注意

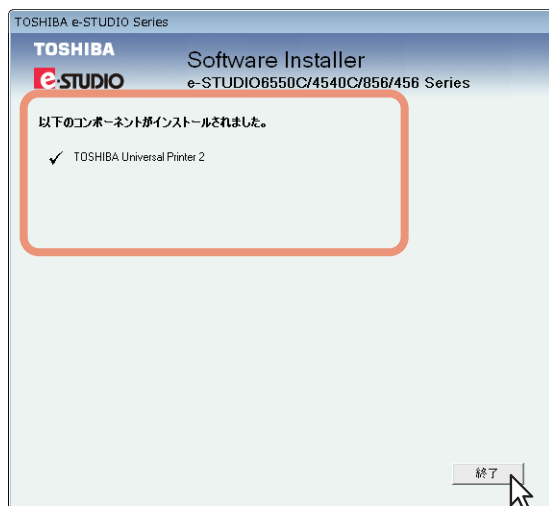
本機のキューは管理者によって作成されています。本機のキューが不明の場合は、管理者にお問い合わせください。

補足

以下のメッセージが表示された場合は、インストール中のプリンタドライバを標準で使うプリンタに設定するかを選択してください。



8 インストールが完了したら、[終了] をクリックします。



メインメニューが表示されます。

補足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。

9 [Exit] をクリックします。

インストール作業の終了を確認するメッセージが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

注意

インストールしたプリンタドライバを使って印刷を行う前に、本機に装着されている各オプション機器のオプション構成をセットアップしてください。また、必要に応じて部門コードをセットアップしてください。設定方法については、[印刷ガイド](#)を参照してください。

■ 個別インストーラを使ってインストールする

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

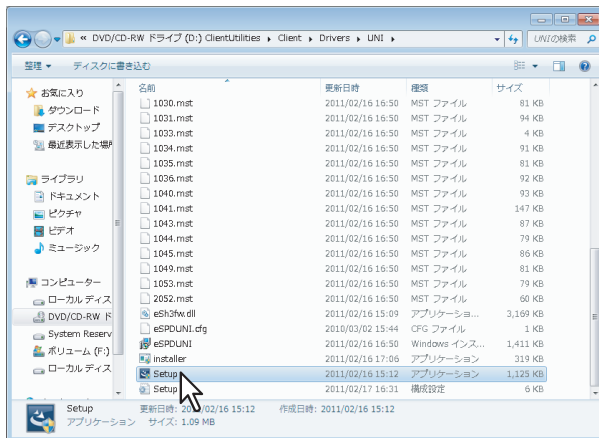
注意

- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
なお、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してインストールを実行することができます。
 - インストールディスクに収録されている目的のプリンタドライバのフォルダを開き、「Setup.exe」をダブルクリックします。
 - [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されますので、管理者のパスワードを入力した後、[はい] ([OK]) をクリックします。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行] などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

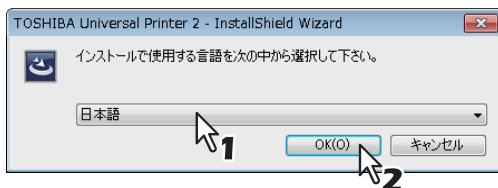
インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

2 セットアッププログラムがあるフォルダを開き、「Setup.exe」ファイルをダブルクリックします。



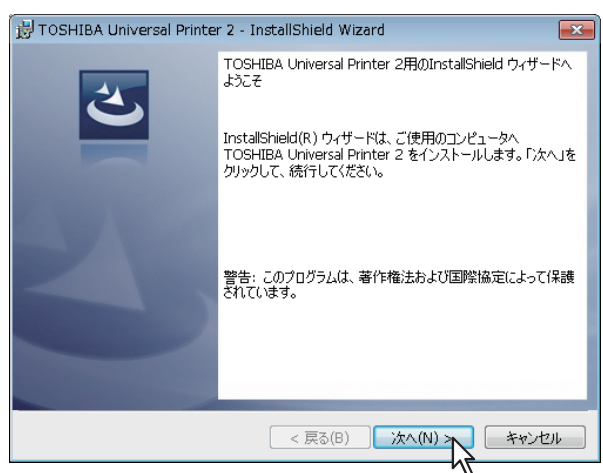
- 言語選択のウィンドウが表示されます。
- プリンタドライバのセットアッププログラムは、次のフォルダに収録されています。
 - Universal Printer 2ドライバ：
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥UNI
 - Universal PS3プリンタドライバ：
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥PS
 - Universal XPSプリンタドライバ：
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥XPS

3 使用する言語を選択し、[OK] をクリックします。



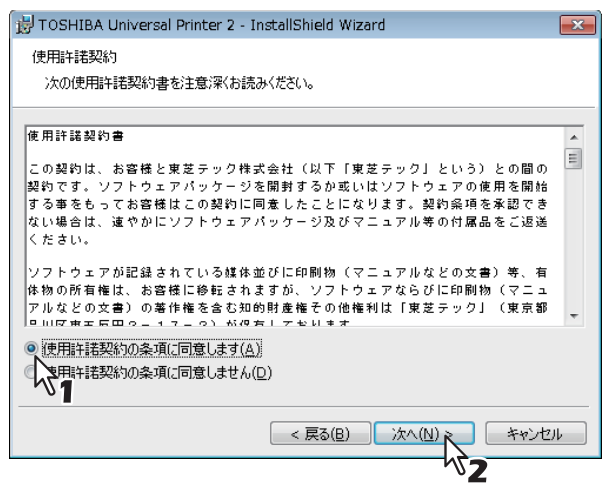
ようこそ画面が表示されます。

4 [次へ] をクリックします。



使用許諾契約の画面が表示されます。

5 [使用許諾契約の条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。



[ポートの選択] ウィンドウが表示されます。

6 プリンタドライバの印刷ポートを設定します。

印刷ポートの設定手順は、接続環境によって異なります。以降の手順は、それぞれの接続環境の説明に進んでください。

- 📖 P.62 「Raw TCP/LPR印刷」
- 📖 P.73 「SMB印刷」
- 📖 P.77 「Novell印刷」

□ Raw TCP/LPR印刷

Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

注意

設定を行う前に、以下のことを確認してください。

- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- TCP/IPが本機およびお使いのコンピュータで正しく設定されていること。

本機を自動的に検出する

ネットワーク上の本機を自動的に検出してプリンタドライバをインストールすることにより、Raw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

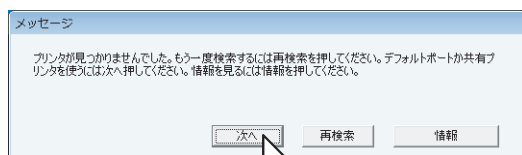
注意

インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。

この場合は、以下の操作を行って設定を続行してください。

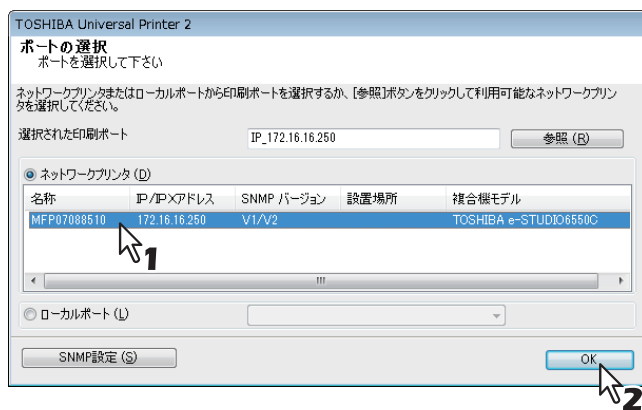
- 本機を再検索する場合は、[再検索] をクリックします。
- [SNMP設定] ダイアログボックスで指定したSNMP設定が正しいかを確認してください。
- 暫定的にローカルポートを選択し、その後にRaw TCP/LPR印刷のポートを設定する場合は、[次へ] をクリックします。以降の設定手順は、下記項目を参照してください。

📖 P.65 「本機が自動的に検出されなかった場合には」



- 本機の IP アドレスがあらかじめ分かっている場合は、キーボードからの直接入力により印刷ポートを指定することができます。手順7で [選択された印刷ポート] ボックスに下記のようにネットワークパスを入力してください。
¥ ¥ IP_<IPアドレス>

7 検出されたプリンタが表示されるので、本機を選択し [OK] をクリックします。



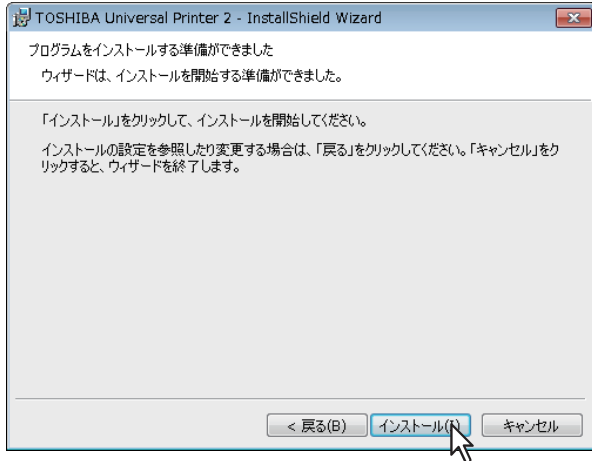
TCP/IPポートが作成され、[プログラムをインストールする準備ができました] ウィンドウが表示されます。

補足

- Windowsやネットワークの環境により、検索が完了するまでに時間がかかることがあります。
- 目的の東芝複合機を検出するためにSNMP設定を確認／変更する場合は、以下のセクションの手順4を参照してください。

📖 P.28 「おすすめインストール手順」

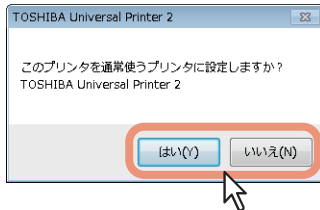
8 「インストール」 をクリックします。



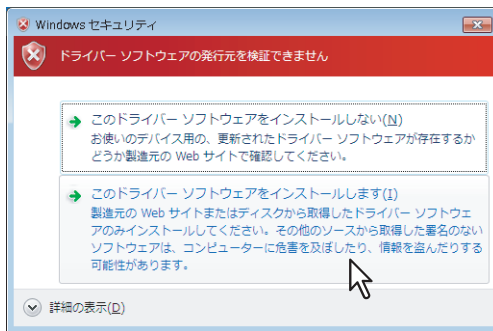
インストールが開始されます。

補 足

- 以下のメッセージが表示された場合は、インストール中のプリンタドライバを標準で使うプリンタに設定するかを選択してください。

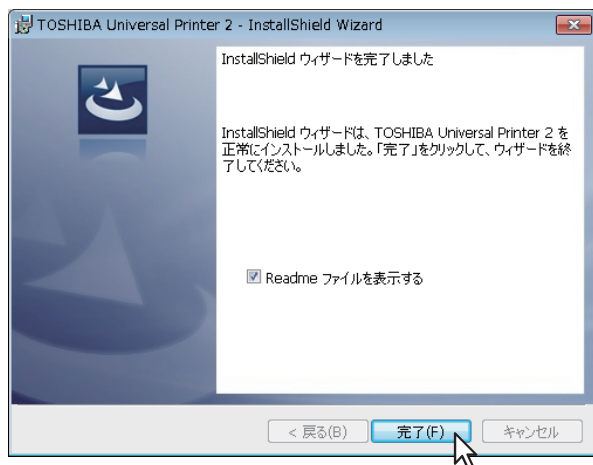


- [Windows セキュリティ] ダイアログボックスが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてください。



- Universal XPSプリンタドライバは、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8、またはXPS Essentials Pack がインストールされているWindows Server 2003 SP2以降のコンピュータへインストールできます。

9 [InstallShieldウィザードを完了しました] と表示されたら、[完了] をクリックします。



補足

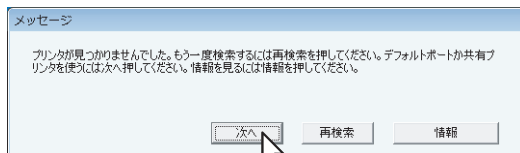
- コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。
- インストールしたプリンタドライバを使って印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションの構成を設定し、必要に応じて部門コードを設定してください。設定方法については、[印刷ガイド](#)を参照してください。

本機が自動的に検出されなかった場合には

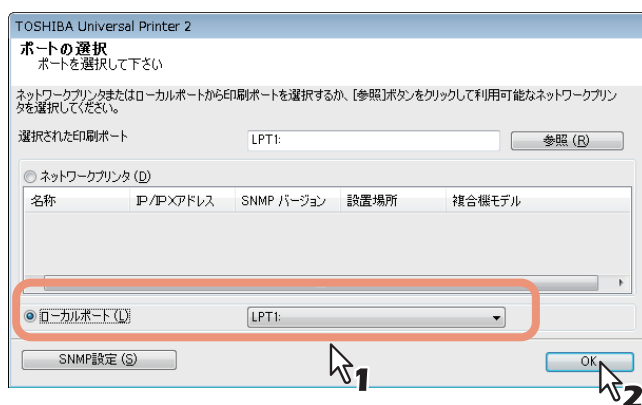
ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、暫定的にローカルポートを選択してプリンタドライバをインストールし、その後にRaw TCP/LPR印刷のポートを設定します。

注意

インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。[次へ]をクリックし、設定を続行してください。

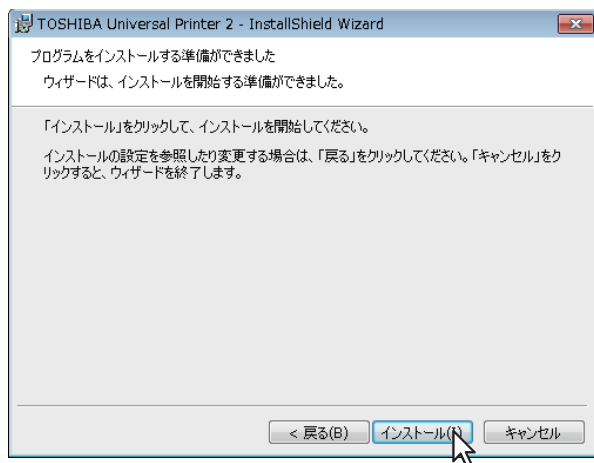


7 [ローカルポート] および「LPT1:」を選択し、[OK] をクリックします。



[プログラムをインストールする準備ができました] ウィンドウが表示されます。

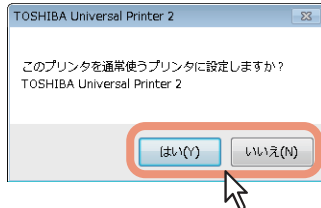
8 [インストール] をクリックします。



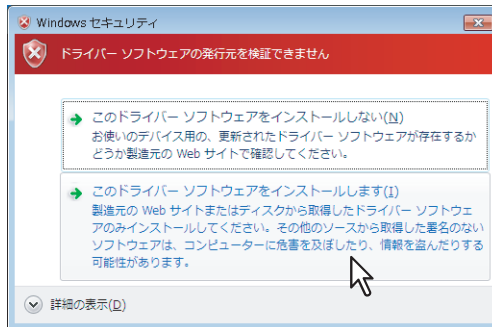
インストールが開始されます。

補足

- 以下のメッセージが表示された場合は、インストール中のプリンタドライバを標準で使うプリンタに設定するかを選択してください。

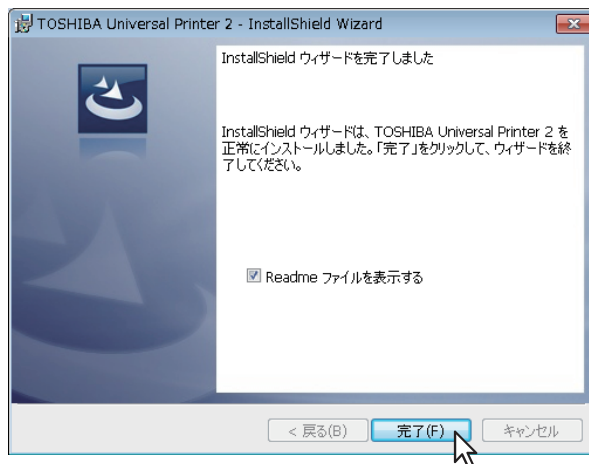


- [Windows セキュリティ] ダイアログボックスが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてください。



- Universal XPSプリンタドライバは、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8、またはXPS Essentials Pack がインストールされているWindows Server 2003 SP2以降のコンピュータへインストールできます。

9 [InstallShieldウィザードを完了しました] と表示されたら、[完了] をクリックします。



補足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。

10 プリンタフォルダを開きます。

- Windows 7をお使いの場合
[スタート] → [デバイスとプリンター] をクリックして、[デバイスとプリンター] フォルダを開きます。



- Windows Vista / Windows Server 2008をお使いの場合
[スタート] → [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] メニューの [プリンタ] の順にクリックして、[プリンタ] フォルダを開きます。



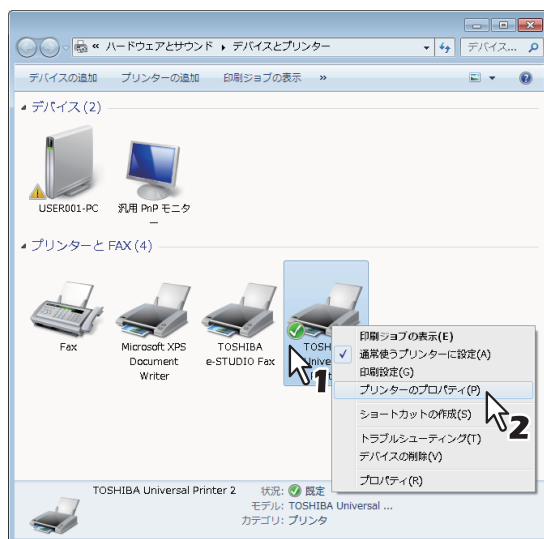
- Windows Server 2003をお使いの場合
[スタート] → [プリンタとFAX] をクリックして、[プリンタとFAX] フォルダを開きます。



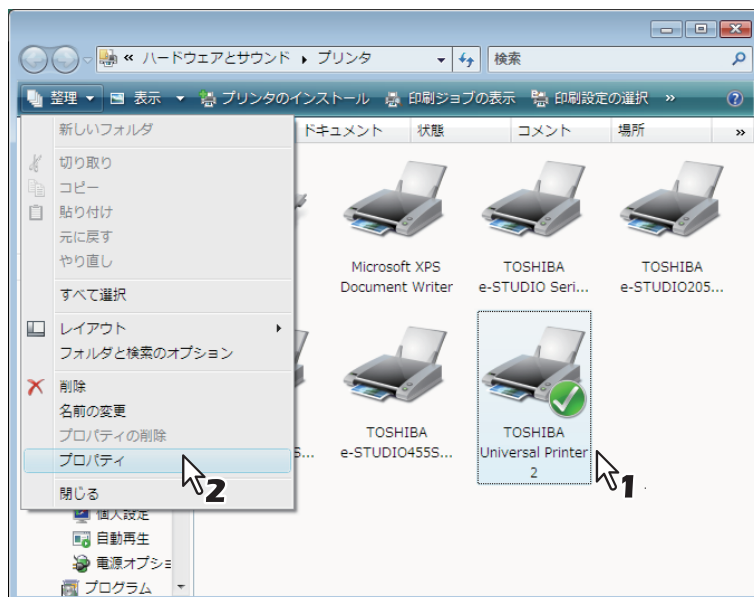
- Windows 8 / Windows Server 2012での操作方法は、以下のセクションを参照してください。
P.52 「Windows 8 / Windows Server 2012でプリンタフォルダを表示する」

11 インストールしたプリンタドライバのプロパティを表示します。

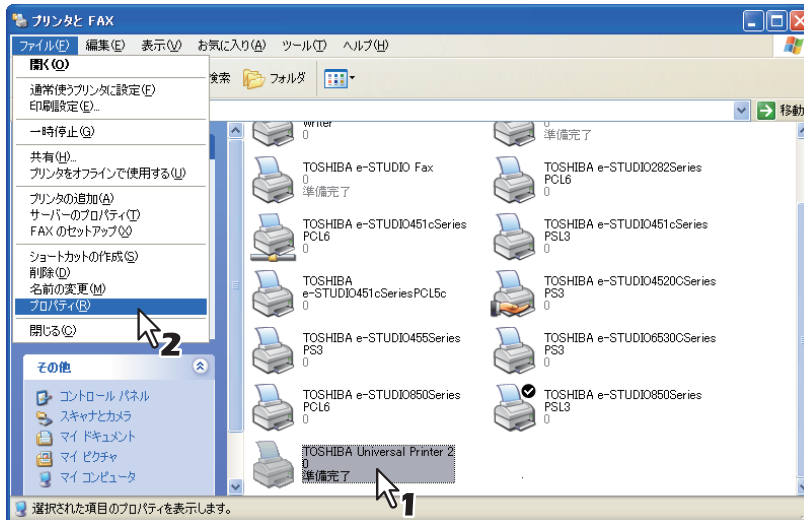
- Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2012をお使いの場合
インストールしたプリンタドライバを選択し、右クリックメニューから [プリンタのプロパティ] をクリックします。



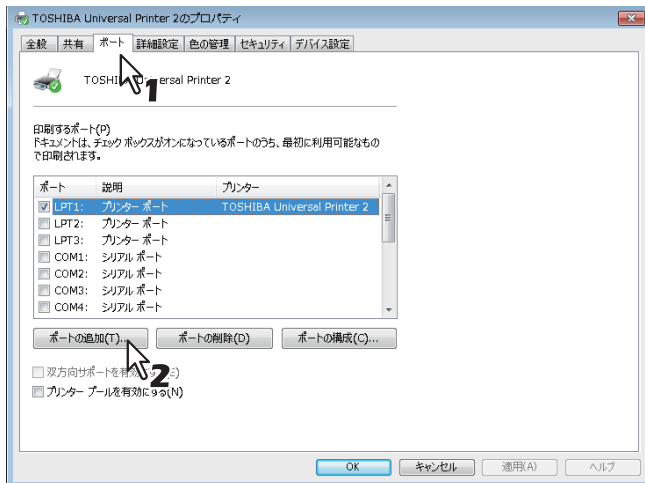
- Windows Vista / Windows Server 2008をお使いの場合
インストールしたプリンタドライバを選択し、[整理] メニュー→ [プロパティ] を選択します。



- Windows Server 2003をお使いの場合
インストールしたプリンタドライバを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択します。



12 [ポート] タブを選択し、[ポートの追加] をクリックします。



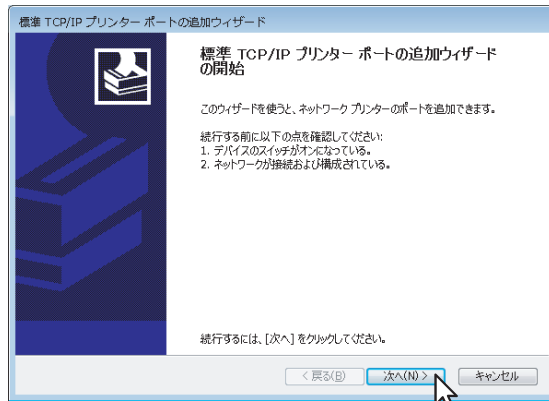
[プリンターポート] ダイアログボックスが表示されます。

13 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] をクリックします。

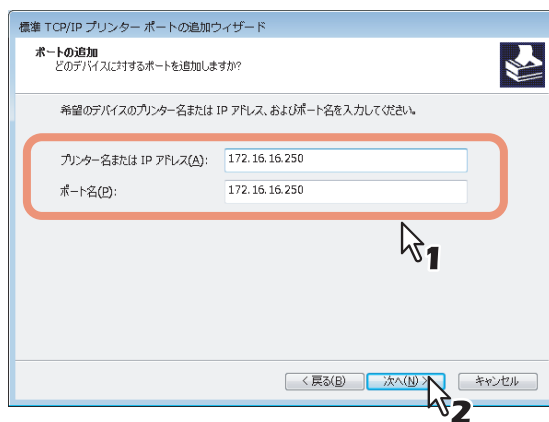


[標準TCP/IPプリンターポートの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

14 [次へ] をクリックします。



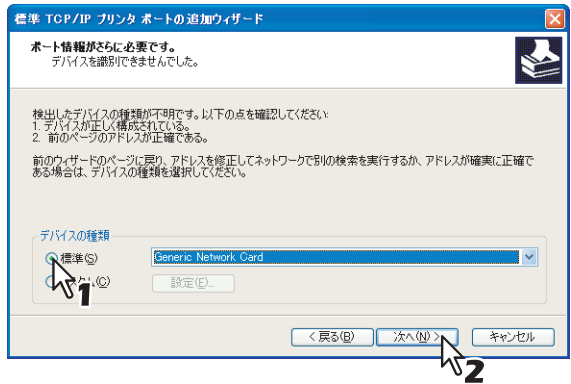
15 [プリンター名またはIPアドレス] ボックスに本機のIPアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。



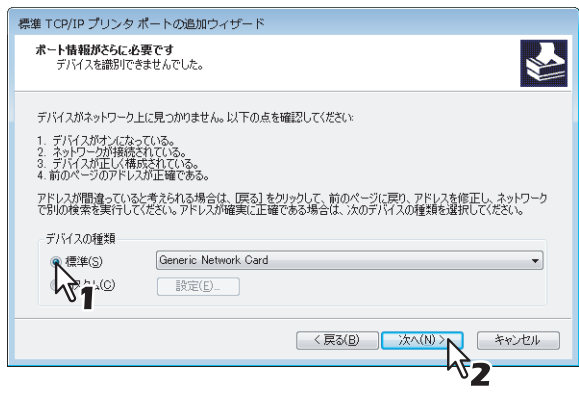
- ネットワークがDNSまたはWINSサーバーを使用している場合、[プリンター名またはIPアドレス] ボックスには、DNSまたはWINSサーバーが提供する本機の装置名を入力します。
- [プリンター名またはIPアドレス] ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力すると、[ポート名] ボックスには自動的にポート名が入力されます。なお、Windows Server 2003の場合は、先頭に“IP_”が表示されます。
- IPv6環境の場合は、IPv6のアドレスを入力してください。

注意

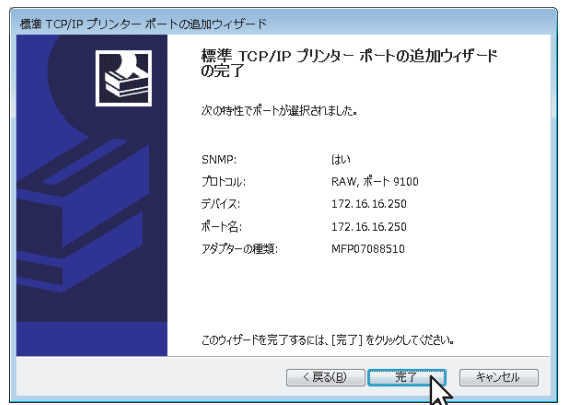
- Windows Server 2003の場合は、以下の画面が表示されることがあります。[標準] を選択し、[次へ] をクリックしてください。



- Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012の場合は、以下の画面が表示されることがあります。[標準] を選択し、[次へ] をクリックしてください。



16 [完了] をクリックします。

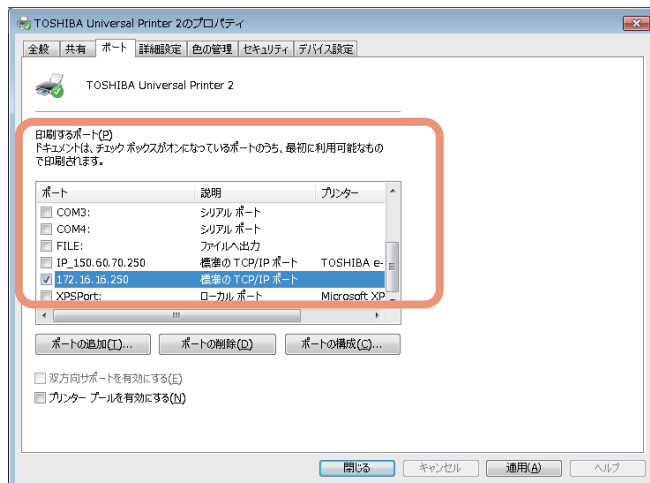


[プリンターポート] ダイアログボックスに戻ります。

17 [閉じる] をクリックし、[プリンターポート] ダイアログボックスを閉じます。



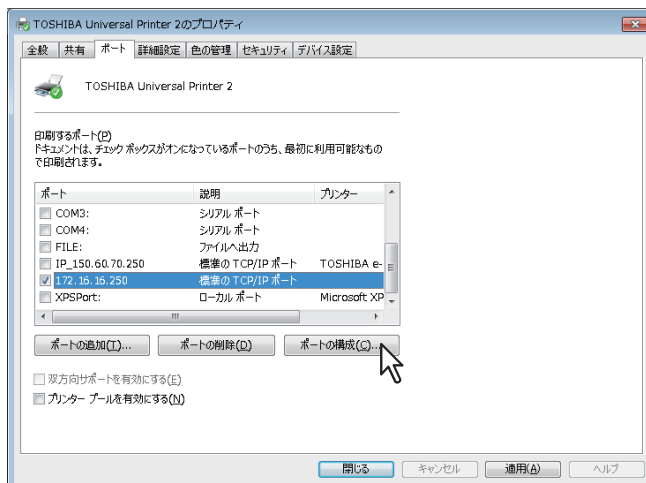
18 [印刷するポート] リストにて、作成したRaw TCPポートがチェックされていることを確認します。



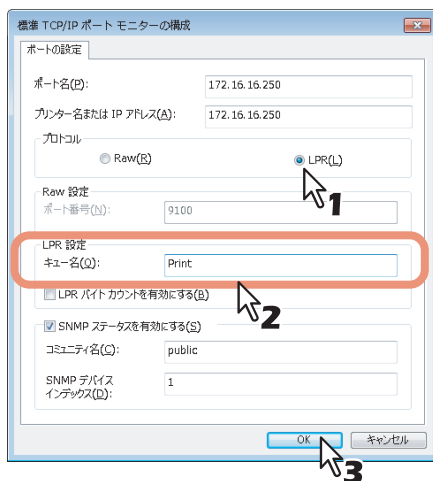
補足

LPD印刷サービスが有効になっている場合は、LPR印刷を利用することもできます。LPR印刷を設定する場合は、以下の手順で設定してください。

1. [ポートの構成] をクリックします。

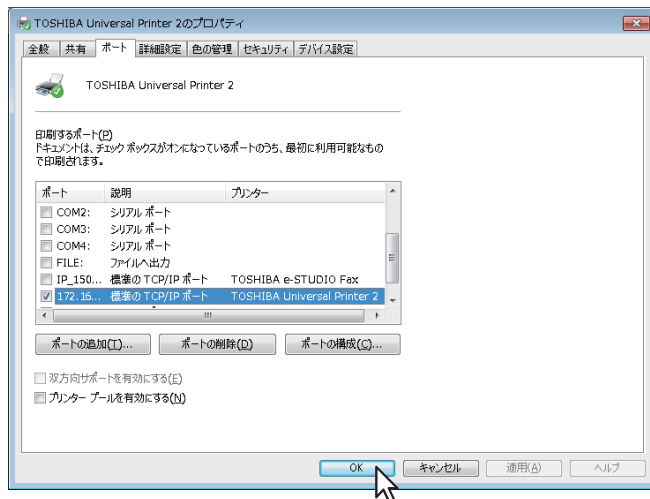


2. [プロトコル] で [LPR] を選択して、[LPR設定] の [キュー名] ボックスへ「Print」と入力し、[OK] をクリックします。



19 [適用] をクリックします。

20 [OK] をクリックし、設定を保存します。



補足

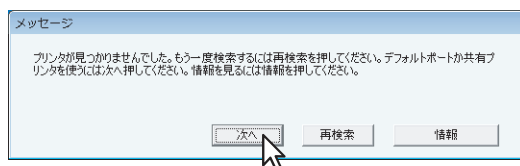
インストールしたプリンタドライバを使って印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションの構成を設定し、必要に応じて部門コードを設定してください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

□ SMB印刷

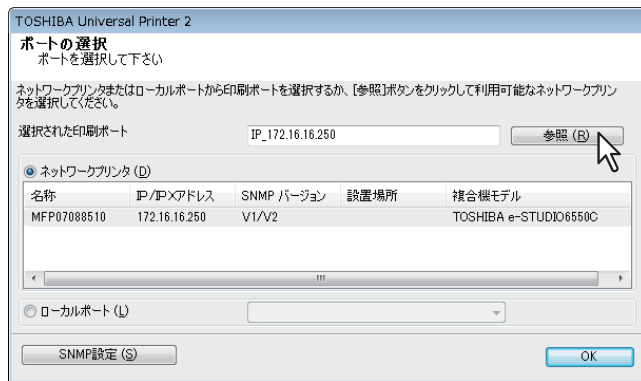
SMB印刷ポートを手動で指定してプリンタドライバをインストールします。

注意

- SMB印刷は、小規模ネットワークでの利用することを想定しています。Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Server 2012のいずれかをプリントサーバーとして利用可能なネットワーク環境がある場合は、Windowsプリントサーバー経由で印刷することをお勧めします。
- 設定を行う前に、本機がネットワークに接続され、電源が入っていること確認してください。
- インストール開始後、ネットワーク上のプリンタが検出されなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。
[次へ] をクリックし、設定を続行してください。



7 [参照] をクリックします。



[プリンタの参照] ダイアログボックスが表示されます。

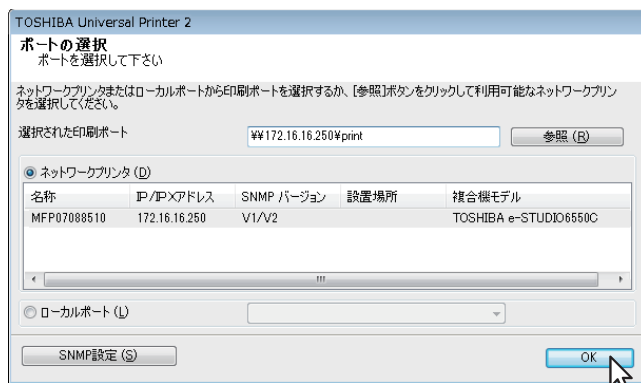
補足

- 本機のIPアドレスまたは装置名称があらかじめ分かっている場合は、[参照] をクリックする代わりに、キーボードからの直接入力により印刷ポートを指定することができます。[選択された印刷ポート] ボックスへ下記のようにネットワークパスを入力し、手順9へ進んでください。
¥ ¥ <IPアドレスまたは装置名称> ¥ print
- Windows 7やWindows Vistaなどをお使いの場合、ネットワーク環境により [参照] から本機のポートを参照できないことがあります。この場合には、[選択された印刷ポート] ボックスへ下記のようにネットワークパスを入力し、手順9へ進んでください。
¥ ¥ <IPアドレスまたは装置名称> ¥ print

8 本機の「print」を選択し、[OK] をクリックします。

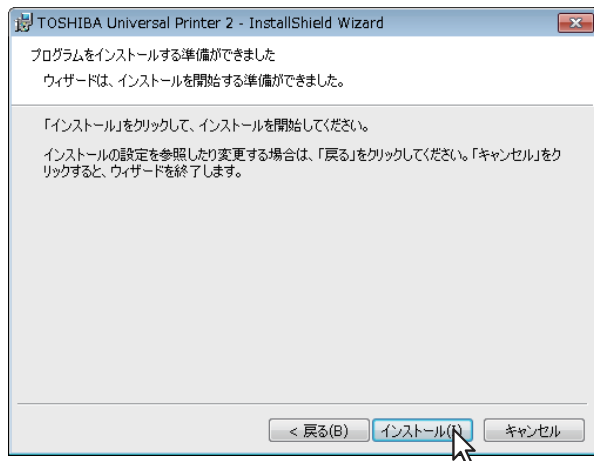


9 [OK] をクリックします。



[プログラムをインストールする準備ができました] ウィンドウが表示されます。

10 「インストール」 をクリックします。



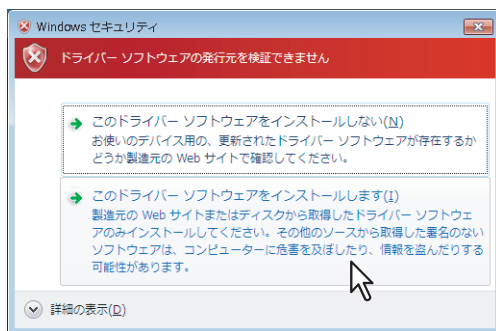
インストールが開始されます。

補足

- 以下のメッセージが表示された場合は、インストール中のプリンタドライバを標準で使うプリンタに設定するかを選択してください。

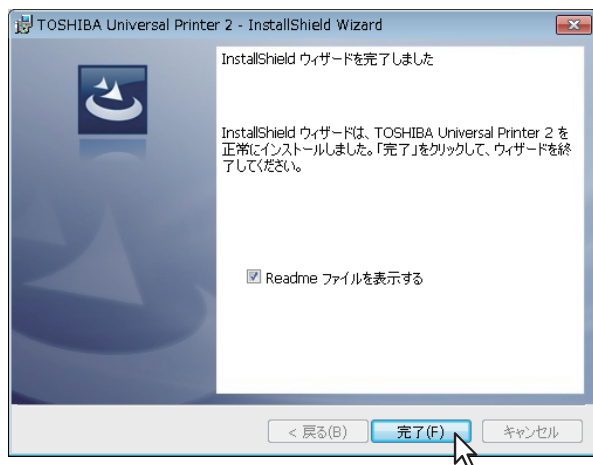


- [Windows セキュリティ] ダイアログボックスが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてください。



- Universal XPSプリンタドライバは、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8、またはXPS Essentials Pack がインストールされているWindows Server 2003 SP2以降のコンピュータへインストールできます。

11 [InstallShieldウィザードを完了しました] と表示されたら、[完了] をクリックします。



補足

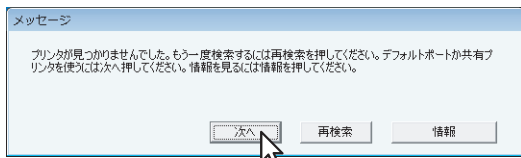
- コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。
- インストールしたプリンタドライバを使って印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションの構成を設定し、必要に応じて部門コードを設定してください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

□ Novell印刷

Novell印刷用の印刷ポートを設定します。

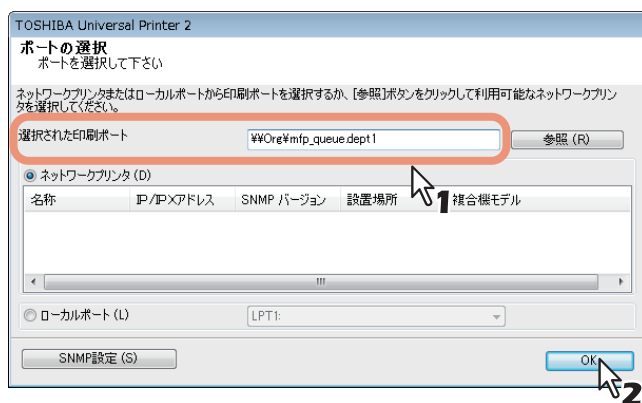
注意

- NetWareプリントサーバーにアクセスするための権限が必要です。
- インストール開始後、ネットワーク上の本機が検出されなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。
[次へ] をクリックし、設定を続行してください。

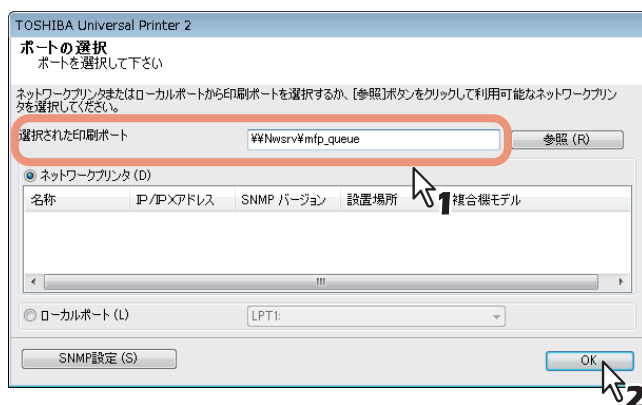


7 [選択された印刷ポート] にキュー名を入力し、[OK] をクリックします。

- NDS/NDPSモードの場合
例：ルート=Org コンテキスト=dept1 キュー名=mfp_queue
¥ ¥Org¥ mfp_queue.dept1



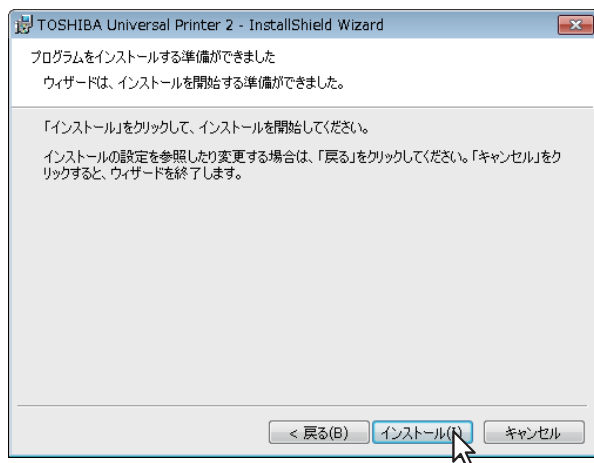
- バインダリモードの場合
例：NetWareプリントサーバー名=Nwsrv キュー名=mfp_queue
¥ ¥Nwsrv¥ mfp_queue



注意

本機のキューは管理者によって作成されています。本機のキューが不明の場合は、管理者にお問い合わせください。

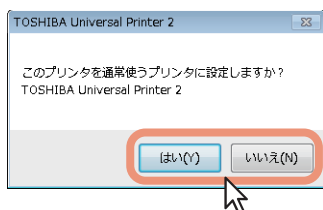
8 「インストール」 をクリックします。



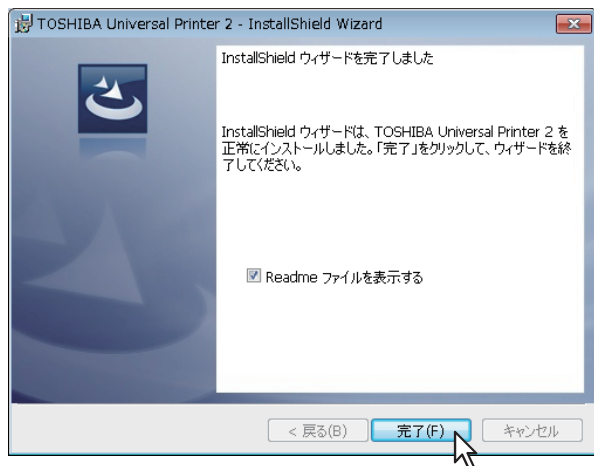
インストールが開始されます。

補足

以下のメッセージが表示された場合は、インストール中のプリンタドライバを標準で使うプリンタに設定するかを選択してください。



9 「InstallShieldウィザードを完了しました」と表示されたら、「完了」 をクリックします。



補足

- コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックしてください。
- インストールしたプリンタドライバを使って印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションの構成を設定し、必要に応じて部門コードを設定してください。設定方法については、印刷ガイドを参照してください。

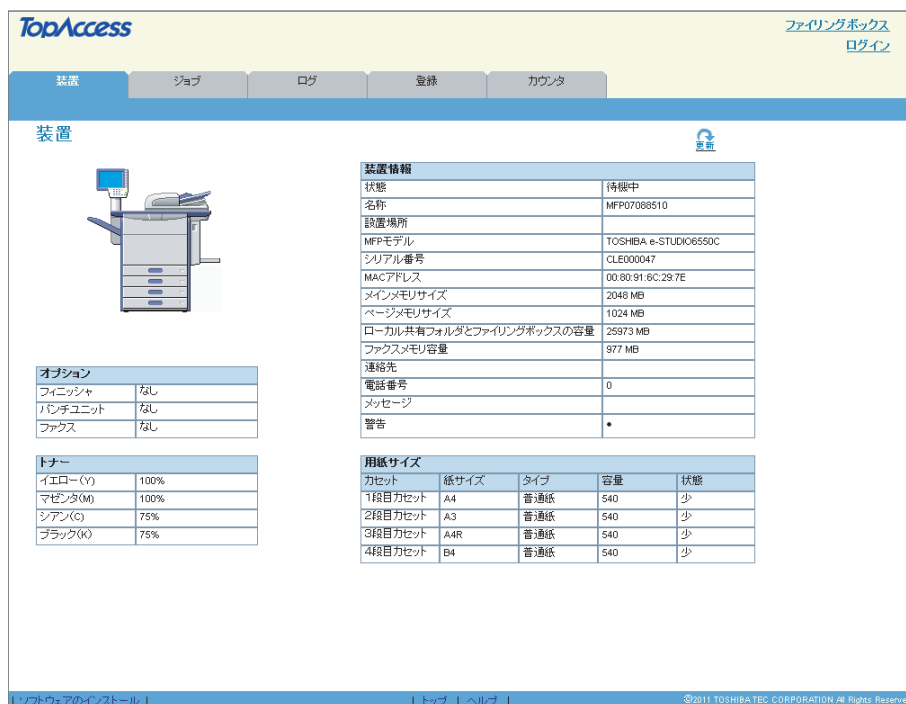
■ TopAccessからインストールする

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

注意

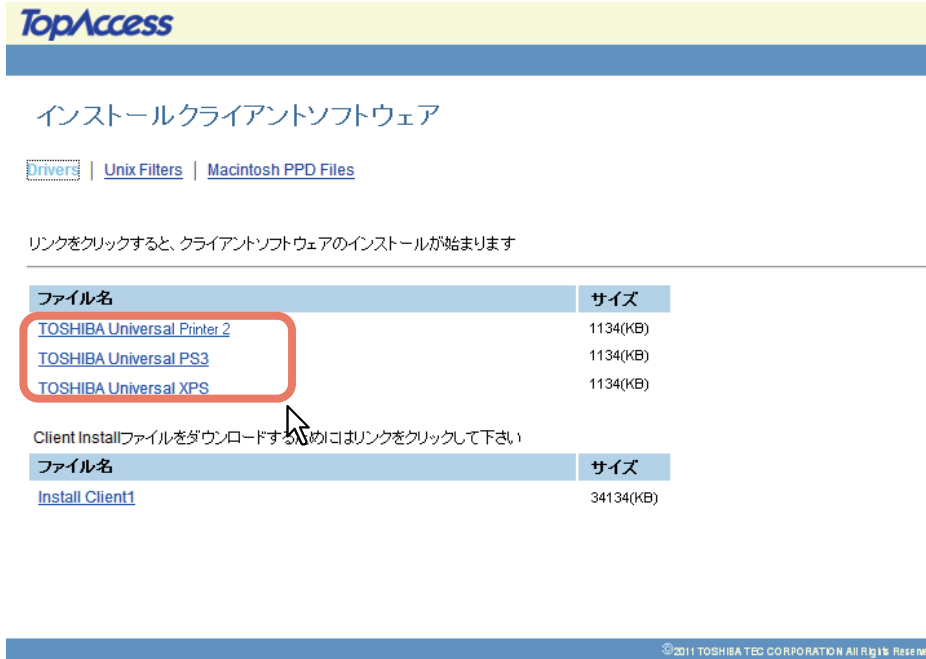
- 本機能を使用するには以下の条件が必要です。
 - 本機にハードディスクが装着されていること
 - 本機のSMB設定で、SMBプロトコルが有効であり、かつファイル共有が制限されていないこと
詳細は、本機の管理者にお問い合わせください。
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
なお、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してインストールを実行することができます。
 - プリンタドライバのファイル名リンクをクリックします。
 - [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されますので、管理者のパスワードを入力した後、[はい] ([OK]) をクリックします。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行] などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

1 TopAccessの画面下にある [ソフトウェアのインストール] リンクをクリックします。



[インストールクライアントソフトウェア] ページが表示されます。

2 インストールしたいプリンタドライバのファイル名リンクをクリックします。



The screenshot shows the TopAccess website interface. At the top, there is a navigation bar with the TopAccess logo. Below it, the page title is "インストールクライアントソフトウェア". There are three tabs: "Drivers", "Unix Filters", and "Macintosh PPD Files". A message states: "リンクをクリックすると、クライアントソフトウェアのインストールが始まります". Below this is a table with two columns: "ファイル名" and "サイズ". The first table lists three files: "TOSHIBA Universal Printer 2" (1134(KB)), "TOSHIBA Universal PS3" (1134(KB)), and "TOSHIBA Universal XPS" (1134(KB)). A red box highlights these three rows, and a mouse cursor points to the "TOSHIBA Universal PS3" link. Below this table is a note: "Client Installファイルをダウンロードする目的はリンクをクリックして下さい". A second table lists one file: "Install Client1" (34134(KB)). At the bottom right of the page, there is a copyright notice: "©2011 TOSHIBA TEC CORPORATION All Rights Reserved".

インストールが開始され、TCP/IPポート（IPv4）が自動的に作成されます。

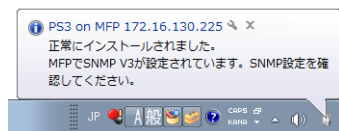
3 インストールが完了します。

インストール結果がタスクバーに表示されます。

- プリンタドライバが正常にインストールされた場合（お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV1およびV2の場合）



- プリンタドライバが正常にインストールされた場合（お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV3の場合）



SNMP設定の確認方法は、以下のセクションの「[SNMP設定] について」を参照してください。

📖 P.28 「おすすめインストール手順」

- 本機をIPv4環境でお使いの場合は、インストールはここで完了です。
本機をIPv6環境でお使いの場合は、以下のセクションの手順10以降を参照し、手動で印刷ポートを設定してください。
📖 P.45 「本機が自動的に検出されなかった場合には」

■ 本機の共有フォルダからインストールする

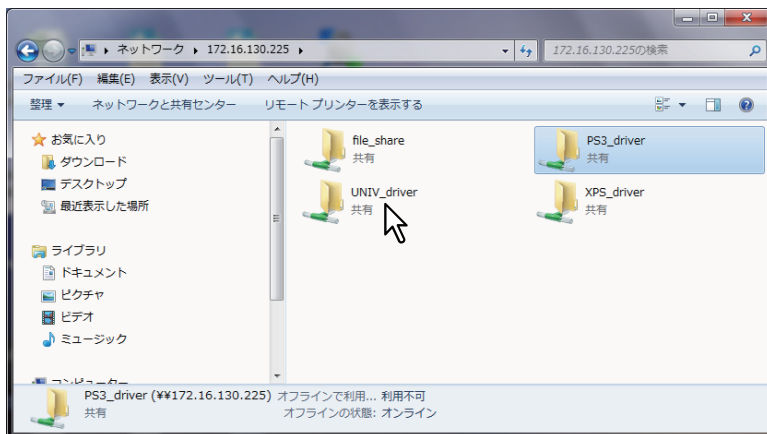
お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

注意

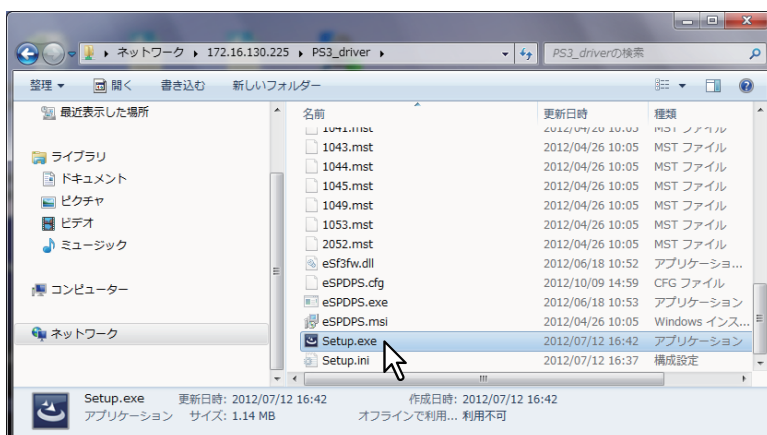
- 本機能を使用するには以下の条件が必要です。
 - 本機にハードディスクが装着されていること
 - 本機のSMB設定で、SMBプロトコルが有効であり、かつプリント共有が制限されていないこと
詳細は、本機の管理者にお問い合わせください。
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログインしてください。
なお、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してインストールを実行することができます。
 - プリンタドライバのファイル名リンクをクリックします。
 - [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されますので、管理者のパスワードを入力した後、[はい] ([OK]) をクリックします。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログインした場合にも [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行] などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

1 エクスプローラで本機の共有フォルダ (MFPローカル) を開きます。

2 インストールしたいプリンタドライバのフォルダを開きます。



3 セットアッププログラム (Setup.exe) をダブルクリックします。



インストールが開始され、TCP/IPポート (IPv4) が自動的に作成されます。

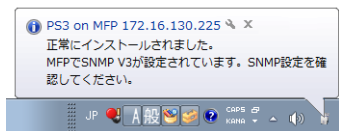
4 インストールが完了します。

インストール結果がタスクバーに表示されます。

- プリンタドライバが正常にインストールされた場合（お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV1およびV2の場合）



- プリンタドライバが正常にインストールされた場合（お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンがV3の場合）



SNMP設定の確認方法は、以下のセクションの「[SNMP設定] について」を参照してください。

📖 P.28 「おすすめインストール手順」

- 本機をIPv4環境でお使いの場合は、インストールはここで完了です。
本機をIPv6環境でお使いの場合は、以下のセクションの手順10以降を参照し、手動で印刷ポートを設定してください。
📖 P.45 「本機が自動的に検出されなかった場合には」

その他のインストール

以下の印刷環境は、インストールディスクのSoftware Installerまたは個別インストーラからのインストールではセットアップできません (Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2012でのUSB印刷は除く)。これらの印刷をセットアップする場合は、各インストール手順を参照してください。

- 📖 P.83 「Raw TCP/LPR印刷 (プリンタの追加ウィザード)」
- 📖 P.88 「USB印刷」
- 📖 P.98 「IPP印刷」
- 📖 P.111 「Novell iPrint印刷」
- 📖 P.112 「Web Serviceプリント」

■ Raw TCP/LPR印刷 (プリンタの追加ウィザード)

ここでは、「プリンタの追加ウィザード」を使ってRaw TCP/LPR印刷を行うためのプリンタドライバのセットアップ方法について説明します。

ここでは、Windows 7にインストールする例で説明します。

補 足

プリンタドライバをインストールする前に、以下のことを確認してください。

- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- 本機およびお使いのコンピュータにTCP/IPが正しく設定されていること。

注 意

- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行] などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

1 [スタート] → [デバイスとプリンター] をクリックして、[デバイスとプリンター] フォルダを開きます。

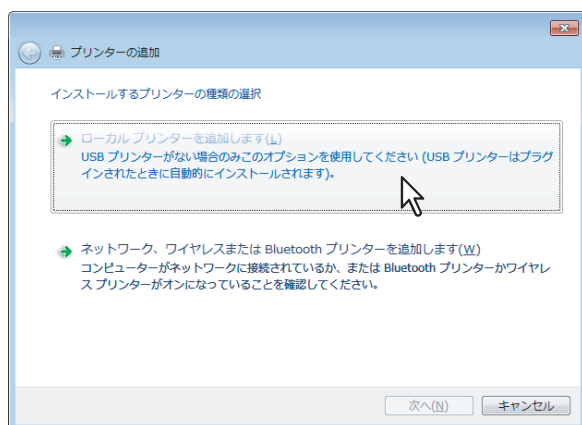


2 [プリンターの追加] をクリックします。

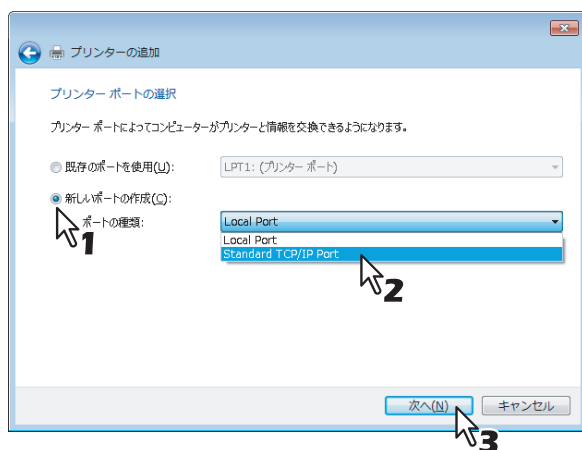


[プリンターの追加] ダイアログボックスが表示されます。

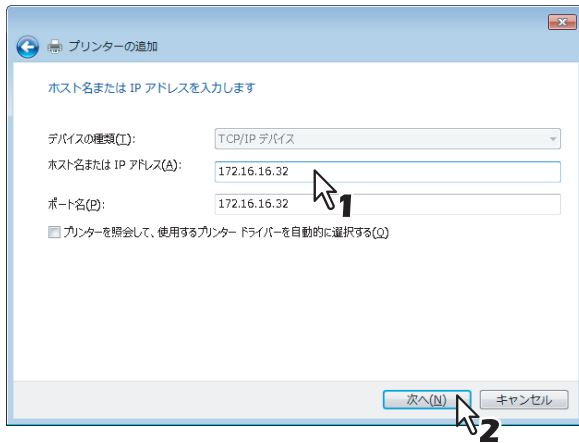
3 [ローカルプリンターを追加します] をクリックします。



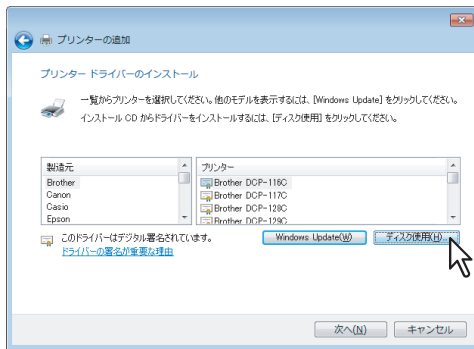
4 [新しいポートの作成] を選択し、[ポートの種類] ボックスで [Standard TCP/IP Port] を選択したら、[次へ] をクリックします。



5 [ホスト名またはIPアドレス] ボックスに本機のホスト名またはIPアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

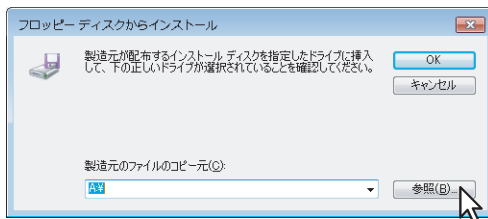


6 [ディスク使用] をクリックします。



[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスが表示されます。

7 [参照] をクリックします。

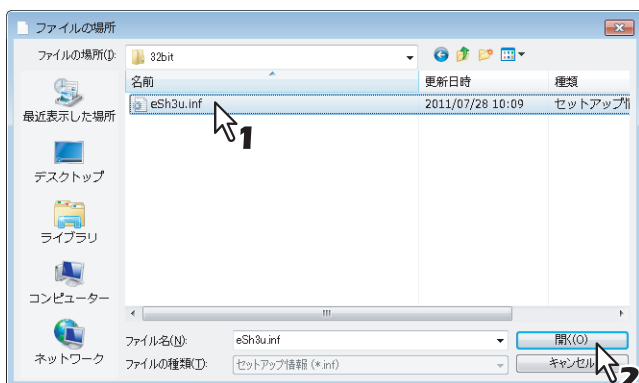


[ファイルの場所] ダイアログボックスが表示されます。

8 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

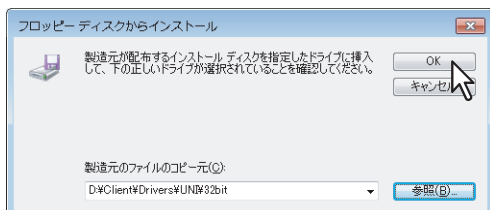
インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

9 プリントドライバのあるフォルダを開き、INFファイルを選択し、[開く] をクリックします。

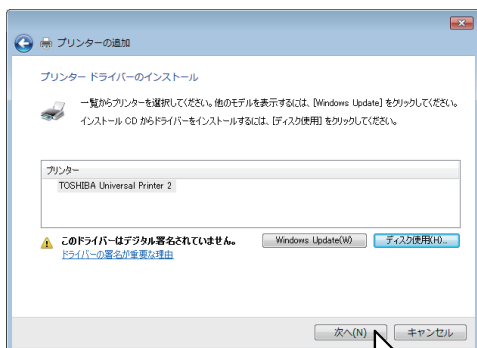


- 32ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
 - Universal Printer 2ドライバ：
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥UNI¥32bit
 - Universal PS3プリンタドライバ：
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥PS¥32bit
 - Universal XPSプリンタドライバ
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥XPS¥32bit
- 64ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
 - Universal Printer 2ドライバ：
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥UNI¥64bit
 - Universal PS3プリンタドライバ：
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥PS¥64bit
 - Universal XPSプリンタドライバ
[インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥XPS¥64bit

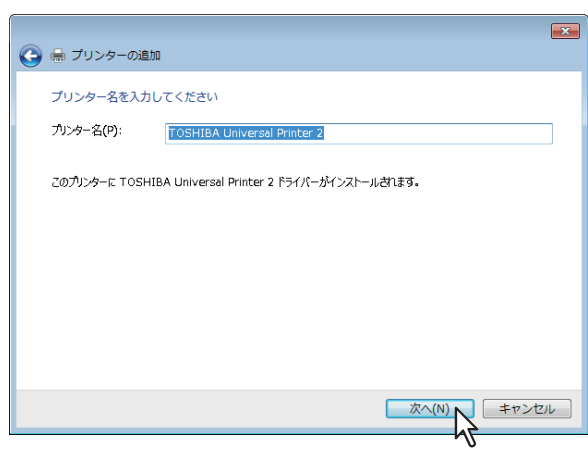
10 ファイルパスを確認し、[OK] をクリックします。



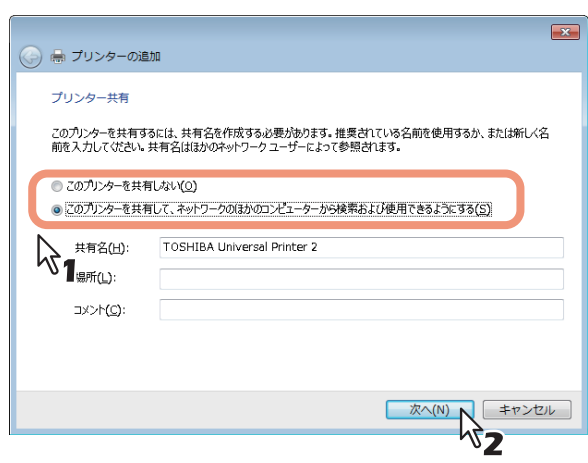
11 正しいドライバが選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。



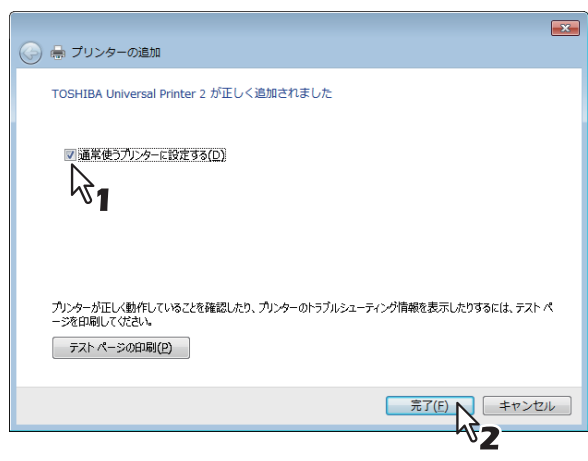
12 必要に応じてプリンタ名を変更し、[次へ] をクリックします。



13 本機をネットワーク上の他のユーザと共有するかを選択し、[次へ] をクリックします。



14 通常使うプリンタに設定するかを選択し、[完了] をクリックします。



プリンタドライバがインストールされます。

注意

インストールしたプリンタドライバを使って印刷を行う前に、本機に装着されている各オプション機器のオプション構成をセットアップしてください。また、必要に応じて部門コードをセットアップしてください。設定方法については、印刷ガイドを参照してください。

■ USB印刷

ここでは、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2003 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012環境で本機がUSBケーブルで接続されている場合のプリンタドライバのセットアップ方法について説明します。

USB印刷のインストール手順は、Windowsのバージョンによって異なります。

📖 P.88 「Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2012」

📖 P.93 「Windows Vista / Windows Server 2008」

📖 P.95 「Windows Server 2003」

注意

- USB2.0 Hi-Speed規格認証ケーブル（USB Implementers Forum, Inc.が認証したUSB2.0のHi-Speedモード“転送速度480 Mbps”に対応したUSBケーブル）を使用してください。
- 本機とコンピュータはUSBケーブルで直接接続してください。HUBなどを経由して接続すると、正しく動作しない場合があります。
- PCLXLエラーが発生する場合は、「デバイスとプリンター」でTOSHIBA Universal Printer2の「プリンターのプロパティ」を開き、「詳細設定」タブの「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る」を選んでください。

□ Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2012

USB印刷用のプリンタドライバをインストールディスクのSoftware Installerを使ってインストールします。

注意

- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、[ユーザーアカウント制御]ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも[ユーザーアカウント制御]ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行]などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。
- PCLXLエラーが発生する場合は、「デバイスとプリンター」でTOSHIBA Universal Printer2の「プリンターのプロパティ」を開き、「詳細設定」タブの「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る」を選んでください。

1 本機とお使いのコンピュータの電源を入れます。

2 本機とコンピュータをUSBケーブルで接続します。

3 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

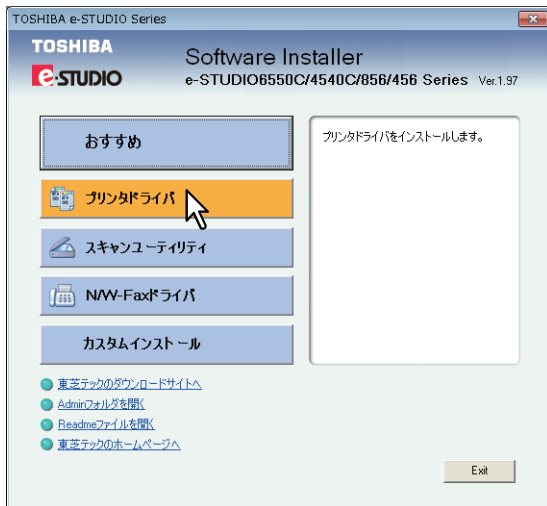
Software Installerが自動的に起動しないときには、インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

4 [使用許諾契約の全条項に同意します。] を選択し、[次へ] をクリックします。



メインメニューが表示されます。

5 [プリンタドライバ] または [カスタムインストール] をクリックします。



プリンタドライバ：Universal Printer 2ドライバをインストールします。このメニューを選択した場合は、手順7にお進みください。

カスタムインストール：インストールしたいプリンタドライバを選択できます。このメニューを選択した場合は、手順6にお進みください。

注意

Universal PS3およびUniversal XPSプリンタドライバをインストールする場合は、[カスタムインストール] または個別インストーラからインストールを行ってください。

📖 P.60 「個別インストーラを使ってインストールする」

6 手順5で「カスタムインストール」を選択した場合は、インストールするプリンタドライバを選択し、[次へ] をクリックします。



以下のプリンタドライバをインストールできます。

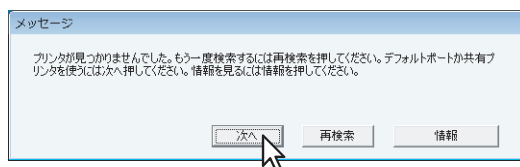
- TOSHIBA Universal Printer 2
- TOSHIBA Universal PS3
- TOSHIBA Universal XPS

7 インストールするソフトウェアを確認し、[インストール] をクリックします。



インストールが開始されます。

8 検索結果のメッセージが表示されますので、[次へ] をクリックします。



9 「ローカルポート」 および 「USBxxx」 (xxxは数字) を選択し、[OK] をクリックします。

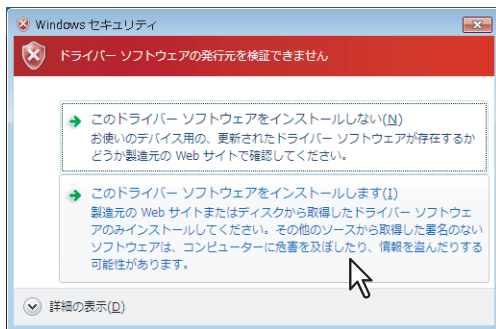


補足

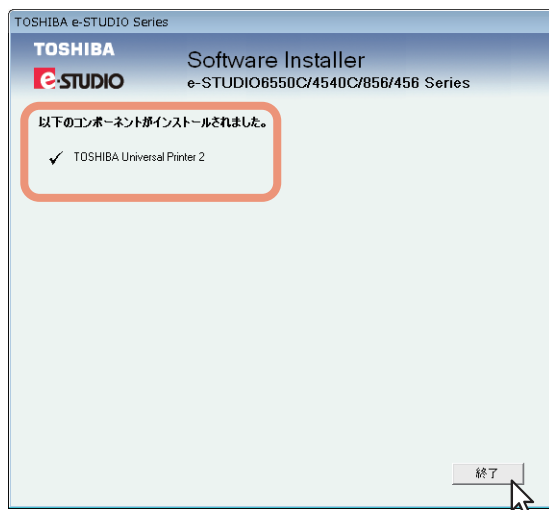
- 以下のメッセージが表示された場合は、インストール中のプリンタドライバを標準で使うプリンタに設定するかを選択してください。



- [Windows セキュリティ] ダイアログボックスが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてください。



10 インストールの完了を確認し、[終了] をクリックします。



補足

コンピュータの再起動を要求するダイアログボックスが表示された場合は、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了] をクリックします。

11 [Exit] をクリックします。

インストールの終了を確認するダイアログボックスが表示されるので、[はい] をクリックしてください。

注意

インストールしたプリンタドライバを使って印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションの構成を設定し、必要に応じて部門コードを設定してください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

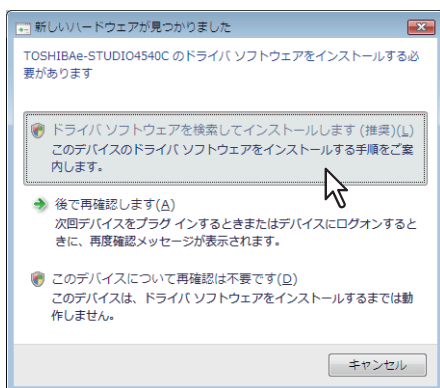
□ Windows Vista / Windows Server 2008

USB印刷用のプリンタドライバをWindows Vista / Windows Server 2008へプラグアンドプレイによりインストールします。

注意

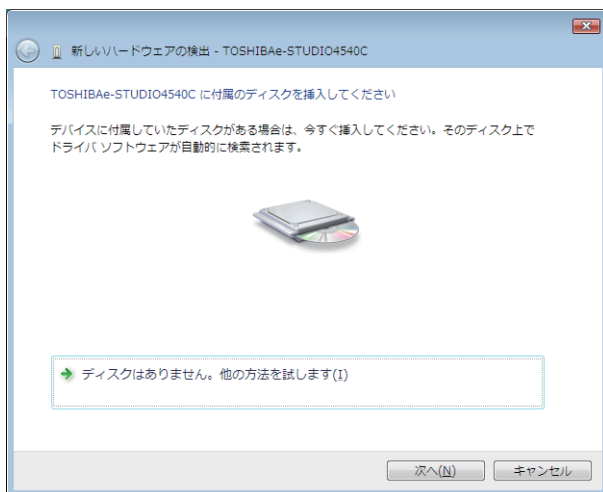
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行] などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

- 1 本機とお使いのコンピュータの電源を入れます。
- 2 本機とコンピュータをUSBケーブルで接続します。
インストール方法の確認ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。



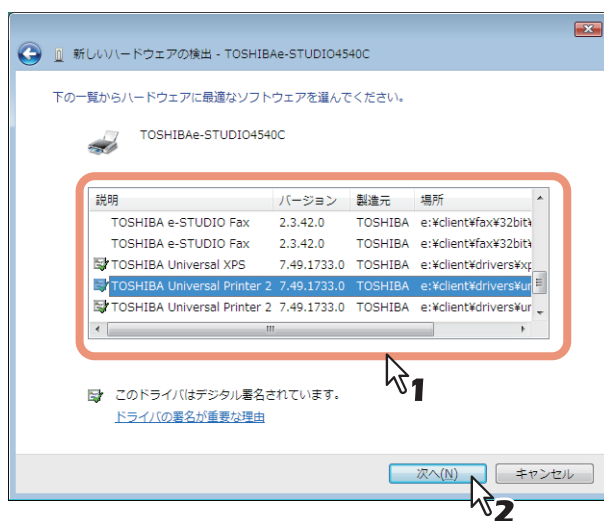
オンライン検索確認のダイアログボックスが表示された場合は、[オンラインで検索しません] をクリックします。

- 4 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。



インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

5 ドライバソフトウェアが自動的に検索されて一覧表示されます。インストールするドライバを選択し、[次へ] をクリックします。



注意

- プリンタドライバー一覧には、インストールすることのできるドライバがすべて表示されます。間違ったドライバをインストールすると正常に印刷されないことがあります。

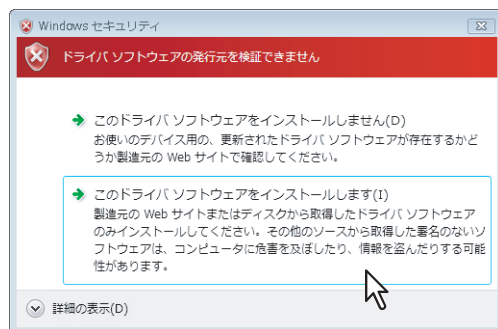
32ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合

- Universal Printer 2ドライバ：
[インストールディスク]：¥Client ¥ Drivers ¥ UNI ¥ 32bit
- Universal PS3プリンタドライバ：
[インストールディスク]：¥Client ¥ Drivers ¥ PS ¥ 32bit
- Universal XPSプリンタドライバ：
[インストールディスク]：¥Client ¥ Drivers ¥ XPS ¥ 32bit

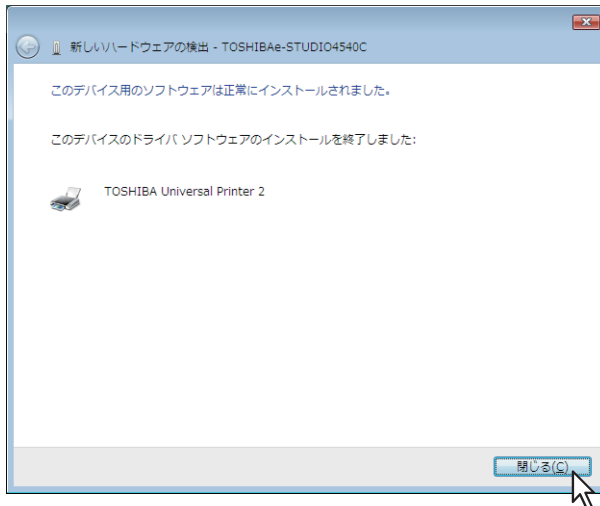
64ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合

- Universal Printer 2ドライバ：
[インストールディスク]：¥Client ¥ Drivers ¥ UNI ¥ 64bit
- Universal PS3プリンタドライバ：
[インストールディスク]：¥Client ¥ Drivers ¥ PS ¥ 64bit
- Universal XPSプリンタドライバ：
[インストールディスク]：¥Client ¥ Drivers ¥ XPS ¥ 64bit

- 以下のメッセージが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてインストールを続けてください。



6 [閉じる] をクリックします。



7 インストールを完了します。

注意

インストールしたプリンタドライバを使って印刷を行う前に、本機に装着されている各オプション機器のオプション構成をセットアップしてください。また、必要に応じて部門コードをセットアップしてください。設定方法については、印刷ガイドを参照してください。

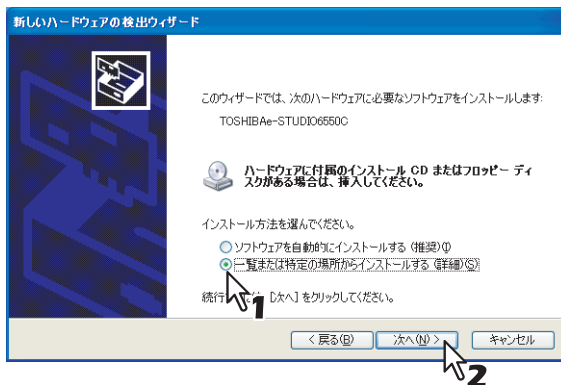
□ Windows Server 2003

USB印刷用のプリンタドライバをWindows Server 2003へプラグアンドプレイによりインストールします。

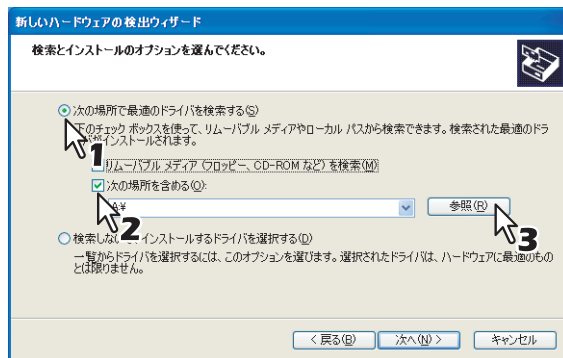
注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

- 1 本機とお使いのコンピュータの電源を入れます。
- 2 本機とコンピュータをUSBケーブルで接続します。
[新しいハードウェアの検出ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] を選択し、[次へ] をクリックします。



4 [次の場所で最適なドライバを検索する] を選択し、[次の場所を含める] チェックボックスのみをオンにして、[参照] をクリックします。

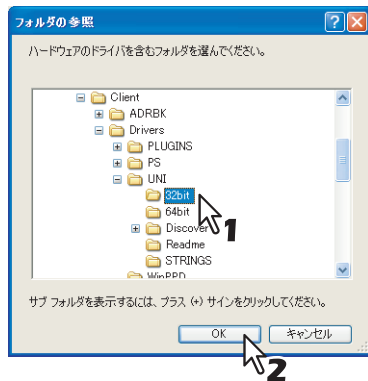


[フォルダの参照] ダイアログボックスが表示されます。

5 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

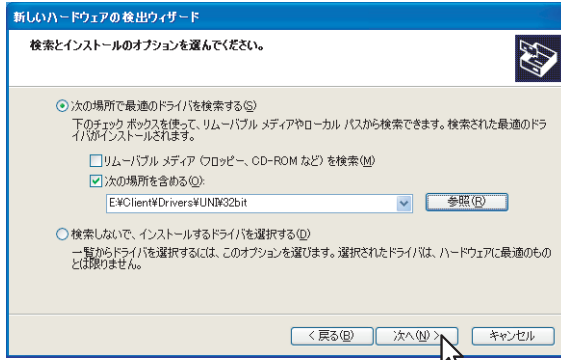
インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

6 プリンタドライバがあるフォルダを選択し、[OK] をクリックします。



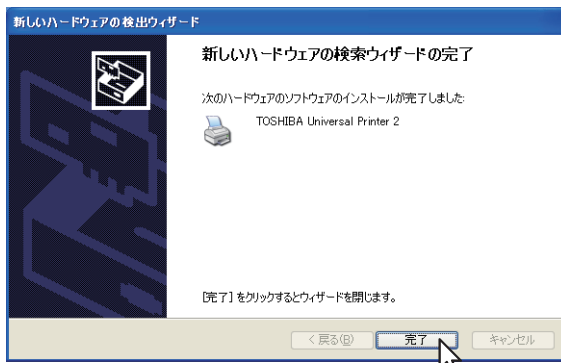
- 32ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
 - Universal Printer 2ドライバ：
[インストールディスク]： ¥Client ¥ Drivers ¥ UNI ¥ 32bit
 - Universal PS3プリンタドライバ：
[インストールディスク]： ¥Client ¥ Drivers ¥ PS ¥ 32bit
 - Universal XPSプリンタドライバ：
[インストールディスク]： ¥Client ¥ Drivers ¥ XPS ¥ 32bit
- 64ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
 - Universal Printer 2ドライバ：
[インストールディスク]： ¥Client ¥ Drivers ¥ UNI ¥ 64bit
 - Universal PS3プリンタドライバ：
[インストールディスク]： ¥Client ¥ Drivers ¥ PS ¥ 64bit
 - Universal XPSプリンタドライバ：
[インストールディスク]： ¥Client ¥ Drivers ¥ XPS ¥ 64bit

7 [次へ] をクリックします。



ファイルのコピーを開始します。

8 [完了] をクリックします。



9 インストールを完了します。

注意

インストールしたプリンタドライバを使って印刷を行う前に、本機に装着されている各オプション機器のオプション構成をセットアップしてください。また、必要に応じて部門コードをセットアップしてください。設定方法については、印刷ガイドを参照してください。

■ IPP印刷

ここでは、IPP印刷を行うためのプリンタドライバのセットアップ方法について説明します。
IPP印刷用にプリンタドライバをセットアップするには、「プリンタの追加ウィザード」を使ってプリンタドライバをインストールし、その後必要な他のソフトウェアをインストールします。

補足

- プリンタドライバをインストールする前に、以下のことを確認してください。
- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
 - 本機およびお使いのコンピュータにTCP/IPが正しく設定されていること。

IPP印刷のインストール手順は、Windowsのバージョンによって異なります。

📖 P.98 「Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012」

📖 P.105 「Windows Server 2003」

□ Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012

IPP印刷用のプリンタドライバを「プリンタの追加ウィザード」を使ってインストールします。
お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

注意

- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザーアカウントを変更してインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行] などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

1 プリンタフォルダを開きます。

- Windows 7をお使いの場合
[スタート] → [デバイスとプリンター] をクリックして、[デバイスとプリンター] フォルダを開きます。



- Windows Vista / Windows Server 2008をお使いの場合
 [スタート] → [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] メニューの [プリンタ] の順にクリックして、[プリンタ] フォルダを開きます。



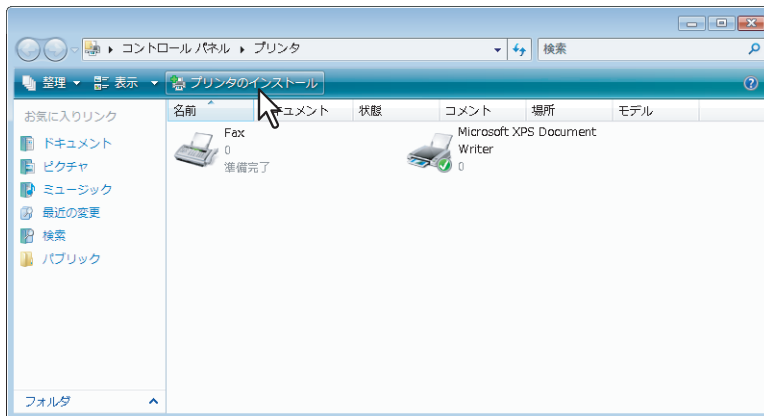
- Windows 8 / Windows Server 2012での操作方法は、以下のセクションを参照してください。
 P.52 「Windows 8 / Windows Server 2012でプリンタフォルダを表示する」

2 [プリンターの追加] ダイアログボックスを表示します。

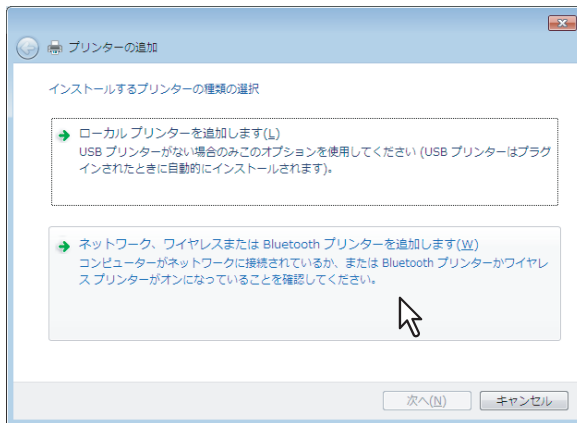
- Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2012をお使いの場合
 [プリンターの追加] をクリックします。



- Windows Vista / Windows Server 2008をお使いの場合
[プリンタのインストール] をクリックします。



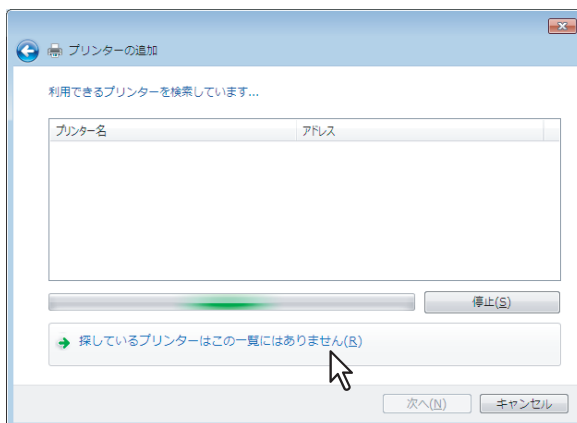
3 [ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetoothプリンターを追加します] をクリックします。



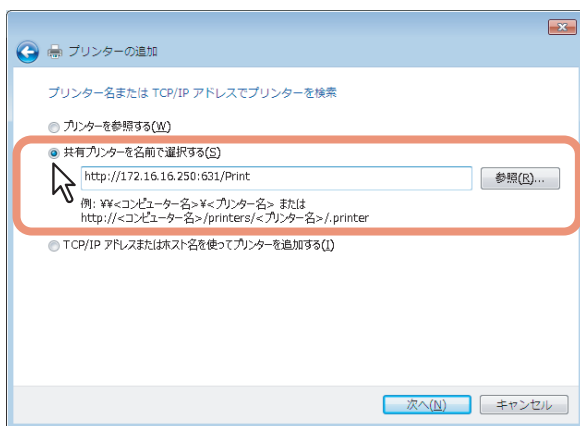
補足

Windows 8またはWindows Server 2012をお使いの場合、この画面は表示されません。

4 [探しているプリンターはこの一覧にはありません(R)] を選択します。



5 「共有プリンターを名前を選択する」を選択して「http:// [IPアドレス] :631/Print」と入力します。



- [IPアドレス] の箇所には、本機のIPアドレスを入力します。
例：IPアドレスが「192.168.1.2」の場合
http://192.168.1.2:631/Print
- ネットワークでDNSまたはWINSサーバーを使用している場合は、IPアドレスの代わりに本機のサーバー名を入力します。
例：サーバー名が「Mfp-05212774」の場合
http://Mfp-05212774:631/Print
- インターネットから接続している場合は、IPアドレスの代わりに本機のFQDNを入力します。
例：URLが「Mfp-05212774.toshibatec.com」の場合
http://Mfp-05212774.toshibatec.com:631/Print

注意

IPP URLの「Print」の「P」は必ず大文字で入力する必要があります。小文字で「print」と入力しても、IPPポートが作成されますが、正常に印刷することはできません。誤って小文字の「print」でIPPポートを作成してしまった場合は、IPPポートをいったん削除してから、正しいIPP URLを指定してIPPポートを作成し直してください。

補足

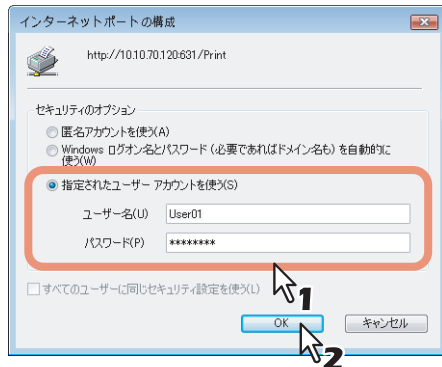
- 本機の管理者が本機上でIPPポート80機能を有効に設定している場合は、ポート番号をURLから除外することができます。(例：http://192.168.1.2/Print)
- 本機の管理者が本機上でIPP印刷のSSLを有効に設定している場合は、「https:// [IPアドレス] : [SSLポート番号] /Print」と入力します。
(例：https://192.168.1.2:443/Print)

6 [次へ] をクリックします。

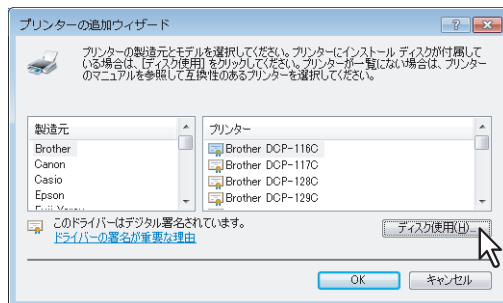
選択した本機との接続確認用のダイアログボックスが表示されますので、完了するまでお待ちください。

注意

IPP印刷の認証設定が有効になっている場合は、ユーザ名およびパスワードの入力画面が表示されます。画面が表示された場合は、必要な値を入力し [OK] をクリックします。詳細は、管理者にお問い合わせください。

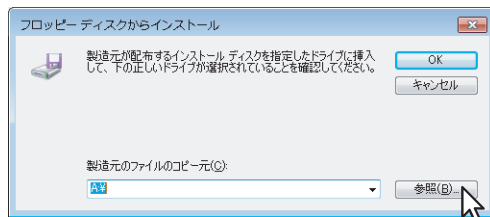


7 [ディスク使用] をクリックします。



[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスが表示されます。

8 [参照] をクリックします。

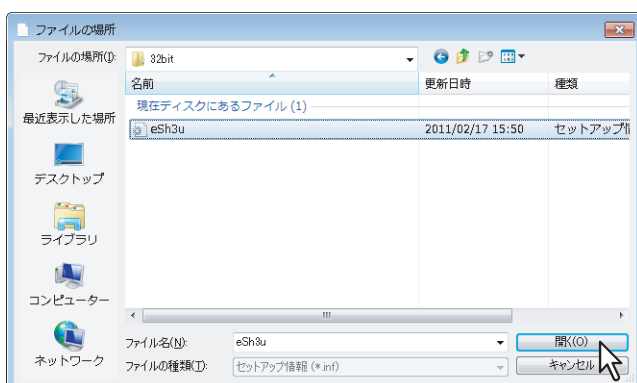


[ファイルの場所] ダイアログボックスが表示されます。

9 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

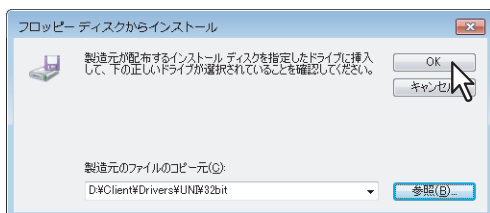
インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

10 プリンタドライバのあるフォルダを開き、INFファイルを選択し、[開く] をクリックします。

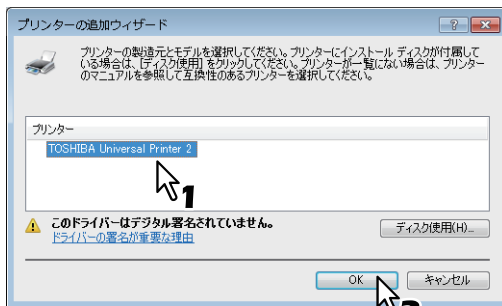


- 32ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
 - Universal Printer 2ドライバ :
[インストールディスク] : ¥Client ¥ Drivers ¥ UNI ¥ 32bit
 - Universal PS3プリンタドライバ :
[インストールディスク] : ¥Client ¥ Drivers ¥ PS ¥ 32bit
- 64ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
 - Universal Printer 2ドライバ :
[インストールディスク] : ¥Client ¥ Drivers ¥ UNI ¥ 64bit
 - Universal PS3プリンタドライバ :
[インストールディスク] : ¥Client ¥ Drivers ¥ PS ¥ 64bit

11 [OK] をクリックします。

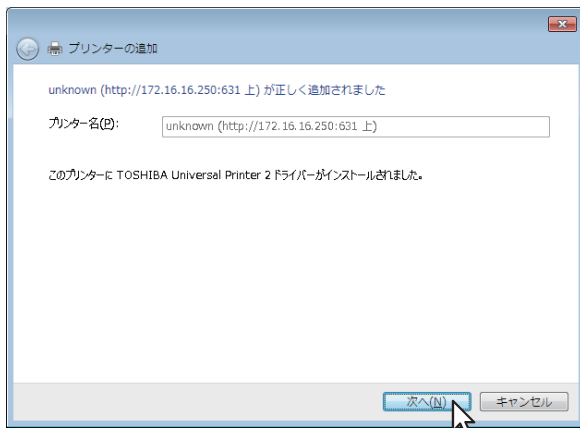


12 プリンタドライバを選択し、[OK] をクリックします。



[Windowsセキュリティ] ダイアログボックスが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックして操作を続行してください。

13 [次へ] をクリックします。

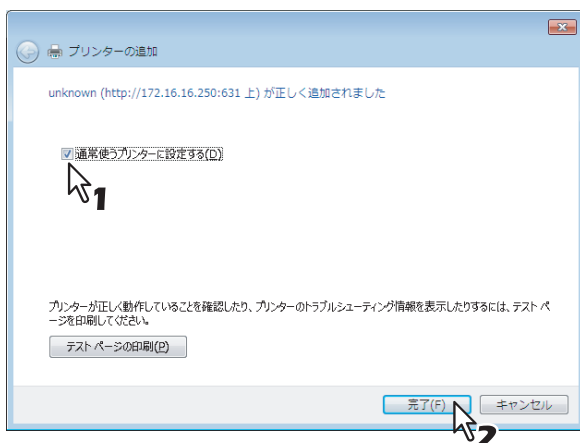


補足

[プリンタ共有] ダイアログボックスが表示された場合は、本機をネットワーク上の他のユーザと共有するかどうかを選択し、[次へ] をクリックしてください。

- 必要に応じて共有名の変更または場所およびコメントの入力を行ってください。

14 このプリンタを通常使うプリンタにするかどうかを選択し、[完了] をクリックします。



プリンタドライバがインストールされます。

注意

インストールしたプリンタドライバを使って印刷を行う前に、本機に装着されている各オプション機器のオプション構成をセットアップしてください。また、必要に応じて部門コードをセットアップしてください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

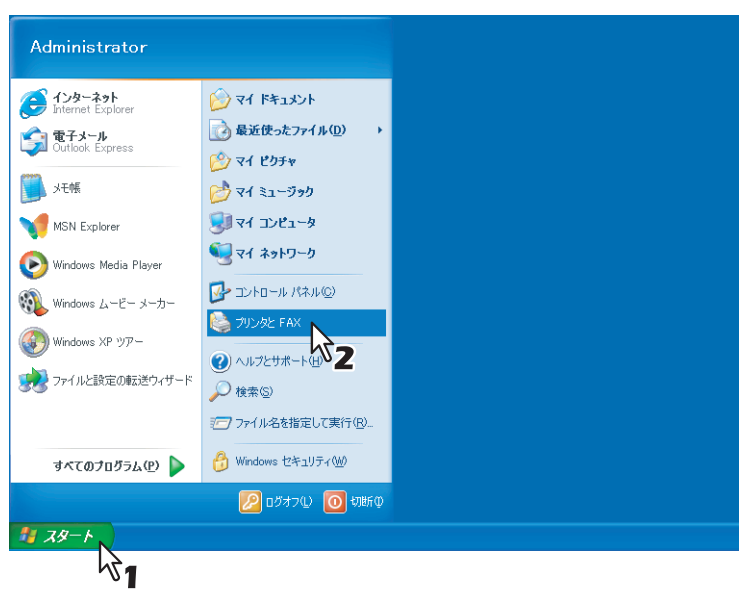
□ Windows Server 2003

IPP印刷用のプリンタドライバをWindows Server 2003へプリンタの追加ウィザードによりインストールします。

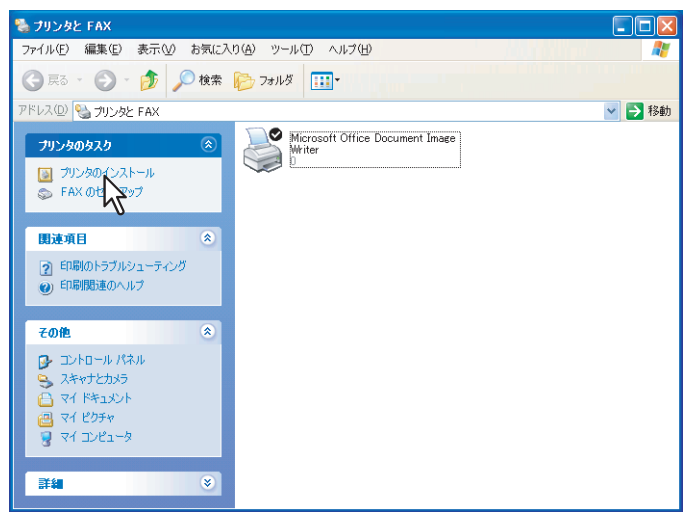
注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

- 1 [スタート] → [プリンタとFAX] をクリックして、[プリンタとFAX] フォルダを開きます。

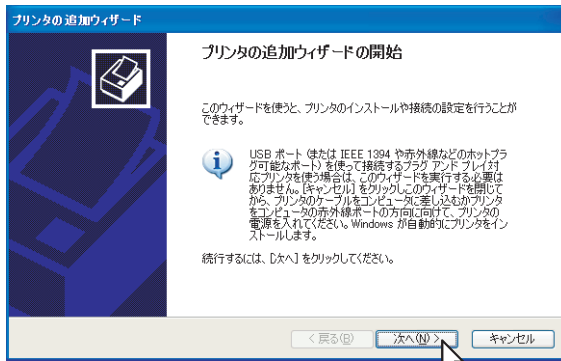


- 2 [プリンタのタスク] 内の [プリンタのインストール] をクリックします。

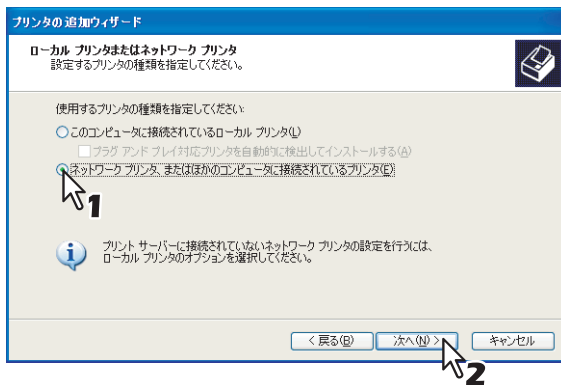


[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

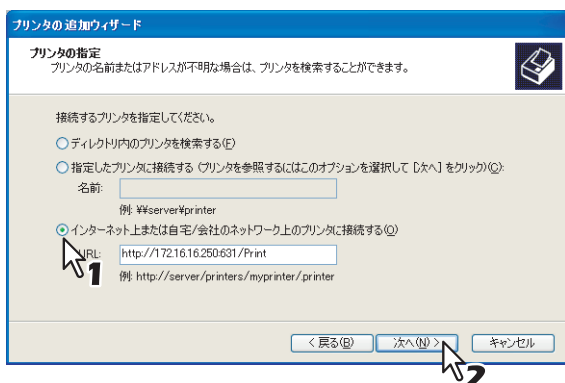
3 [次へ] をクリックします。



4 [ネットワークプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。



5 [インターネット上または自宅/会社のネットワーク上のプリンタに接続する] を選択し、[URL] ボックスに「http:// [IPアドレス] :631/Print」と入力します。



- [IPアドレス] の箇所には、本機のIPアドレスを入力します。
例：IPアドレスが「192.168.1.2」の場合
http://192.168.1.2:631/Print
- ネットワークでDNSまたはWINSサーバーを使用している場合は、IPアドレスの代わりに本機のサーバー名を入力します。
例：サーバー名が「Mfp-05212774」の場合
http://Mfp-05212774:631/Print
- インターネットから接続している場合は、IPアドレスの代わりに本機のFQDNを入力します。
例：URLが「Mfp-05212774.toshibatec.com」の場合
http://Mfp-05212774.toshibatec.com:631/Print

注意

IPP URLの「Print」の「P」は必ず大文字で入力する必要があります。小文字で「print」と入力しても、IPPポートが作成されませんが、正常に印刷することはできません。誤って小文字の「print」でIPPポートを作成してしまった場合は、IPPポートをいったん削除してから、正しいIPP URLを指定してIPPポートを作成し直してください。

補足

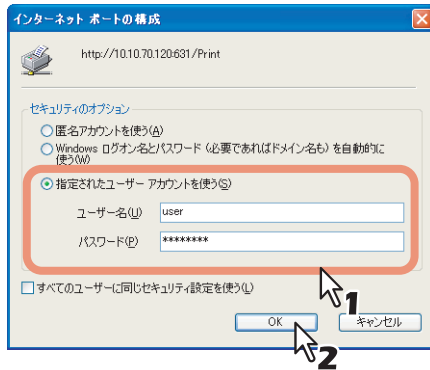
- 本機の管理者が本機上でIPPポート80機能を有効に設定している場合は、ポート番号をURLから除外することができます（例：http://192.168.1.2/Print）。
- 本機の管理者が本機上でIPP印刷のSSLを有効に設定している場合は、「URL」フィールドに「https:// [IPアドレス] : [SSLポート番号] /Print」と入力します。
（例：https://192.168.1.2:443/Print）

6 [次へ] をクリックします。

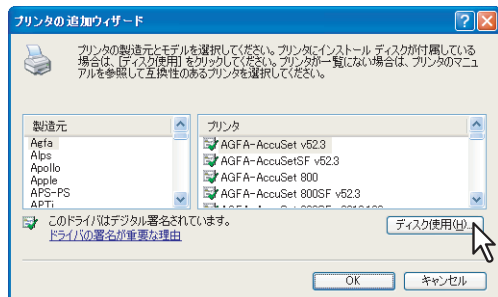
[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

注意

IPP印刷の認証設定が有効になっている場合は、ユーザ名およびパスワードの入力画面が表示されます。この画面が表示された場合は、必要な値を入力し [OK] をクリックします。詳細は、管理者にお問い合わせください。

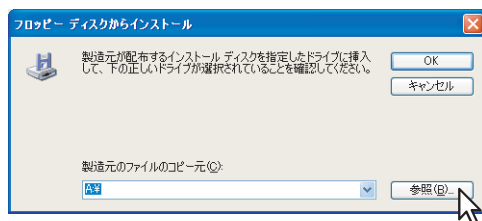


7 [ディスク使用] をクリックします。



[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスが表示されます。

8 [参照] をクリックします。

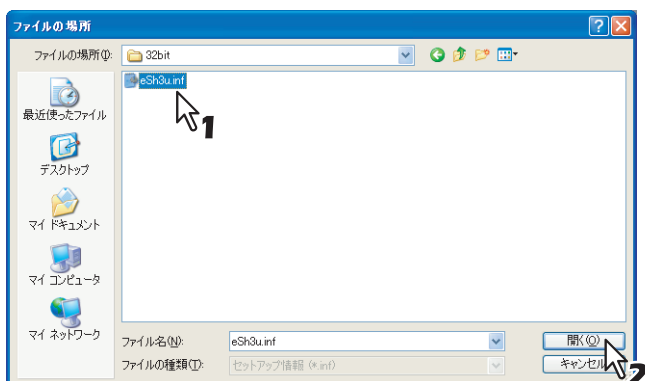


[ファイルの場所] ダイアログボックスが表示されます。

9 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

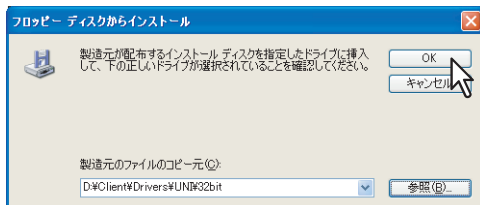
インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

10 プリンタドライバのあるフォルダを開き、INFファイルを選択し、[開く] をクリックします。

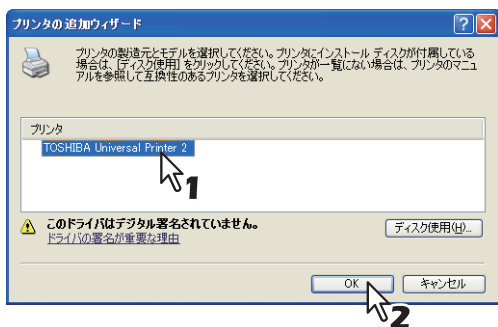


- 32ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
 - Universal Printer 2ドライバ：
 - [インストールディスク]：¥Client ¥ Drivers ¥ UNI ¥ 32bit
 - Universal PS3プリンタドライバ：
 - [インストールディスク]：¥Client ¥ Drivers ¥ PS ¥ 32bit
- 64ビット版のWindowsコンピュータをお使いの場合
 - Universal Printer 2ドライバ：
 - [インストールディスク]：¥Client ¥ Drivers ¥ UNI ¥ 64bit
 - Universal PS3プリンタドライバ：
 - [インストールディスク]：¥Client ¥ Drivers ¥ PS ¥ 64bit

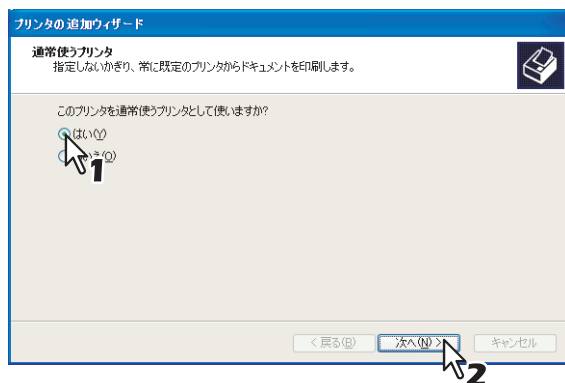
11 [OK] をクリックします。



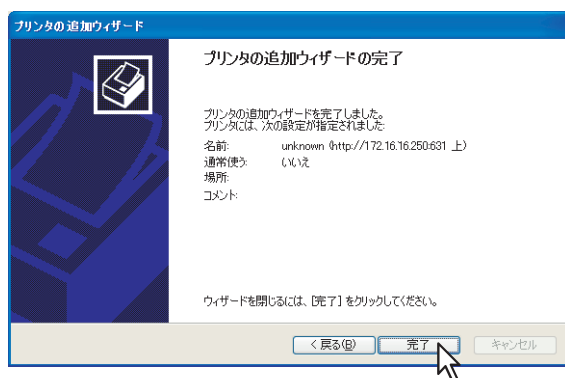
12 プリンタドライバを選択し、[OK] をクリックします。



13 通常使うプリンタとして使用するかを選択し、[次へ] をクリックします。



14 [完了] をクリックします。



プリンタドライバがインストールされます。

注意

インストールしたプリンタドライバを使って印刷を行う前に、本機に装着されている各オプション機器のオプション構成をセットアップしてください。また、必要に応じて部門コードをセットアップしてください。設定方法については、**印刷ガイド**を参照してください。

■ Novell iPrint印刷

ここでは、Novell iPrint印刷用にプリンタドライバをインストールする方法について説明します。クライアントコンピュータにNovell iPrint用のプリンタドライバをインストールするには、iPrint Clientをインストールし、NetWareプリントサーバーからプリンタドライバをダウンロードします。

注意

- クライアントコンピュータにiPrintをセットアップするには、NetWareプリントサーバーがNovell iPrint用にセットアップされている必要があります。
- Novell iPrint用にプリンタドライバをインストールする前に、お使いのコンピュータで以下の環境が満たされていることを確認してください。
 - Microsoft Internet Explorer 5.0以降、またはNetscape 4.76がインストールされていること (Netscape 6はNovell iPrintをサポートしていません)。
 - ブラウザでJavaScriptが有効に設定されていること。

1 ブラウザを起動し、アドレスバーに以下のURLを入力します。

`http://<IPアドレスまたはNDPSマネージャのNDS名>/ipp`

注意

- NDPS マネージャのIPアドレスまたはDNS名が分からない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
- IPアドレスまたはDNS名がSSLで保護されている場合は、以下のURLを入力してください。

`https://<IPアドレスまたはNDPSマネージャのNDS名>/ipps`

2 iPrint Clientがインストールされていない場合は、インストールするようメッセージが表示され、iPrint Clientがインストールされます。

3 接続可能なプリンタの一覧からインストールするプリンタをクリックします。 選択したプリンタがコンピュータにインストールされます。

■ Web Serviceプリント

本機は、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012が提供するWSD (Web Services on Devices) プロトコルをサポートしています。ここでは、WSDプロトコルを使ってプリンタドライバをインストールする方法を説明します。

インストール手順はWindowsのバージョンによって異なります。

📖 P.112 「Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2012」

📖 P.118 「Windows Vista / Windows Server 2008」

□ Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2012

Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2012にプリンタドライバをインストールします。

注意

- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザーアカウントを変更してインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行] などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。
- インストールを開始するには、お使いのコンピュータにプリンタドライバがインストールされている必要があります。
プリンタドライバのインストール方法については、以下のセクションを参照してください。
📖 P.39 「プリンタドライバのインストール」
- Web Serviceスキャンに必要なドライバも同時にインストールされます。

1 [スタート] → [コンピューター] → [ネットワーク] の順にクリックして、[ネットワーク] 画面を表示します。



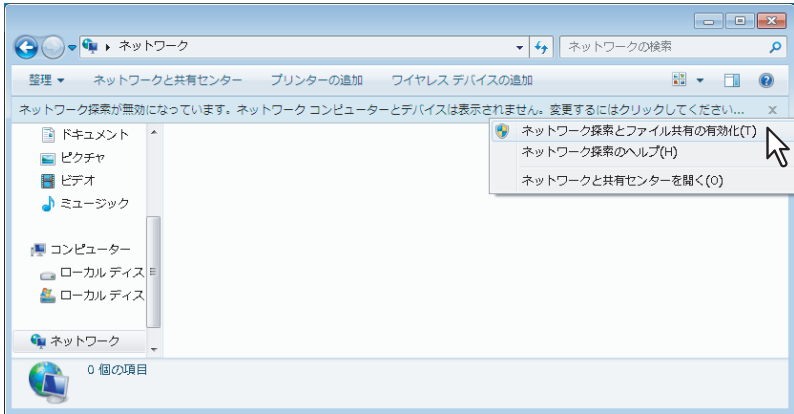
- ネットワーク探索が有効になっている場合は手順4へ進みます。
- ネットワーク探索が無効になっている場合は次の手順へ進みます。

補足

Windows 8 / Windows Server 2012での [ネットワーク] 画面の表示方法は、以下のセクションを参照してください。

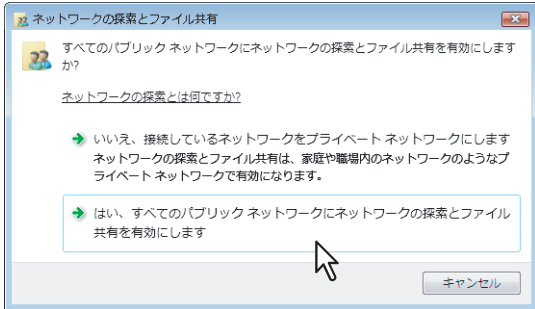
📖 P.116 「Windows 8 / Windows Server 2012で [ネットワーク] 画面を表示する」

- 2 [ネットワーク探索とファイル共有が無効になっています。ネットワークコンピューターとデバイスは表示されません。変更するにはクリックしてください] をクリックし [ネットワーク探索とファイル共有の有効化] を選択します。

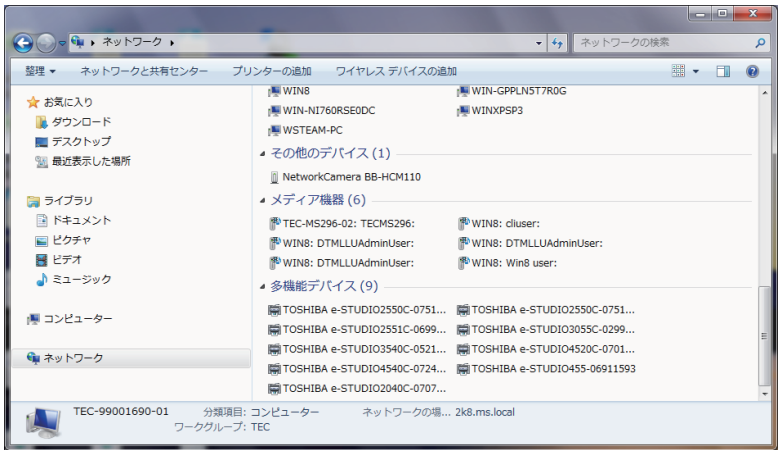


[ネットワークの探索とファイル共有] ダイアログボックスが表示されます。

- 3 [はい、すべてのパブリックネットワークにネットワークの探索とファイル共有を有効にします] をクリックします。



[ネットワーク] 画面に、接続されているコンピュータと多機能デバイスのアイコンが表示されます。

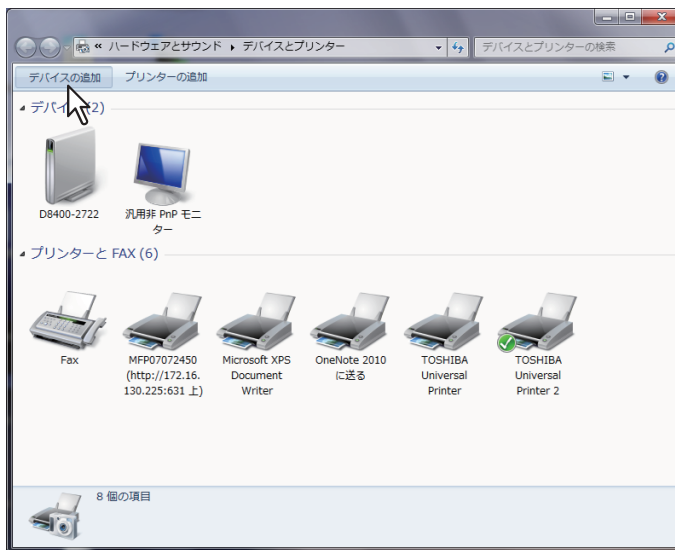


4 [スタート] → [デバイスとプリンター] をクリックして、[デバイスとプリンター] フォルダを開きます。



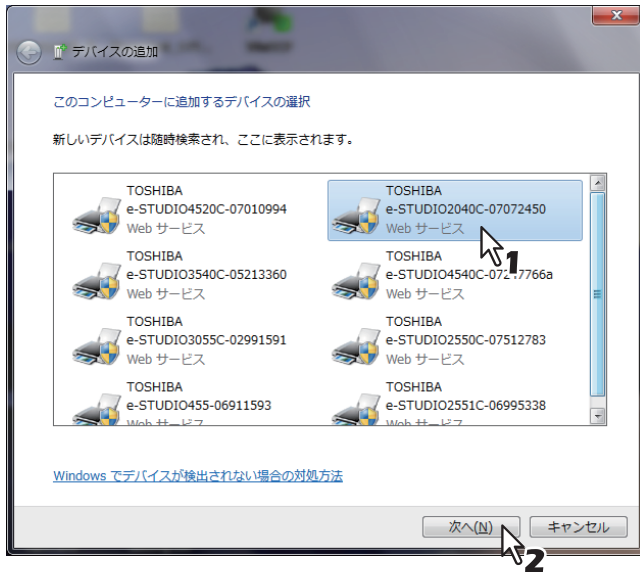
Windows 8 / Windows Server 2012での操作方法は、以下のセクションを参照してください。
P.52 「Windows 8 / Windows Server 2012でプリンタフォルダを表示する」

5 [デバイスの追加] をクリックします。




[デバイスの追加] ダイアログボックスが表示されます。

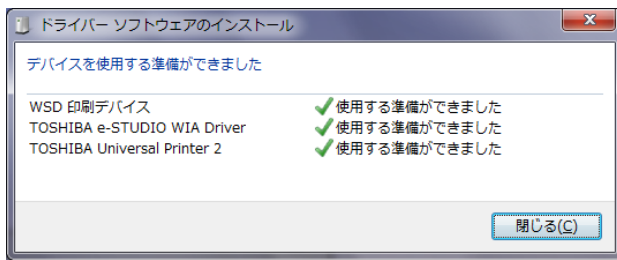
6 本機が多機能デバイスのアイコンを選択し、[次へ] をクリックします。



インストールが開始されます。

補足

タスクバーに表示される  アイコンをクリックすると、インストール状況を示す下記画面が表示されます。



7 インストールが完了します。

Windows 8 / Windows Server 2012で【ネットワーク】 画面を表示する

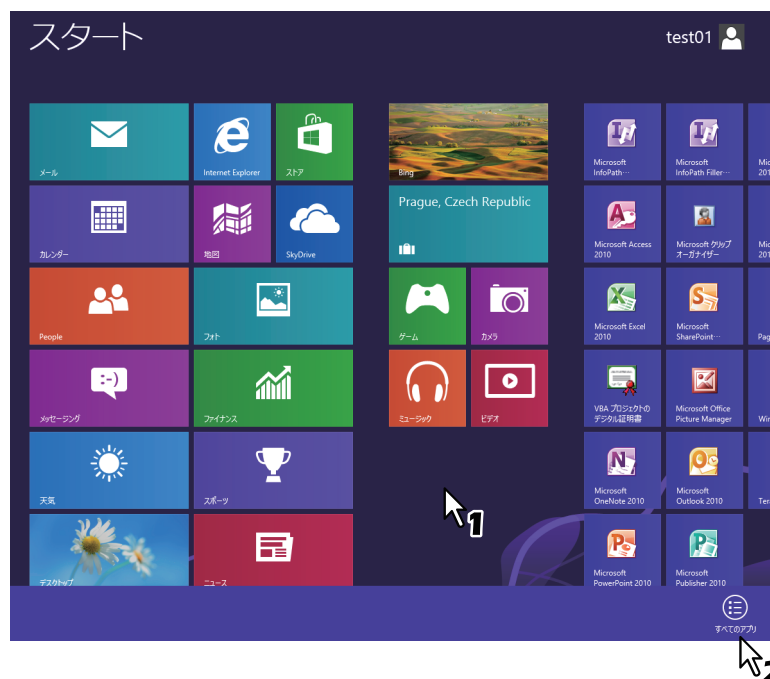
Windows 8 / Windows Server 2012をお使いの場合は、以下の手順で【ネットワーク】画面を表示します。

- 1 カーソルを画面の右上隅または右下隅に移動させ、表示メニューから【スタート】を選択します。



【スタート】画面が表示されます。

- 2 【スタート】画面の空白エリアを右クリックし、表示された【すべてのアプリ】をクリックします。



【アプリ】画面が表示されます。

3 [コンピューター] をクリックします。



[コンピューター] 画面が表示されます。

4 [ネットワーク] をクリックします。



[ネットワーク] 画面が表示されます。

□ Windows Vista / Windows Server 2008

Windows Vista / Windows Server 2008にプリンタドライバをインストールします。

注意

- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行] などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。
- Web Serviceスキャンに必要なドライバも同時にインストールされます。

補足

- 一度インストールディスクよりプリンタドライバをインストールした場合は、プリンタドライバ情報が残るため、Web Serviceプリントを再度インストールするには、インストールディスクは必要ありません。
- プリンタドライバの削除方法については、以下を参照してください。

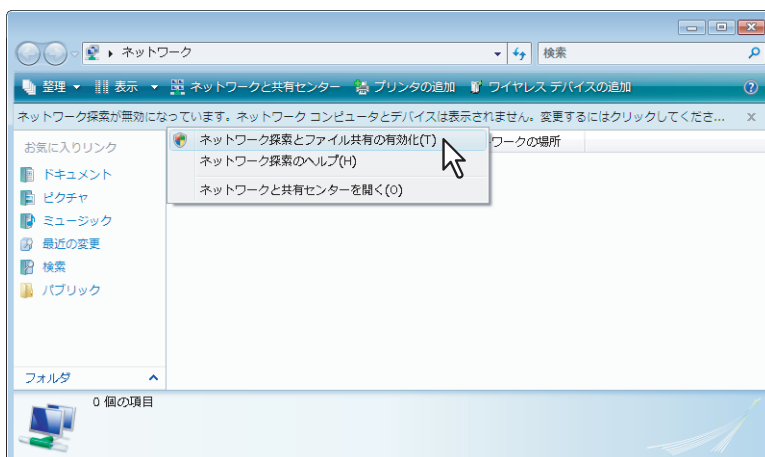
📖 P.123 「プリンタドライバのアンインストール」

1 [スタート] → [ネットワーク] をクリックして、[ネットワーク] 画面を表示します。



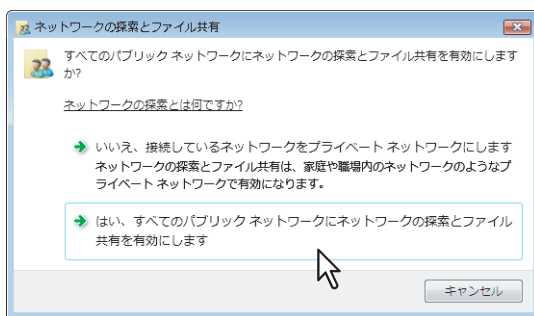
- ネットワーク探索が有効になっている場合は手順4へ進みます。
- ネットワーク探索が無効になっている場合は次の手順へ進みます。

2 [ネットワーク探索が無効になっています。ネットワークコンピュータとデバイスは表示されません。変更するにはクリックしてください] をクリックし [ネットワーク探索とファイル共有の有効化] を選択します。



[ネットワークの探索とファイル共有] ダイアログボックスが表示されます。

3 [はい、すべてのパブリックネットワークにネットワークの探索とファイル共有を有効にします] をクリックします。

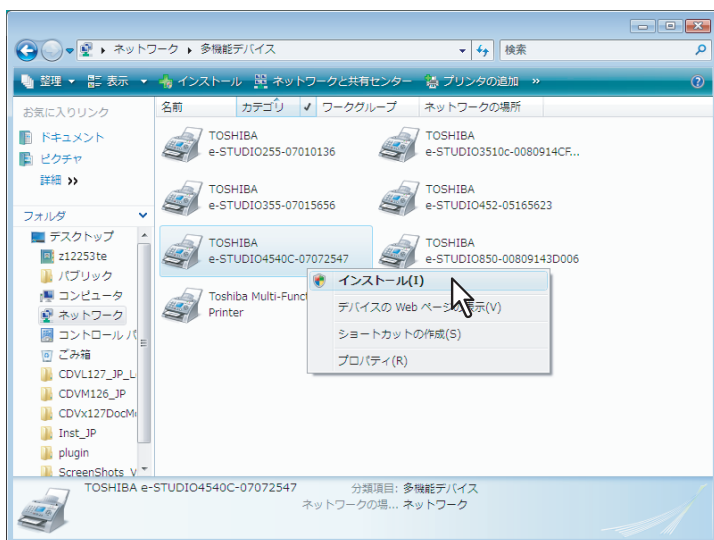


[ネットワーク] 画面に、接続されているコンピュータと多機能デバイスのアイコンが表示されます。

4 本機が多機能デバイスのアイコンを選択し、右クリックメニューより [インストール] をクリックします。

補足

[カテゴリ] リストボックスより [多機能デバイス] をオンにすると、多機能デバイスのみ表示することができます。



タスクバーに [PnP Device Association] が表示されます。

5 [PnP Device Association] をクリックします。

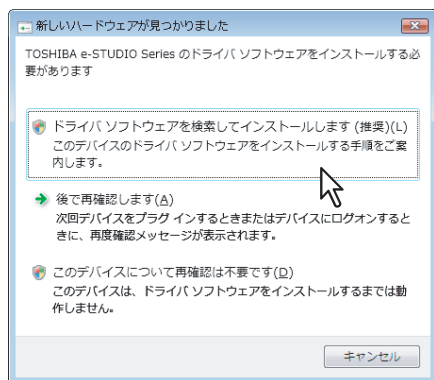


[新しいハードウェアが見つかりました] ダイアログボックスが表示されます。

補足

デスクトップ右下に表示されるバルーンメッセージをクリックすると、現在のインストール状況を確認することができます。

6 [ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。

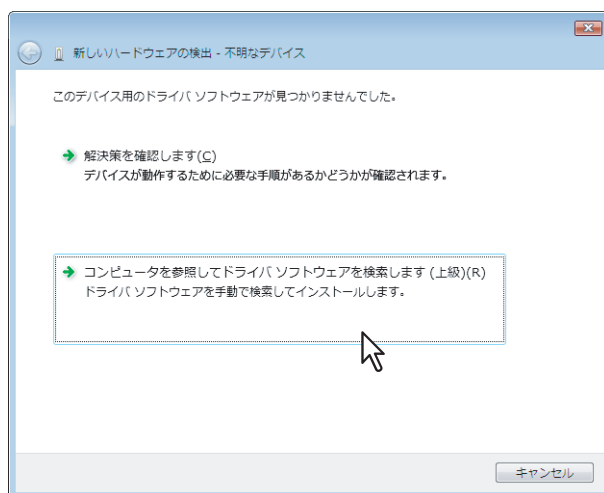


[新しいハードウェアの検出-不明なデバイス] ダイアログボックスが表示されます。

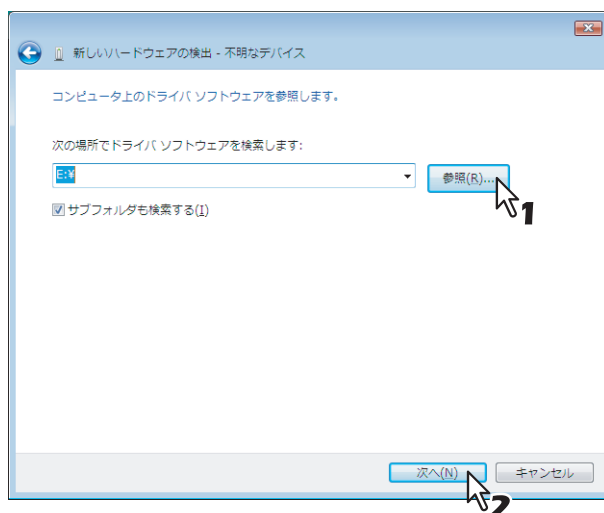
補足

オンライン検索確認のダイアログボックスが表示された場合は、[オンラインで検索しません] をクリックします。

7 [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します (上級)] をクリックします。

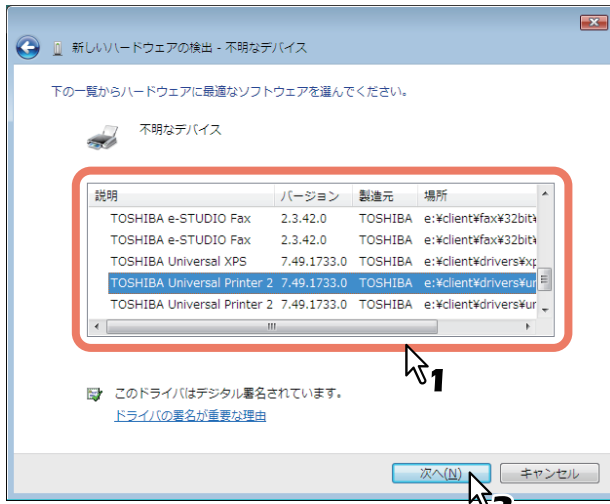


8 インストールディスクをディスクドライブにセットし、[参照] をクリックしてディスクドライブの場所を指定して [次へ] をクリックします。



インストールディスクをディスクドライブにセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

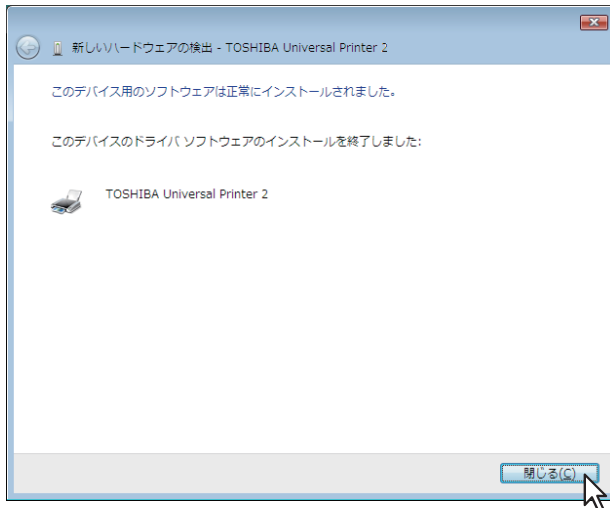
9 インストールするプリンタドライバを選択し、[次へ] をクリックします。



注意

[Windows セキュリティ] ダイアログボックスが表示されましたら [このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてインストールを続けてください。

10 [閉じる] をクリックしてインストールを終了します。



Windows用PPDファイルのコピー

インストールディスクには、印刷時にPPDファイルを必要とするWindowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。自動的にPPDファイルをインストールできないアプリケーションで、プリンタ固有の印刷設定を「印刷」ダイアログボックスや「用紙設定」ダイアログボックスで利用するには、PPDファイルを適切な場所にコピーしてください。

1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

2 Windows用PPDファイルが収録されている以下のフォルダを開きます。

- [インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥WinPPD¥2-sided_default
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
- [インストールディスク]：¥Client¥Drivers¥WinPPD¥normal
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

補 足

カラー MFPの場合は「TSES6D_1.PPD」を、モノクロMFPの場合は「TSES80_1.PPD」をご使用ください。

3 コンピュータの適切な場所にPPDファイル (*.ppd) をコピーします。

補 足

ファイルのコピー先については、アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

プリンタドライバのアンインストール

プリンタドライバをアンインストールする場合は、以下の手順で行います。
アンインストール手順はWindowsのバージョンによって異なります。
📖 P.123 「Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2012」
📖 P.125 「Windows Vista / Windows Server 2008」
📖 P.127 「Windows Server 2003」

■ Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2012

Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2012からプリンタドライバをアンインストールします。

注意

- アンインストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してアンインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行] などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

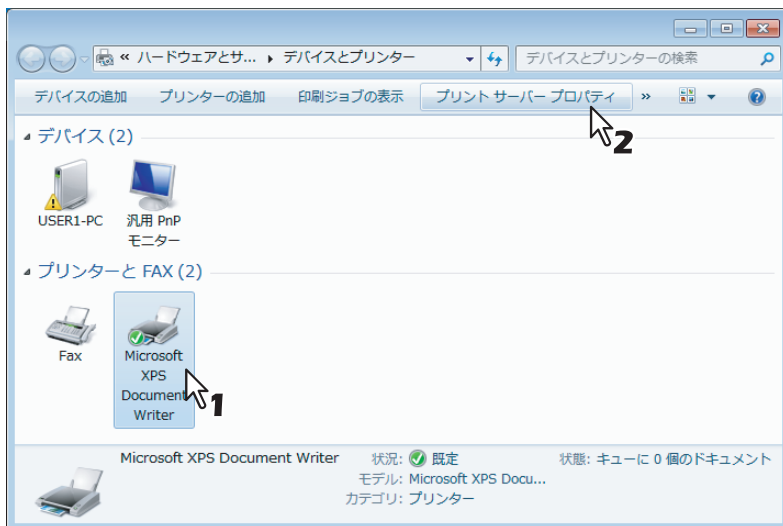
1 [スタート] → [デバイスとプリンター] をクリックして、[デバイスとプリンター] フォルダを開きます。

Windows 8 / Windows Server 2012での操作方法は、以下のセクションを参照してください。
📖 P.52 「Windows 8 / Windows Server 2012でプリンタフォルダを表示する」

2 削除したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [デバイスの削除] を選択します。

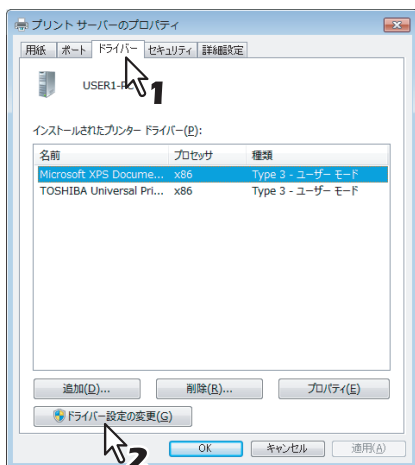
削除確認のダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。

3 [デバイスとプリンター] フォルダに残っているいずれかのプリンタのアイコンを選択し、[プリントサーバープロパティ] をクリックします。

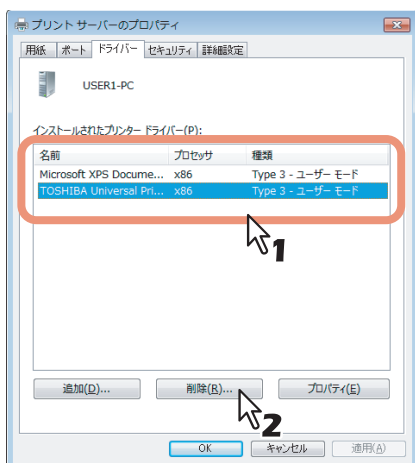


[プリントサーバーのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

4 [ドライバー] タブをクリックし、[ドライバー設定の変更] をクリックします。

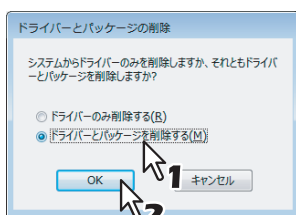


5 削除するプリンタドライバを選択し、[削除] をクリックします。



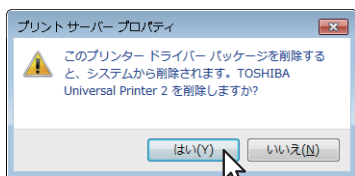
[ドライバーとパッケージの削除] ダイアログボックスが表示されます。

6 [ドライバーとパッケージを削除する] を選択し、[OK] をクリックします。



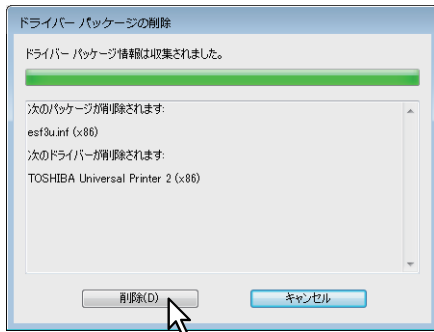
[プリントサーバープロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

7 [はい] をクリックします。



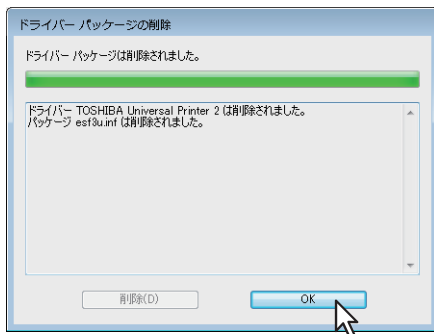
「ドライバーパッケージ情報は収集されました」メッセージが表示されます。

8 [削除] をクリックします。



「ドライバーパッケージは削除されました。」メッセージが表示されます。

9 [OK] をクリックします。



10 [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。

■ Windows Vista / Windows Server 2008

Windows Vista / Windows Server 2008からプリンタドライバをアンインストールします。

注意

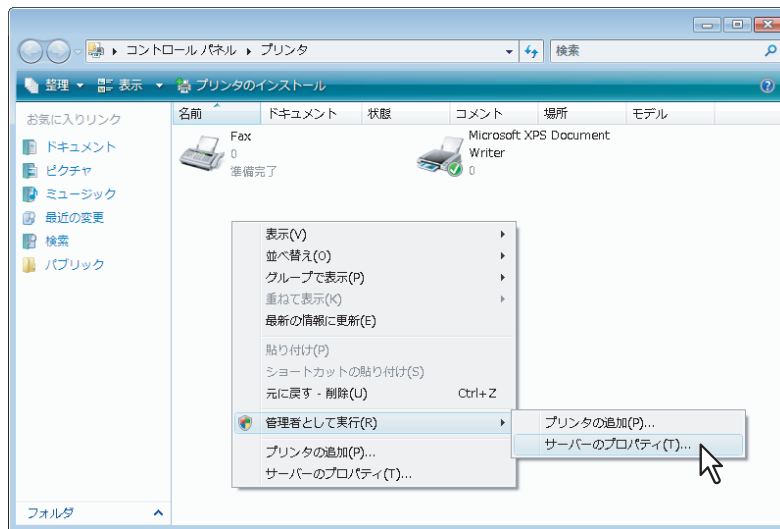
- アンインストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してアンインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行] などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

1 [スタート] → [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] メニューの [プリンタ] の順にクリックして、[プリンタ] フォルダを開きます。

2 削除したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [削除] を選択します。

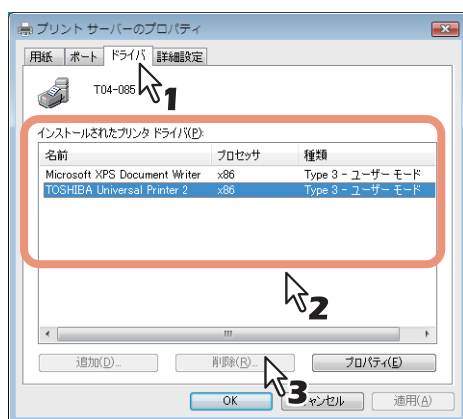
削除確認のダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。

- 3 「プリンタ」フォルダの何もない部分を右クリックし、表示されるメニューから「管理者として実行」→「サーバのプロパティ」の順にクリックします。



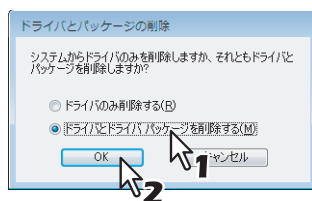
[プリントサーバのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

- 4 [ドライバ] タブをクリックし、削除するプリンタドライバを選択後、[削除] をクリックします。



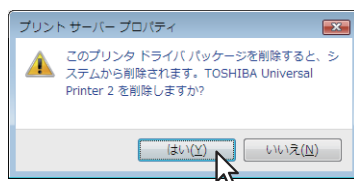
[ドライバとパッケージの削除] ダイアログボックスが表示されます。

- 5 [ドライバとドライバパッケージを削除する] を選択し、[OK] をクリックします。



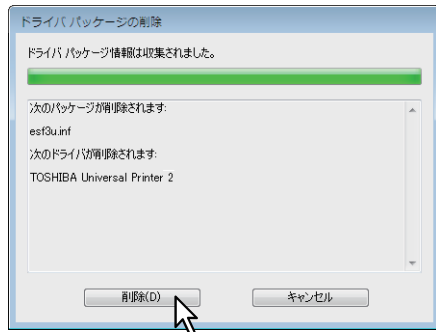
[プリントサーバプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

- 6 [はい] をクリックします。



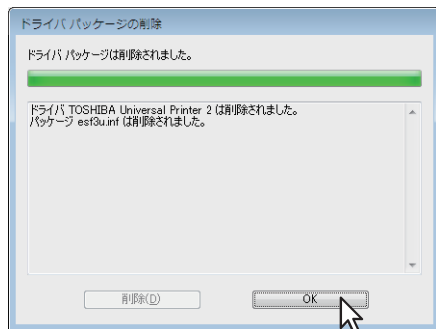
「ドライバパッケージ情報は収集されました」メッセージが表示されます。

7 [削除] をクリックします。



「ドライバパッケージは削除されました」メッセージが表示されます。

8 [OK] をクリックします。



9 [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。

■ Windows Server 2003

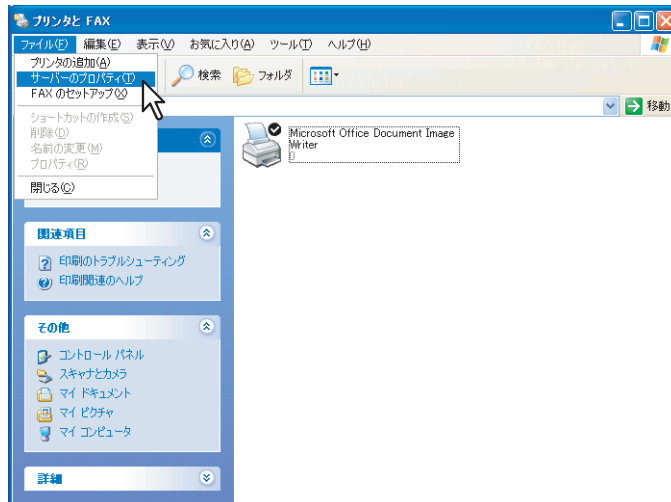
Windows Server 2003からプリンタドライバをアンインストールします。

注意

アンインストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

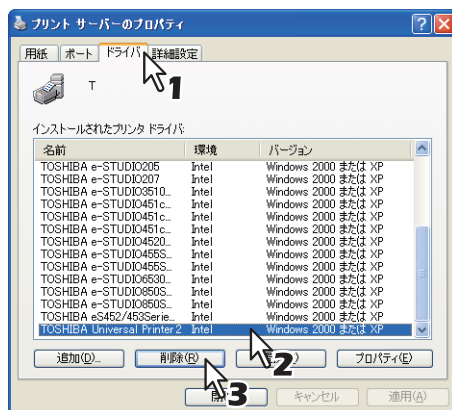
- 1 [スタート] → [プリンタとFAX] をクリックして、[プリンタとFAX] フォルダを開きます。
- 2 削除したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [削除] を選択します。
削除確認のダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。

3 [ファイル] メニューをクリックし、[サーバーのプロパティ] を選択します。



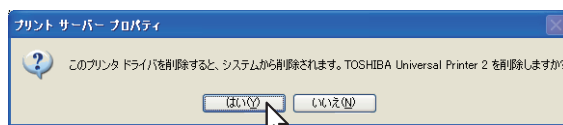
[プリントサーバーのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

4 [ドライバ] タブをクリックし、[インストールされたプリンタドライバ] 一覧からプリンタドライバを選択して、[削除] をクリックします。



[削除の確認] ダイアログボックスが表示されます。

5 [はい] をクリックします。



プリンタドライバが削除されます。

4

プリンタドライバのインストール (Macintosh)

Macintosh環境でのクライアントソフトウェアのインストール方法について説明します。

インストールについて	130
Macintoshのクライアントソフトウェアについて	130
計画と準備	130
プリンタのインストール (Mac OS X 10.4.x~10.10.x)	131
Macintosh PPDファイルのインストール	131
プラグインのインストール (Mac OS X 10.4.x~10.6.x)	135
プリンタの設定 (Mac OS X 10.7.x~10.10.x)	138
プリンタの設定 (Mac OS X 10.5.x~10.6.x)	147
プリンタの設定 (Mac OS X 10.4.x)	156
Macintosh PPDのアンインストール	166

インストールについて

下記セクションを参照し、Macintoshコンピュータに印刷システムをセットアップします。

📖 P.130 「Macintoshのクライアントソフトウェアについて」

📖 P.130 「計画と準備」

📖 P.131 「プリンタのインストール (Mac OS X 10.4.x~10.10.x)」

■ Macintoshのクライアントソフトウェアについて

PostScriptプリンタ記述ファイル (PPD)

東芝Macintosh用PPD (PostScript Printer Description) ファイルには、本機が提供する固有機能の情報が記述されています。本機は以下のPPDファイルとプラグインを提供します。

- Mac OS X 10.4.x~10.6.x用PPDファイルおよびプラグイン
- Mac OS X 10.7以降のバージョンで使用するPPDファイルおよびプラグイン

■ 計画と準備

必要条件

Mac OSコンピュータにプリンタドライバをインストールするには、下記環境が必要です。

ディスプレイ解像度： 1024×768ドット以上

OS： Mac OS X 10.4.x~10.10.x

プロトコル： TCP/IP、AppleTalk (Ethernet)、Bonjour

プリンタのインストール (Mac OS X 10.4.x~10.10.x)

Mac OS X 10.4.x~10.10.xでプリンタをセットアップする場合は、以下の手順で行います。

- 📖 P.131 「Macintosh PPDファイルのインストール」
- 📖 P.135 「プラグインのインストール (Mac OS X 10.4.x~10.6.x)」
- 📖 P.138 「プリンタの設定 (Mac OS X 10.7.x~10.10.x)」
- 📖 P.147 「プリンタの設定 (Mac OS X 10.5.x~10.6.x)」
- 📖 P.156 「プリンタの設定 (Mac OS X 10.4.x)」

■ Macintosh PPDファイルのインストール

本機は、Mac OS X 10.4.x~10.10.xからの印刷をサポートしています。ここでは、Mac OS X 10.6.xの画面を例に説明します。

1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットし、以下のフォルダを開きます。

- Mac OS X 10.4.x~10.6.x: 「MacPPD/OSX10_4-10_6」フォルダ
- Mac OS X 10.7.x以降: 「MacPPD/OSX10_7-」フォルダ

2 「2-sided_default」または「normal」フォルダを開きます。

- * 「2-sided_default」フォルダに収録されているPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
- * 「normal」フォルダに収録されているPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

3 GZIPファイルをデスクトップにコピーします。

ファイル名は以下になります。

- Mac OS X 10.4.x~10.6.x: TOSHIBA_xxxxxMFP_X4.dmg.gz
- Mac OS X 10.7.x以降: TOSHIBA_xxxxxMFP_X7.dmg.gz

- * ファイル名の「xxxxx」部分が、「Color」はカラーMFP用、「Mono」はモノクロMFP用のファイルとなります。お使いになる機種に合わせて選択してください。

4 デスクトップにコピーしたGZIPファイルをダブルクリックします。

ファイル名は以下になります。

- Mac OS X 10.4.x~10.6.x: TOSHIBA_xxxxxMFP_X4.dmg
- Mac OS X 10.7.x以降: TOSHIBA_xxxxxMFP_X7.dmg

ディスクイメージファイルがデスクトップに解凍されます。

5 ディスクイメージファイルをダブルクリックします。

インストーラウィンドウが表示されます。

6 インストーラウィンドウのアイコンをダブルクリックします



注意

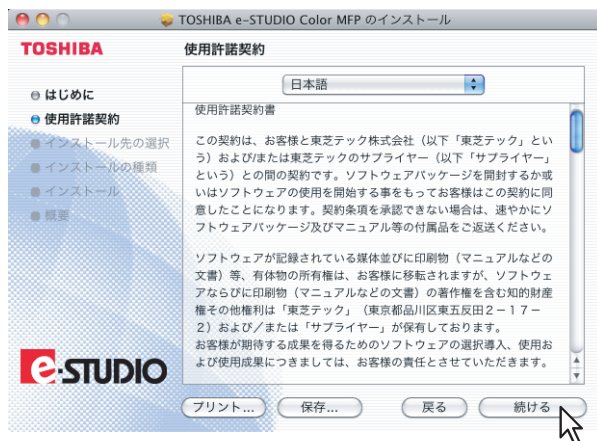
インストーラを起動する際には、Mac OSのプリンタセットアップユーティリティが動作していないことを確認してください。プリンタセットアップユーティリティの動作中にPPDファイルをインストールすると、プリンタが正常に認識されないことがあります。

7 [続ける] をクリックします。

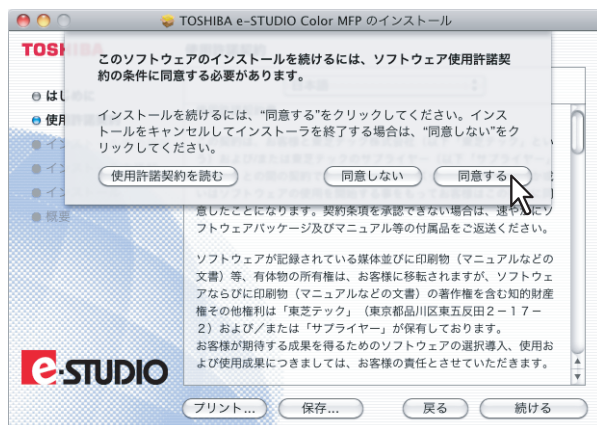


[使用許諾契約] ウィンドウが表示されます。

8 [続ける] をクリックします。



9 [同意する] をクリックします。



[標準インストール] ウィンドウが表示されます。

注意

以降の手順はお使いのMac OS X のバージョンによって異なるため、表示される順番が異なる場合があります。

10 [インストール] (または [アップグレード]) をクリックします。



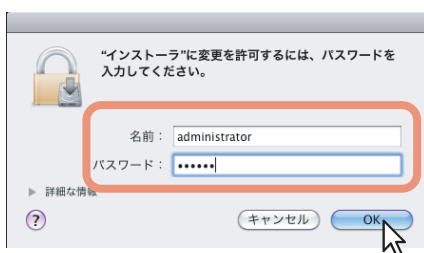
[認証] ダイアログボックスが表示されます。

補足

[インストール先を変更] をクリックすると、[インストール先の選択] ダイアログボックスが表示されますので、Mac OS Xの起動ディスクを選択し、[続ける] をクリックしてください。



11 名前 (管理者名) とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



PPDファイルのコピーを開始します。

12 [閉じる] をクリックします。



13 GZIPファイルや解凍されたインストーラファイルをデスクトップから削除します。

14 引き続きプラグインのインストールやプリンタ設定を行います。

- 📖 P.135 「プラグインのインストール (Mac OS X 10.4.x~10.6.x)」
- 📖 P.138 「プリンタの設定 (Mac OS X 10.7.x~10.10.x)」
- 📖 P.147 「プリンタの設定 (Mac OS X 10.5.x~10.6.x)」
- 📖 P.156 「プリンタの設定 (Mac OS X 10.4.x)」

■ プラグインのインストール (Mac OS X 10.4.x~10.6.x)

お使いのMacintoshにプラグインをインストールします。

プラグインをインストールすると、以下の機能を使用することができます。

- ウォーターマーク
[Confidential]、[Draft]、[Proof]、[Top Secret] などの文字列を印刷する文書に重ねた状態で用紙に印刷する機能です。
- e-Filing
印刷ジョブを本機のボックスに保存する機能です。

補足

ウォーターマークやe-Filingの詳細は、**印刷ガイド**を参照してください。

ここでは、Mac OS X 10.6.xにインストールする例で説明します。別バージョンのMacintoshをお使いの場合も手順は同じです。

- 1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットし、「MacPPD/OSX10_4-10_6」フォルダを開きます。
- 2 GZIPファイル (TOSHIBA_eS-Ex_Features.dmg.gz) をデスクトップにコピーします。
- 3 デスクトップにコピーしたGZIPファイルをダブルクリックします。
 - ディスクイメージファイル (TOSHIBA_eS-Ex_Features.dmg) がデスクトップに解凍されます。
 - インストーラウィンドウが表示された場合は、手順5に進みます。
- 4 ディスクイメージファイル (TOSHIBA_eS-Ex_Features.dmg) をダブルクリックします。
インストーラウィンドウが表示されます。
- 5 インストーラウィンドウのアイコンをダブルクリックします。



インストーラが起動します。

- 6 **【続ける】** をクリックします。

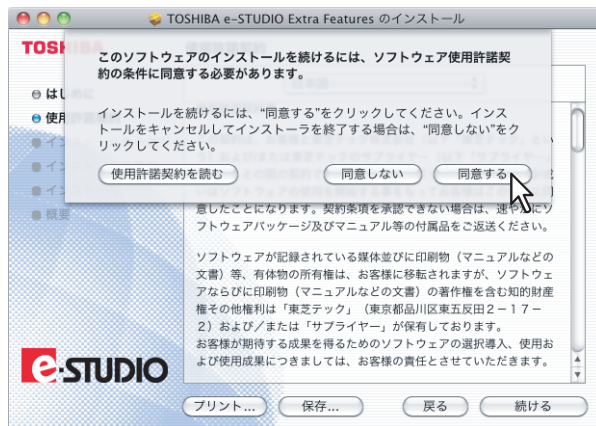


【使用許諾契約】ウィンドウが表示されます。

7 [続ける] をクリックします。

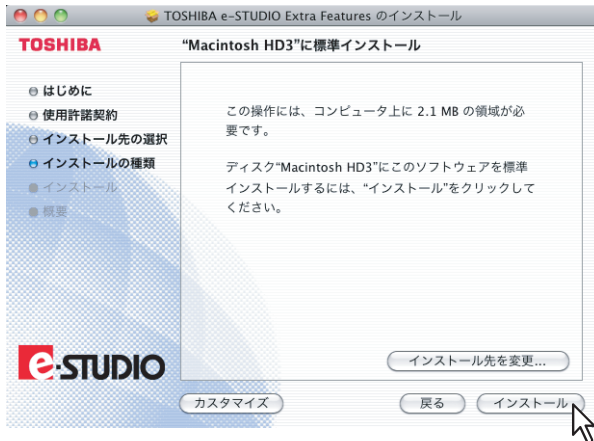


8 [同意する] をクリックします。



[標準インストール] ウィンドウが表示されます。

9 [インストール] をクリックします。



[認証] ダイアログボックスが表示されます。

補足

インストールする機能を選択する場合は、[カスタマイズ] をクリックしてください。[カスタムインストール] ダイアログボックスが表示されますので、不要な機能のチェックボックスをオフにし、[インストール] をクリックします。



10 名前（管理者名）とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



プラグインのインストールを開始します。

11 [閉じる] をクリックします。



12 GZIPファイルや解凍されたインストーラファイルをデスクトップから削除します。

■ プリンタの設定 (Mac OS X 10.7.x~10.10.x)

PPDファイルのインストールを完了したらプリンタを設定します。
以下の印刷方法を利用することができます。

- LPR印刷
P.138 「LPR印刷 (Mac OS X 10.7.x~10.10.x)」
- IPP印刷
P.141 「IPP印刷 (Mac OS X 10.7.x~10.10.x)」
- Bonjour印刷
P.144 「Bonjour印刷 (Mac OS X 10.7.x~10.10.x)」

補足

本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されている場合に有効です。

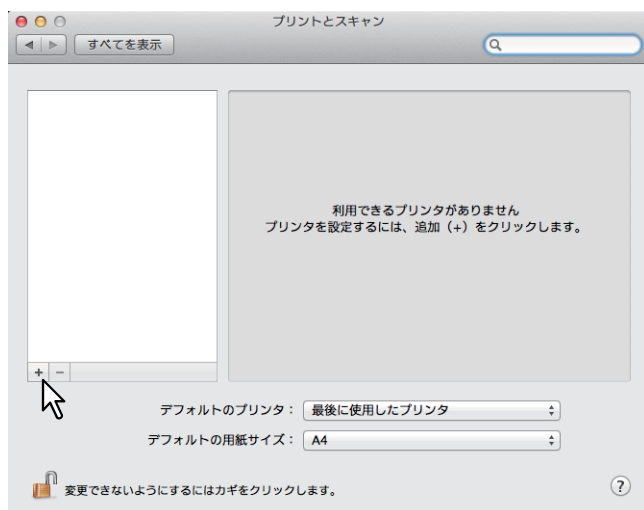
□ LPR印刷 (Mac OS X 10.7.x~10.10.x)

ここでは、Mac OS X 10.8.xの画面を例に説明します。

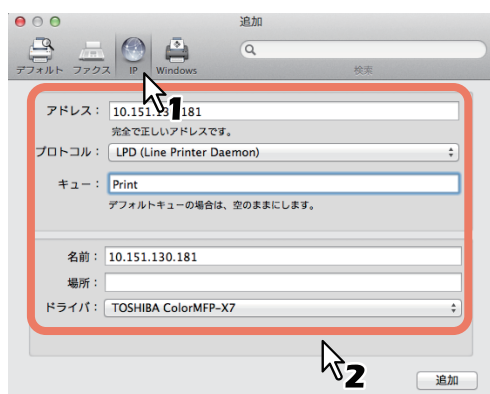
- 1 [システム環境設定] を起動して、[プリントとスキャン] (Mac OS X 10.7.x、10.8.x) または [プリンタとスキャナ] (Mac OS X 10.9.x、10.10.x) をクリックします。



2 [+] をクリックします。



3 [IP] をクリックし、各項目を設定します。



プロトコル： LPD (Line Printer Daemon)

アドレス： <IPアドレスまたはDNS名>

キュー： print

名前： <任意名>

場所： <任意>

ドライバ： TOSHIBA_xxxxxMFP-X7

* 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

補足

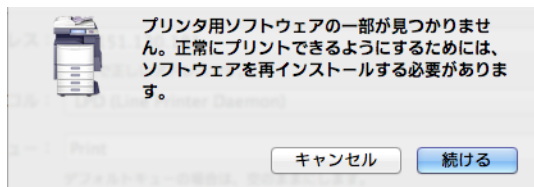
- [名前] ボックスには、[アドレス] ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- [アドレス] ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力しても、[ドライバ] に正しいPPDファイルが選択されません。[ドライバ] で [その他] を選択し、[/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj] フォルダからPPDファイル (TOSHIBA_xxxxxMFP_X7.gz) を選択してください。
- * 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

4 [追加] をクリックします。

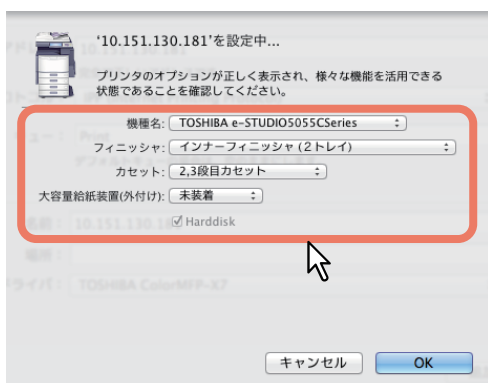
[インストール可能なオプション] 画面が表示されます。

補足

プラグインがインストールされていない場合には、以下の画面が表示されます。[続ける] をクリックしてプリンタの設定を続行してください。



5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。



機種名

- TOSHIBA e-STUDIO6570C Series** : e-STUDIO5560C/6560C/6570Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO6550C Series** : e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO4540C Series** : e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO2550C Series** : e-STUDIO2050Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO5055C Series** : e-STUDIO2555C/3555C/4555C/5055Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO507 Series** : e-STUDIO257/357/457/507を使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO456 Series** : e-STUDIO256/356/456/506を使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO857 Series** : e-STUDIO657/857を使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO856 Series** : e-STUDIO656/856を使用する場合に選択します。
- Loops-LP301_e-STUDIO307LP** : Loops LP301を使用する場合に選択します。
- Loops-LP30_e-STUDIO306LP** : Loops LP30を使用する場合に選択します。

フィニッシャ

- 未装着** : フィニッシャが未装着の場合に選択します。
- ハンギングフィニッシャ** : ハンギングフィニッシャを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO4540C Seriesのみ)
- サドルステッチフィニッシャ** : フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャを装着している場合に選択します。
- サドルステッチフィニッシャ & ホールパンチ** : フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。
- インナートレイ** : インナートレイを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Series、Loops LP301、Loops LP30のみ)
- オフセットインナートレイ** : オフセットインナートレイを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Seriesのみ)
- インナーフィニッシャ (2トレイ)** : インナーフィニッシャを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO2550C Series、e-STUDIO5055C Seriesのみ)

- **カセット**
 - 1段目：1段目カセットを装着している場合に選択します。
 - 1段目 & 大容量給紙装置：1段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。
 - 1段目 & 3段目：1段目カセットおよび 3段目カセットを装着している場合に選択します。
 - 1段目 & 3、4段目：1段目カセットおよび 3、4段目カセットを装着している場合に選択します。
 - 1、2段目：1段目、2段目カセットを装着している場合に選択します。
 - 1、2段目 & 3段目：1、2段目カセットおよび 3段目カセットを装着している場合に選択します。
 - 1、2段目 & 3、4段目：1、2段目カセットおよび 3、4段目カセットを装着している場合に選択します。
 - 1、2段目 & 大容量給紙装置：1、2段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。
- **大容量給紙装置 (外付け) (e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Seriesのみ)**
 - 未装着：大容量給紙装置 (外付け) が未装着の場合に選択します。
 - 装着：大容量給紙装置 (外付け) を装着している場合に選択します。
- **Harddisk (e-STUDIO2550C Seriesのみ)**
 - 装着時にチェックボックスをオンにします。

6 [OK] をクリックします。
本機がプリンタリストに追加されます。

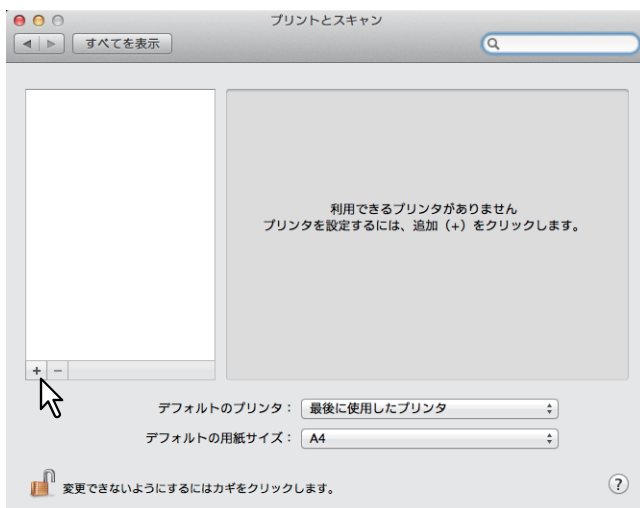
□ IPP印刷 (Mac OS X 10.7.x~10.10.x)

ここでは、Mac OS X 10.8.xの画面を例に説明します。

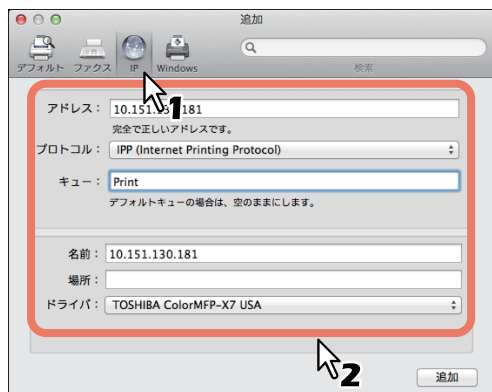
1 [システム環境設定] を起動して、[プリントとスキャン] (Mac OS X 10.7.x、10.8.x) または [プリンタとスキャナ] (Mac OS X 10.9.x、10.10.x) をクリックします。



2 [+] をクリックします。



3 [IP] をクリックし、各項目を設定します。



プロトコル： IPP (Internet Printing Protocol)

アドレス： <IPアドレスまたはDNS名>

キュー： Print

名前： <任意名>

場所： <任意>

ドライバ： TOSHIBA_xxxxxMFP-X7

* 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

補足

- [名前] ボックスには、[アドレス] ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- [アドレス] ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力しても、[ドライバ] に正しいPPDファイルが選択されません。[ドライバ] で [その他] を選択し、[/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj] フォルダからPPDファイル (TOSHIBA_xxxxxMFP_X7.gz) を選択してください。
* 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

4 [追加] をクリックします。

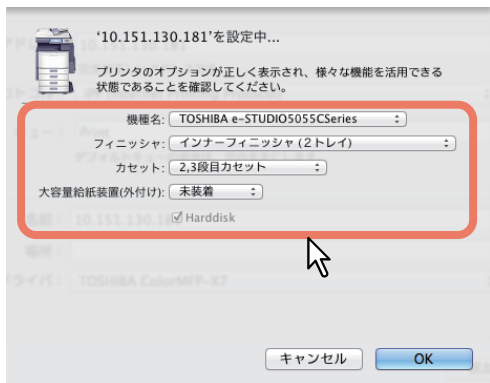
[インストール可能なオプション] 画面が表示されます。

補足

以下の画面が表示された場合は、[続ける] をクリックしてプリンタの設定を続行してください。



5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。



• 機種名

- TOSHIBA e-STUDIO6570C Series** : e-STUDIO5560C/6560C/6570Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO6550C Series** : e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO4540C Series** : e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO2550C Series** : e-STUDIO2050Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO5055C Series** : e-STUDIO2555C/3555C/4555C/5055Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO507 Series** : e-STUDIO257/357/457/507を使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO456 Series** : e-STUDIO256/356/456/506を使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO857 Series** : e-STUDIO657/857を使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO856 Series** : e-STUDIO656/856を使用する場合に選択します。
- Loops-LP301_e-STUDIO307LP** : Loops LP301を使用する場合に選択します。
- Loops-LP30_e-STUDIO306LP** : Loops LP30を使用する場合に選択します。

• フィニッシャ

- 未装着** : フィニッシャが未装着の場合に選択します。
- ハンギングフィニッシャ** : ハンギングフィニッシャを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO4540C Series)
- サドルステッチフィニッシャ** : フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャを装着している場合に選択します。
- サドルステッチフィニッシャ & ホールパンチ** : フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。
- インナートレイ** : インナートレイを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Series、Loops LP301、Loops LP30のみ)
- オフセットインナートレイ** : オフセットインナートレイを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Seriesのみ)
- インナーフィニッシャ (2トレイ)** : インナーフィニッシャを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO2550C Series、e-STUDIO5055C Seriesのみ)

• カセット

- 1段目** : 1段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1段目 & 大容量給紙装置** : 1段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。
- 1段目 & 3段目** : 1段目カセットおよび 3段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1段目 & 3、4段目** : 1段目カセットおよび 3、4段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1、2段目** : 1段目、2段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1、2段目 & 3段目** : 1、2段目カセットおよび 3段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1、2段目 & 3、4段目** : 1、2段目カセットおよび 3、4段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1、2段目 & 大容量給紙装置** : 1、2段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。

• 大容量給紙装置 (外付け) (e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Seriesのみ)

- 未装着** : 大容量給紙装置 (外付け) が未装着の場合に選択します。
- 装着** : 大容量給紙装置 (外付け) を装着している場合に選択します。

- **Harddisk (e-STUDIO2550C Seriesのみ)**
装着時にチェックボックスをオンにします。

6 **[OK]** をクリックします。
本機がプリンタリストに追加されます。

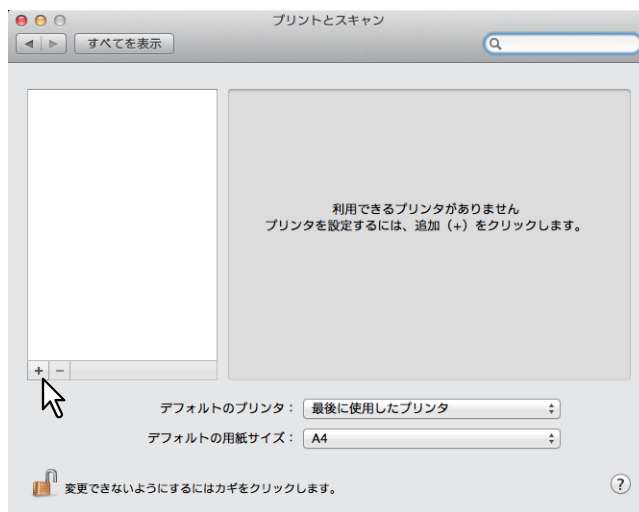
Bonjour印刷 (Mac OS X 10.7.x~10.10.x)

ここでは、Mac OS X 10.8.xの画面を例に説明します。

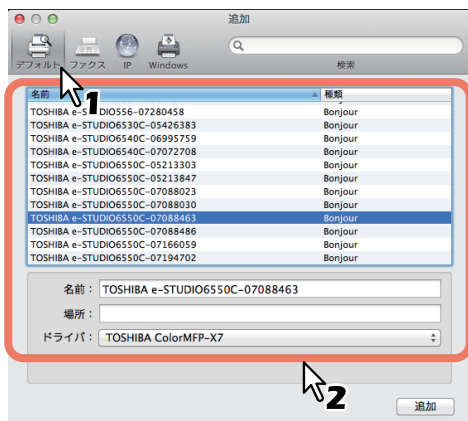
1 **[システム環境設定]** を起動して、**[プリントとスキャン]** (Mac OS X 10.7.x、10.8.x) または **[プリンタとスキャナ]** (Mac OS X 10.9.x、10.10.x) をクリックします。



2 **[+]** をクリックします。



3 [デフォルト] をクリックし、リストに表示されたBonjour接続タイプの本機を選択します。



補足

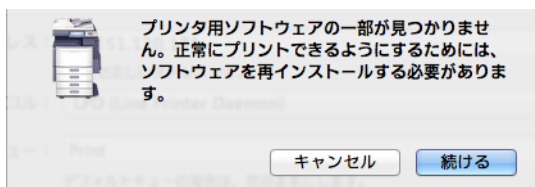
- [名前] ボックスには、リストで選択したデバイス名のBonjourデバイス名が自動的に表示されます。
- リストで本機を選択しても、[ドライバ] に正しいPPDファイルが選択されません。[ドライバ] で [その他] を選択し、[/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj] フォルダからPPDファイル (TOSHIBA_xxxxxMFP_X7.gz) を選択してください。
* [xxxxx] 部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

4 [追加] をクリックします。

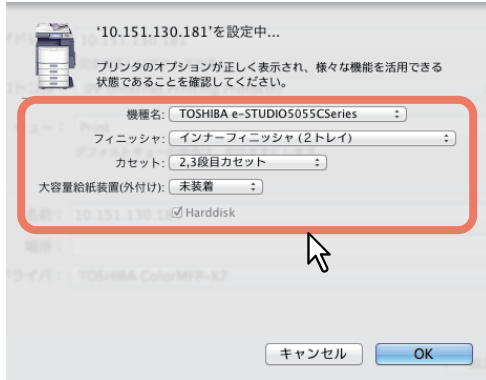
[インストール可能なオプション] 画面が表示されます。

補足

プラグインがインストールされていない場合には、以下の画面が表示されます。[続ける] をクリックしてプリンタの設定を続行してください。



5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。



• 機種名

TOSHIBA e-STUDIO6570C Series : e-STUDIO5560C/6560C/6570Cを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO6550C Series : e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO4540C Series : e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO2550C Series : e-STUDIO2050Cを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO5055C Series : e-STUDIO2555C/3555C/4555C/5055Cを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO507 Series : e-STUDIO257/357/457/507を使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO456 Series : e-STUDIO256/356/456/506を使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO857 Series : e-STUDIO657/857を使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO856 Series : e-STUDIO656/856を使用する場合に選択します。

Loops-LP301_e-STUDIO307LP : Loops LP301を使用する場合に選択します。

Loops-LP30_e-STUDIO306LP : Loops LP30を使用する場合に選択します。

• フィニッシャ

未装着 : フィニッシャが未装着の場合に選択します。

ハンギングフィニッシャ : ハンギングフィニッシャを装着している場合に選択します。

(e-STUDIO4540C Seriesのみ)

サドルステッチフィニッシャ : フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャを装着している場合に選択します。

サドルステッチフィニッシャ & ホールパンチ : フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。

インナートレイ : インナートレイを装着している場合に選択します。

(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Series、Loops LP301、Loops LP30のみ)

オフセットインナートレイ : オフセットインナートレイを装着している場合に選択します。

(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Seriesのみ)

インナーフィニッシャ (2トレイ) : インナーフィニッシャを装着している場合に選択します。

(e-STUDIO2550C Series、e-STUDIO5055C Seriesのみ)

• カセット

1段目 : 1段目カセットを装着している場合に選択します。

1段目 & 大容量給紙装置 : 1段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。

1段目 & 3段目 : 1段目カセットおよび 3段目カセットを装着している場合に選択します。

1段目 & 3、4段目 : 1段目カセットおよび 3、4段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 : 1段目、2段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 & 3段目 : 1、2段目カセットおよび 3段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 & 3、4段目 : 1、2段目カセットおよび 3、4段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 & 大容量給紙装置 : 1、2段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。

• 大容量給紙装置 (外付け) (e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Seriesのみ)

未装着 : 大容量給紙装置 (外付け) が未装着の場合に選択します。

装着 : 大容量給紙装置 (外付け) を装着している場合に選択します。

- **Harddisk (e-STUDIO2550C Seriesのみ)**
装着時にチェックボックスをオンにします。

6 [OK] をクリックします。
本機がプリンタリストに追加されます。

■ プリンタの設定 (Mac OS X 10.5.x~10.6.x)

PPDファイルのインストールを完了したらプリンタを設定します。
以下の印刷方法を利用することができます。

- LPR印刷
P.147 「LPR印刷 (Mac OS X 10.5.x~10.6.x)」
- IPP印刷
P.150 「IPP印刷 (Mac OS X 10.5.x~10.6.x)」
- Bonjour印刷
P.153 「Bonjour印刷 (Mac OS X 10.5.x~10.6.x)」

補足

本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されている場合に有効です。

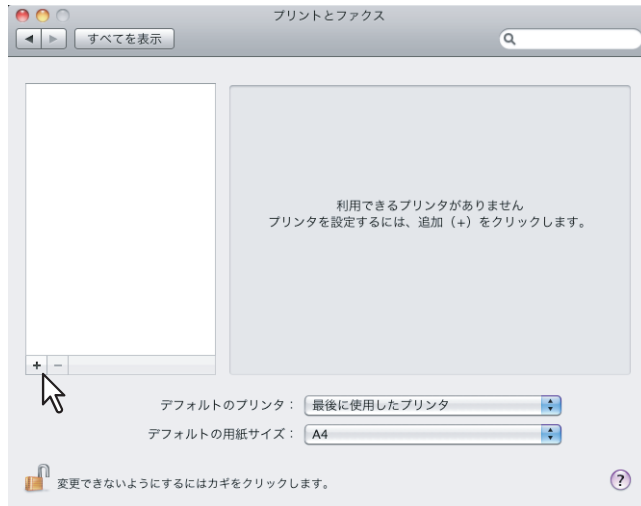
□ LPR印刷 (Mac OS X 10.5.x~10.6.x)

ここでは、Mac OS X 10.6.xにインストールする例で説明します。Mac OS X 10.5.xをお使いの場合も手順は同じです。

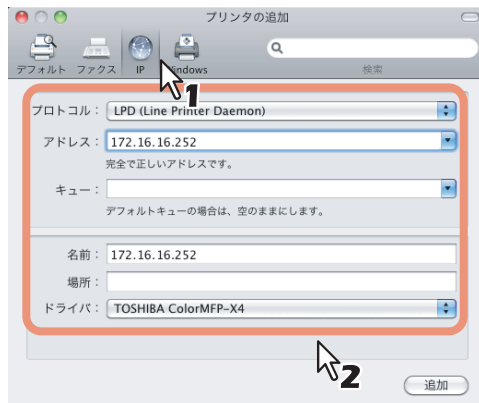
1 [システム環境設定] を起動して、[プリントとファクス] をクリックします。



2 [+] をクリックします。



3 [IP] をクリックし、各項目を設定します。



プロトコル： LPD (Line Printer Daemon)

アドレス： <IPアドレスまたはDNS名>

キュー： print

名前： <任意名>

場所： <任意>

ドライバ： TOSHIBA xxxxxMFP-X4

* 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

補足

- [名前] ボックスには、[アドレス] ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- [アドレス] ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力しても、[ドライバ] に正しいPPDファイルが選択されません。[ドライバ] で [その他] を選択し、[/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj] フォルダからPPDファイル (TOSHIBA_XXXXXMFP_X4.gz) を選択してください。

* 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

4 [追加] をクリックします。

[インストール可能なオプション] 画面が表示されます。

5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。



● 機種名

- TOSHIBA e-STUDIO6570C Series** : e-STUDIO5560C/6560C/6570Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO6550C Series** : e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO4540C Series** : e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO2550C Series** : e-STUDIO2050Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO5055C Series** : e-STUDIO2555C/3555C/4555C/5055Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO507 Series** : e-STUDIO257/357/457/507を使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO456 Series** : e-STUDIO256/356/456/506を使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO857 Series** : e-STUDIO657/857を使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO856 Series** : e-STUDIO656/856を使用する場合に選択します。
- Loops-LP301_e-STUDIO307LP** : Loops LP301を使用する場合に選択します。
- Loops-LP30_e-STUDIO306LP** : Loops LP30を使用する場合に選択します。

● フィニッシャ

- 未装着** : フィニッシャが未装着の場合に選択します。
- ハンギングフィニッシャ** : ハンギングフィニッシャを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO4540C Seriesのみ)
- サドルステッチフィニッシャ** : フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャを装着している場合に選択します。
- サドルステッチフィニッシャ & ホールパンチ** : フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。
- インナートレイ** : インナートレイを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Series、Loops LP301、Loops LP30のみ)
- オフセットインナートレイ** : オフセットインナートレイを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Seriesのみ)
- インナーフィニッシャ (2トレイ)** : インナーフィニッシャを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO2550C Series、e-STUDIO5055C Seriesのみ)

● カセット

- 1段目** : 1段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1段目 & 大容量給紙装置** : 1段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。
- 1段目 & 3段目** : 1段目カセットおよび 3段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1段目 & 3、4段目** : 1段目カセットおよび 3、4段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1、2段目** : 1段目、2段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1、2段目 & 3段目** : 1、2段目カセットおよび 3段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1、2段目 & 3、4段目** : 1、2段目カセットおよび 3、4段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1、2段目 & 大容量給紙装置** : 1、2段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。

- **大容量給紙装置（外付け）（e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Seriesのみ）**

未装着：大容量給紙装置（外付け）が未装着の場合に選択します。

装着：大容量給紙装置（外付け）を装着している場合に選択します。

- **Harddisk（e-STUDIO2550C Seriesのみ）**

装着時にチェックボックスをオンにします。

6 【続ける】をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

□ IPP印刷（Mac OS X 10.5.x～10.6.x）

ここでは、Mac OS X 10.6.xにインストールする例で説明します。Mac OS X 10.5.xをお使いの場合も手順は同じです。

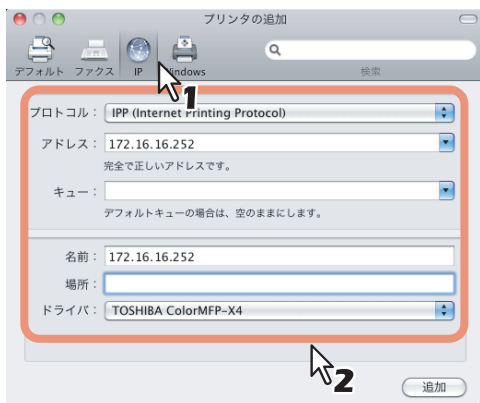
1 【システム環境設定】を起動して、【プリントとファクス】をクリックします。



2 【+】をクリックします。



3 [IP] をクリックし、各項目を設定します。



プロトコル: IPP (Internet Printing Protocol)
アドレス: <IPアドレスまたはDNS名>
キュー: Print
名前: <任意名>
場所: <任意>
ドライバ: TOSHIBA xxxxxMFP-X4

* 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

補足

- [名前] ボックスには、[アドレス] ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- [アドレス] ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力しても、[ドライバ] に正しいPPDファイルが選択されません。[ドライバ] で [その他] を選択し、[/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj] フォルダからPPDファイル (TOSHIBA_XXXXXMFP_X4.gz) を選択してください。
* 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

4 [追加] をクリックします。

[インストール可能なオプション] 画面が表示されます。

5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。



• 機種名

TOSHIBA e-STUDIO6570C Series : e-STUDIO5560C/6560C/6570Cを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO6550C Series : e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO4540C Series : e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO2550C Series : e-STUDIO2050Cを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO5055C Series : e-STUDIO2555C/3555C/4555C/5055Cを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO507 Series : e-STUDIO257/357/457/507を使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO456 Series : e-STUDIO256/356/456/506を使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO857 Series : e-STUDIO657/857を使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO856 Series : e-STUDIO656/856を使用する場合に選択します。

Loops-LP301_e-STUDIO307LP : Loops LP301を使用する場合に選択します。

Loops-LP30_e-STUDIO306LP : Loops LP30を使用する場合に選択します。

• フィニッシャー

未装着 : フィニッシャーが未装着の場合に選択します。

ハンギングフィニッシャー : ハンギングフィニッシャーを装着している場合に選択します。

(e-STUDIO4540C Seriesのみ)

サドルステッチフィニッシャー : フィニッシャーまたはサドルステッチフィニッシャーを装着している場合に選択します。

サドルステッチフィニッシャー & ホールパンチ : フィニッシャーまたはサドルステッチフィニッシャー、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。

インナートレイ : インナートレイを装着している場合に選択します。

(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Series、Loops LP301、Loops LP30のみ)

オフセットインナートレイ : オフセットインナートレイを装着している場合に選択します。

(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Seriesのみ)

インナーフィニッシャー (2トレイ) : インナーフィニッシャーを装着している場合に選択します。

(e-STUDIO2550C Series、e-STUDIO5055C Seriesのみ)

• カセット

1段目 : 1段目カセットを装着している場合に選択します。

1段目 & 大容量給紙装置 : 1段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。

1段目 & 3段目 : 1段目カセットおよび 3段目カセットを装着している場合に選択します。

1段目 & 3、4段目 : 1段目カセットおよび 3、4段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 : 1段目、2段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 & 3段目 : 1、2段目カセットおよび 3段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 & 3、4段目 : 1、2段目カセットおよび 3、4段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 & 大容量給紙装置 : 1、2段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。

• 大容量給紙装置 (外付け) (e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Seriesのみ)

未装着 : 大容量給紙装置 (外付け) が未装着の場合に選択します。

装着 : 大容量給紙装置 (外付け) を装着している場合に選択します。

- **Harddisk (e-STUDIO2550C Seriesのみ)**
装着時にチェックボックスをオンにします。

6 **【続ける】** をクリックします。
本機がプリンタリストに追加されます。

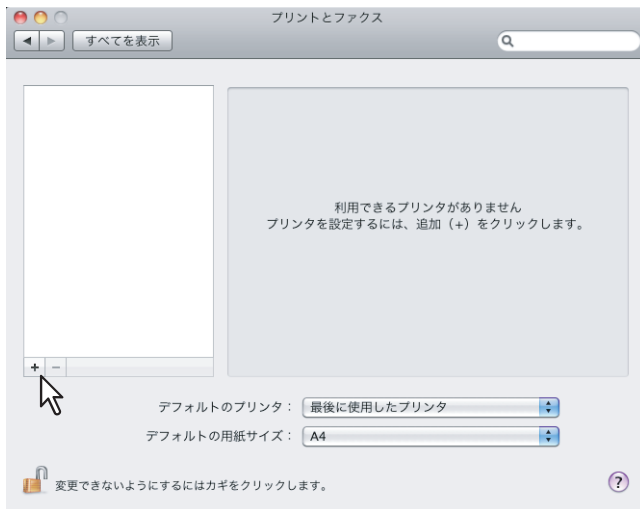
Bonjour印刷 (Mac OS X 10.5.x~10.6.x)

ここでは、Mac OS X 10.6.xにインストールする例で説明します。Mac OS X 10.5.xをお使いの場合も手順は同じです。

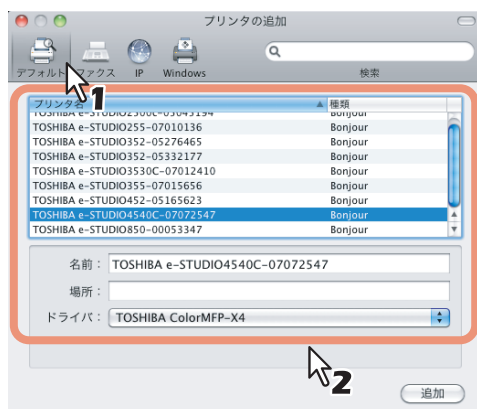
1 **【システム環境設定】** を起動して、**【プリントとファクス】** をクリックします。



2 **【+】** をクリックします。



3 [デフォルト] をクリックし、リストに表示されたBonjour接続タイプの本機を選択します。



補足

- [名前] ボックスには、リストで選択したデバイス名のBonjourデバイス名が自動的に表示されます。
- リストで本機を選択しても、[ドライバ] に正しいPPDファイルが選択されません。[ドライバ] で [その他] を選択し、[/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj] フォルダからPPDファイル (TOSHIBA_xxxxxMFP_X4.gz) を選択してください。
* [xxxxx] 部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

4 [追加] をクリックします。

[インストール可能なオプション] 画面が表示されます。

5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。



機種名

- **TOSHIBA e-STUDIO6570C Series** : e-STUDIO5560C/6560C/6570Cを使用する場合に選択します。
- **TOSHIBA e-STUDIO6550C Series** : e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。
- **TOSHIBA e-STUDIO4540C Series** : e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。
- **TOSHIBA e-STUDIO2550C Series** : e-STUDIO2050Cを使用する場合に選択します。
- **TOSHIBA e-STUDIO5055C Series** : e-STUDIO2555C/3555C/4555C/5055Cを使用する場合に選択します。
- **TOSHIBA e-STUDIO507 Series** : e-STUDIO257/357/457/507を使用する場合に選択します。
- **TOSHIBA e-STUDIO456 Series** : e-STUDIO256/356/456/506を使用する場合に選択します。
- **TOSHIBA e-STUDIO857 Series** : e-STUDIO657/857を使用する場合に選択します。
- **TOSHIBA e-STUDIO856 Series** : e-STUDIO656/856を使用する場合に選択します。
- **Loops-LP301_e-STUDIO307LP** : Loops LP301を使用する場合に選択します。
- **Loops-LP30_e-STUDIO306LP** : Loops LP30を使用する場合に選択します。

- **フィニッシャ**

未装着：フィニッシャが未装着の場合に選択します。

ハンギングフィニッシャ：ハンギングフィニッシャを装着している場合に選択します。

(e-STUDIO4540C Seriesのみ)

サドルステッチフィニッシャ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャを装着している場合に選択します。

サドルステッチフィニッシャ & ホールパンチ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。

インナートレイ：インナートレイを装着している場合に選択します。

(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Series、Loops LP301、Loops LP30のみ)

オフセットインナートレイ：オフセットインナートレイを装着している場合に選択します。

(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Seriesのみ)

インナーフィニッシャ (2トレイ)：インナーフィニッシャを装着している場合に選択します。

- **カセット**

1段目：1段目カセットを装着している場合に選択します。

1段目 & 大容量給紙装置：1段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。

1段目 & 3段目：1段目カセットおよび3段目カセットを装着している場合に選択します。

1段目 & 3、4段目：1段目カセットおよび3、4段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目：1段目、2段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 & 3段目：1、2段目カセットおよび3段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 & 3、4段目：1、2段目カセットおよび3、4段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 & 大容量給紙装置：1、2段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。

- **大容量給紙装置 (外付け) (e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Seriesのみ)**

未装着：大容量給紙装置 (外付け) が未装着の場合に選択します。

装着：大容量給紙装置 (外付け) を装着している場合に選択します。

- **Harddisk (e-STUDIO2550C Seriesのみ)**

装着時にチェックボックスをオンにします。

6 【続ける】 をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

■ プリンタの設定 (Mac OS X 10.4.x)

PPDファイルをインストールしたら、プリンタを設定します。
以下の印刷方法を利用することができます。

- LPR印刷
P.156 「LPR印刷 (Mac OS X 10.4.x)」
- IPP印刷
P.160 「IPP印刷 (Mac OS X 10.4.x)」
- Bonjour印刷
P.163 「Bonjour印刷 (Mac OS X 10.4.x)」

補 足

本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されている場合に有効です。

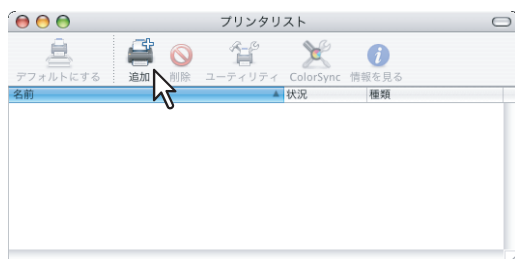
□ LPR印刷 (Mac OS X 10.4.x)

- 1 起動ディスクの「アプリケーション/ユーティリティ」フォルダから「プリンタ設定ユーティリティ」を起動します。

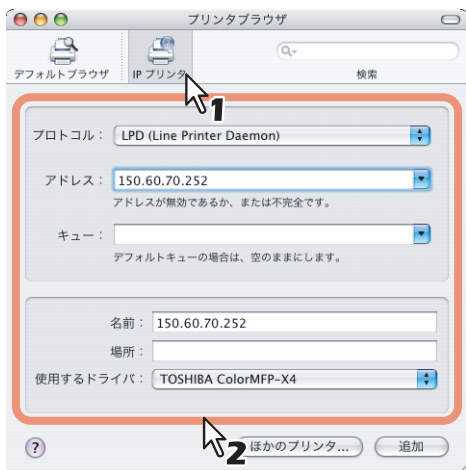


[プリンタリスト] ダイアログボックスが表示されます。

- 2 [追加] をクリックします。



3 [IPプリンタ] をクリックし、各項目を設定します。



プロトコル: LPD (Line Printer Daemon)
アドレス: <IPアドレスまたはDNS名>
キュー: print
名前: <任意名>
場所: <任意>
使用するドライバ: TOSHIBA xxxxxMFP-X4

* 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

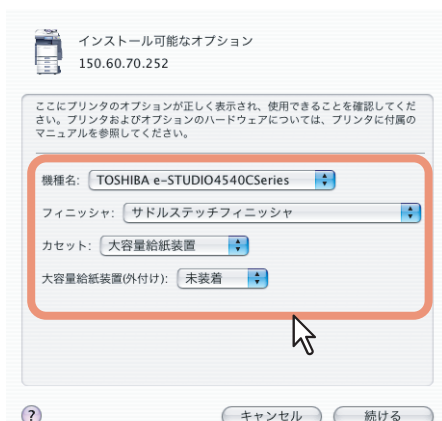
補 足

- [名前] ボックスには、[アドレス] ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- [アドレス] ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力すると、[使用するドライバ] で自動的に適切なPPDファイルが選択されます。PPDファイルを自動的に選択できなかった場合は、[使用するドライバ] で [TOSHIBA] を選択し、[機種名] ボックスでPPDファイル (TOSHIBA xxxxxMFP-X4) を選択してください。
* 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

4 [追加] をクリックします。

[インストール可能なオプション] 画面が表示されます。

5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。



• 機種名

- TOSHIBA e-STUDIO6570C Series** : e-STUDIO5560C/6560C/6570Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO6550C Series** : e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO4540C Series** : e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO2550C Series** : e-STUDIO2050Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO5055C Series** : e-STUDIO2555C/3555C/4555C/5055Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO507 Series** : e-STUDIO257/357/457/507を使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO456 Series** : e-STUDIO256/356/456/506を使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO857 Series** : e-STUDIO657/857を使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO856 Series** : e-STUDIO656/856を使用する場合に選択します。
- Loops-LP301_e-STUDIO307LP** : Loops LP301を使用する場合に選択します。
- Loops-LP30_e-STUDIO306LP** : Loops LP30を使用する場合に選択します。

• フィニッシャー

- 未装着** : フィニッシャーが未装着の場合に選択します。
- ハンギングフィニッシャー** : ハンギングフィニッシャーを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO4540C Seriesのみ)
- サドルステッチフィニッシャー** : フィニッシャーまたはサドルステッチフィニッシャーを装着している場合に選択します。
- サドルステッチフィニッシャー & ホールパンチ** : フィニッシャーまたはサドルステッチフィニッシャー、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。
- インナートレイ** : インナートレイを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Series、Loops LP301、Loops LP30のみ)
- オフセットインナートレイ** : オフセットインナートレイを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Seriesのみ)
- インナーフィニッシャー (2トレイ)** : インナーフィニッシャーを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO2550C Series、e-STUDIO5055C Seriesのみ)

• カセット

- 1段目** : 1段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1段目 & 大容量給紙装置** : 1段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。
- 1段目 & 3段目** : 1段目カセットおよび3段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1段目 & 3、4段目** : 1段目カセットおよび3、4段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1、2段目** : 1段目、2段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1、2段目 & 3段目** : 1、2段目カセットおよび3段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1、2段目 & 3、4段目** : 1、2段目カセットおよび3、4段目カセットを装着している場合に選択します。
- 1、2段目 & 大容量給紙装置** : 1、2段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。

- **大容量給紙装置（外付け）（e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Seriesのみ）**

未装着：大容量給紙装置（外付け）が未装着の場合に選択します。

装着：大容量給紙装置（外付け）を装着している場合に選択します。

- **Harddisk（e-STUDIO2550C Seriesのみ）**

装着時にチェックボックスをオンにします。

6 【続ける】 をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

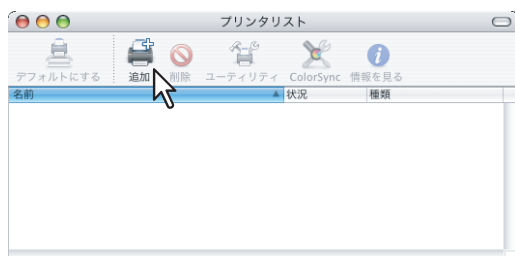
□ IPP印刷 (Mac OS X 10.4.x)

- 1 起動ディスクの「アプリケーション/ユーティリティ」フォルダから「プリンタ設定ユーティリティ」を起動します。

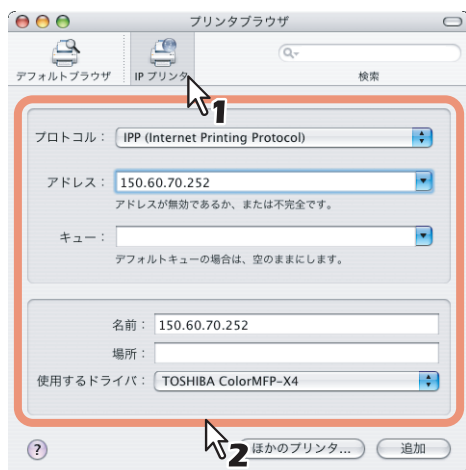


[プリンタリスト] ダイアログボックスが表示されます。

- 2 「追加」 をクリックします。



- 3 「IPプリンタ」 をクリックし、各項目を設定します。



プロトコル： IPP (Internet Printing Protocol)
アドレス： <IPアドレスまたはDNS名>
キュー： Print
名前： <任意名>
場所： <任意>
使用するドライバ： TOSHIBA xxxxxMFP-X4

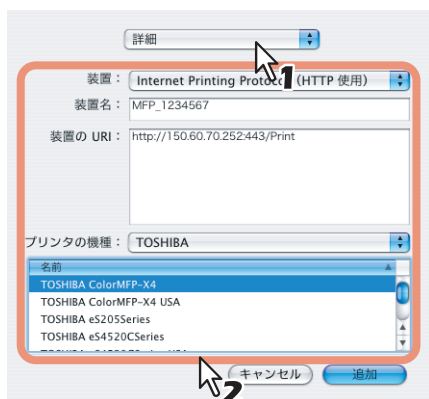
* 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

補足

- [名前] ボックスには、[アドレス] ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- [アドレス] 欄にIPアドレスまたはDNS名を入力すると、[使用するドライバ] で自動的に適切なPPDファイルが選択されます。PPD ファイルを自動的に選択できなかった場合は、[使用するドライバ] で [TOSHIBA] を選択し、[機種名] ボックスでPPDファイル (TOSHIBA xxxxxMFP-X4) を選択してください。
* 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

注意

- HTTPのSSLが有効に設定されている状態のときに、本機に登録された自己証明書を削除してしまうと、TopAccessにアクセスできなくなります。この場合は、一度操作パネルからHTTPのSSLを無効に設定し、その後、TopAccessにアクセスしてHTTPのSSLを有効に再設定してください。
HTTPの設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。また、操作パネルからの設定方法については、**設定管理ガイド**を参照してください。
- IPP SSLが有効の場合は、[option] キーを押しながら [ほかのプリンタ] をクリックします。表示されたダイアログボックスで [詳細] を選択し、他項目を以下のように設定してください。

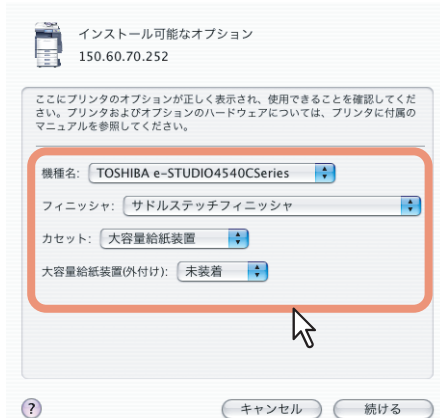


- 装置：Internet Printing Protocol (HTTP使用)
 - 装置名：<任意名>
 - 装置のURI：http://<IPアドレス>:443/Print
 - プリンタの機種：TOSHIBA
 - PPD：TOSHIBA xxxxxMFP-X4
- * 「xxxxx」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

4 [追加] をクリックします。

[インストール可能なオプション] 画面が表示されます。

5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。



• 機種名

TOSHIBA e-STUDIO6570C Series : e-STUDIO5560C/6560C/6570Cを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO6550C Series : e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO4540C Series : e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO2550C Series : e-STUDIO2050Cを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO5055C Series : e-STUDIO2555C/3555C/4555C/5055Cを使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO507 Series : e-STUDIO257/357/457/507を使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO456 Series : e-STUDIO256/356/456/506を使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO857 Series : e-STUDIO657/857を使用する場合に選択します。

TOSHIBA e-STUDIO856 Series : e-STUDIO656/856を使用する場合に選択します。

Loops-LP301_e-STUDIO307LP : Loops LP301を使用する場合に選択します。

Loops-LP30_e-STUDIO306LP : Loops LP30を使用する場合に選択します。

• フィニッシャー

未装着 : フィニッシャーが未装着の場合に選択します。

ハンギングフィニッシャー : ハンギングフィニッシャーを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO4540C Seriesのみ)

サドルステッチフィニッシャー : フィニッシャーまたはサドルステッチフィニッシャーを装着している場合に選択します。

サドルステッチフィニッシャー & ホールパンチ : フィニッシャーまたはサドルステッチフィニッシャー、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。

インナートレイ : インナートレイを装着している場合に選択します。

(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Series、Loops LP301、Loops LP30のみ)
オフセットインナートレイ : オフセットインナートレイを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Seriesのみ)

インナーフィニッシャー (2トレイ) : インナーフィニッシャーを装着している場合に選択します。
(e-STUDIO2550C Series、e-STUDIO5055C Seriesのみ)

• カセット

1段目 : 1段目カセットを装着している場合に選択します。

1段目 & 大容量給紙装置 : 1段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。

1段目 & 3段目 : 1段目カセットおよび 3段目カセットを装着している場合に選択します。

1段目 & 3、4段目 : 1段目カセットおよび 3、4段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 : 1段目、2段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 & 3段目 : 1、2段目カセットおよび 3段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 & 3、4段目 : 1、2段目カセットおよび 3、4段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 & 大容量給紙装置 : 1、2段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。

• 大容量給紙装置 (外付け) (e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Seriesのみ)

未装着 : 大容量給紙装置 (外付け) が未装着の場合に選択します。

装着 : 大容量給紙装置 (外付け) を装着している場合に選択します。

- **Harddisk (e-STUDIO2550C Seriesのみ)**
装着時にチェックボックスをオンにします。

- 6** **【続ける】** をクリックします。
本機がプリンタリストに追加されます。

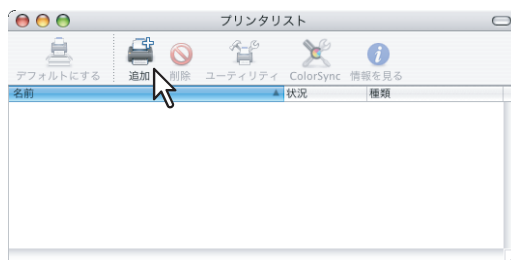
□ Bonjour印刷 (Mac OS X 10.4.x)

- 1** 起動ディスクの「アプリケーション/ユーティリティ」フォルダから**【プリンタ設定ユーティリティ】** を起動します。

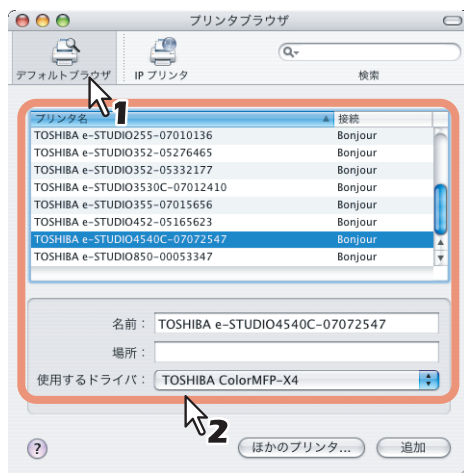


[プリンタリスト] ダイアログボックスが表示されます。

- 2** **【追加】** をクリックします。



3 [デフォルトブラウザ] をクリックし、リストに表示されたBonjour接続タイプの本機を選択します。



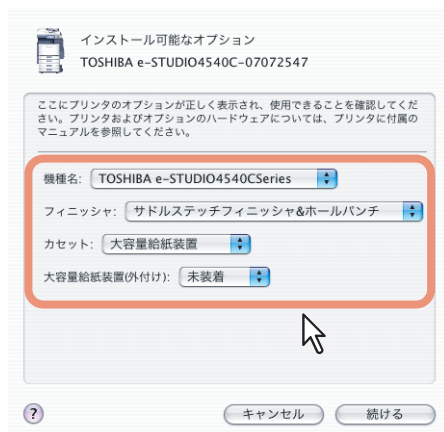
補足

- [名前] ボックスには、リストで選択したデバイス名のBonjourデバイス名が自動的に表示されます。
- リストで本機を選択すると、[使用するドライバ] で自動的に適切な PPD ファイルが選択されます。PPD ファイルを自動的に選択できなかった場合は、[使用するドライバ] で [TOSHIBA] を選択し、[機種名] ボックスで PPD ファイル (TOSHIBA xxxxxMFP-X4) を選択してください。
 - * 「xxxxx」部分は、インストールした PPD ファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

4 [追加] をクリックします。

[インストール可能なオプション] 画面が表示されます。

5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。



機種名

- TOSHIBA e-STUDIO6570C Series** : e-STUDIO5560C/6560C/6570Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO6550C Series** : e-STUDIO5540C/6540C/6550Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO4540C Series** : e-STUDIO2540C/3540C/4540Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO2550C Series** : e-STUDIO2050Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO5055C Series** : e-STUDIO2555C/3555C/4555C/5055Cを使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO507 Series** : e-STUDIO257/357/457/507を使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO456 Series** : e-STUDIO256/356/456/506を使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO857 Series** : e-STUDIO657/857を使用する場合に選択します。
- TOSHIBA e-STUDIO856 Series** : e-STUDIO656/856を使用する場合に選択します。
- Loops-LP301_e-STUDIO307LP** : Loops LP301を使用する場合に選択します。
- Loops-LP30_e-STUDIO306LP** : Loops LP30を使用する場合に選択します。

- **フィニッシャ**

未装着：フィニッシャが未装着の場合に選択します。

ハンギングフィニッシャ：ハンギングフィニッシャを装着している場合に選択します。

(e-STUDIO4540C Seriesのみ)

サドルステッチフィニッシャ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャを装着している場合に選択します。

サドルステッチフィニッシャ & ホールパンチ：フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ、およびホールパンチユニットを装着している場合に選択します。

インナートレイ：インナートレイを装着している場合に選択します。

(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Series、Loops LP301、Loops LP30のみ)

オフセットインナートレイ：オフセットインナートレイを装着している場合に選択します。

(e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Seriesのみ)

インナーフィニッシャ (2トレイ)：インナーフィニッシャを装着している場合に選択します。

- **カセット**

1段目：1段目カセットを装着している場合に選択します。

1段目 & 大容量給紙装置：1段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。

1段目 & 3段目：1段目カセットおよび3段目カセットを装着している場合に選択します。

1段目 & 3、4段目：1段目カセットおよび3、4段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目：1段目、2段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 & 3段目：1、2段目カセットおよび3段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 & 3、4段目：1、2段目カセットおよび3、4段目カセットを装着している場合に選択します。

1、2段目 & 大容量給紙装置：1、2段目カセットおよび大容量給紙装置を装着している場合に選択します。

- **大容量給紙装置 (外付け) (e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Seriesのみ)**

未装着：大容量給紙装置 (外付け) が未装着の場合に選択します。

装着：大容量給紙装置 (外付け) を装着している場合に選択します。

- **Harddisk (e-STUDIO2550C Seriesのみ)**

装着時にチェックボックスをオンにします。

6 【続ける】 をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

Macintosh PPDのアンインストール

Macintosh PPDをアンインストールするには、以下のフォルダにあるPPDファイルを削除してください。

- ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj/TOSHIBA_XXXXXMFP_X4.gz
(Mac OS X 10.4.x~10.6.xをお使いの場合)
- ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj/TOSHIBA_XXXXXMFP_X7.gz
(Mac OS X 10.7.x~10.10.xをお使いの場合)
- ライブラリ/Printers/toshiba/filter
- ライブラリ/Printers/toshiba/Icons
- ライブラリ/Printers/toshiba/PDEs
- ライブラリ/Receipts

* 「XXXX」部分は、インストールしたPPDファイルの種類に合わせて「Color」または「Mono」となります。

5

プリンタドライバのインストール (UNIX/Linux)

UNIX/Linux環境でのクライアントソフトウェアのインストール方法について説明します。

UNIX/Linuxフィルタの設定	168
UNIX/Linuxフィルタについて	168
必要条件	169
ユーザ認証機能使用時の注意事項	169
UNIX/Linuxフィルタによるプリンタの設定	169
CUPSの設定	179
CUPSについて	179
CUPSによるプリンタの設定	180

■ UNIX/Linuxフィルタについて

インストールディスクには、UNIX/Linuxワークステーションにインストールする下記フィルタが収められています。

net_estcolor (カラー MFP用)

net_estbw (モノクロMFP用)

このファイルは「/usr/lib/lp/model」にインストールされるShellスクリプトです。このファイルを使って本機特有のコマンドを含む出力コードを生成します。カスタムオプションを利用したい場合やデフォルト以外の場所にファイルをインストールした場合は、このShellスクリプトを必要に応じて変更することができます。

lpdsend

このファイルはnet_estcolor/net_estbwによって呼び出される実行プログラムです。この実行プログラムは、LPDプロトコルを使って印刷ファイルを本機へ送信するときに使用します。このプログラムは、「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされます。

lpLinux.sh (Linuxフィルタのみ)

このファイルは、lpコマンドと同様の機能を持つShellスクリプトです。このコマンドラインオプションを実行すると、System V Printフィルタと同じように機能します。このファイルは、「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされ、シンボリックリンクが「/usr/local/bin」にlptapとしてインストールされます。

estcolorBackend (カラー MFP用、AIXフィルタのみ)

estbwBackend (モノクロMFP用、AIXフィルタのみ)

このファイルは、AIX qdaemonによって呼び出される実行ファイルです。このファイルでは、qdaemonから情報を取得し、その情報を処理してnet_estcolor/net_estbwのキューのコピーを呼び出して印刷を実行します。このプログラムは、「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされます。

estcoloradd (カラー MFP用)

estbwadd (モノクロMFP用)

このファイルは、プリンタ記述を追加するためのShellスクリプトです。「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされ、シンボリックリンクが「/bin」にインストールされます。

estcolorrm (カラー MFP用)

estbwrm (モノクロMFP用)

このファイルは、プリンタ記述を削除するためのShellスクリプトです。「/opt/toshiba/tap/bin」にインストールされ、シンボリックリンクが「/bin」にインストールされます。

net_estcolor.1 (カラー MFP用)

net_estbw.1 (モノクロMFP用)

本機の特長機能を説明したオンラインドキュメントを呼び出すための入力ファイルです。オンラインドキュメントはmanコマンドで呼び出すことができます。このファイルは、「/opt/toshiba/tap/man/man1」にインストールされ、シンボリックリンクが「/usr/man/man1」にインストールされます。

■ 必要条件

UNIX/Linuxワークステーションにフィルタをインストールするには、下記環境が必要です。

OS :	Sun Solaris 2.6/2.7/7.8/8/9/10 HP-UX Version 10.20/11.x IBM AIX 4.3.3 SCO UnixWare 7 SCO Open UNIX 8 Red Hat Linux 7.x/8.x/9.x Red Hat Enterprise WS2 SuSE Linux ver 7.x/8.x/9.x Mandrake Linux ver 7.x/8.x/9.x Turbolinux 8/10
プロトコル :	TCP/IP
モジュール :	Pythonがインストールされていること

注意

- Linuxではlpdサービスが動作していること。
- UNIX/Linuxフィルタを使用して印刷するには、「Python」モジュールがお使いのUNIX/Linuxワークステーションにインストールされている必要があります。「Python」モジュールは通常「/user/bin」にインストールされています。「Python」モジュールがインストールされているかどうか「/user/bin」を確認してください。

■ ユーザ認証機能使用時の注意事項

UNIX/Linux システムではログイン名の太文字/小文字を区別しますが、本機は区別しません。したがって、UNIX/Linux システム上では異なるログイン名として扱われる ABC, Abc, abc 等は、本機ではすべて同一ログイン名として扱われません。

■ UNIX/Linuxフィルタによるプリンタの設定

UNIX/Linux フィルタを使用してUNIX/Linuxワークステーションに印刷システムをセットアップする場合は、UNIX/Linuxフィルタをインストールし、LPRプリントキューを作成します。

□ UNIX/Linuxフィルタのインストール

UNIX/Linuxフィルタは、OS別にtarファイルがそれぞれ用意されています。TAR ファイルをルートフォルダにコピーし解凍すると、フィルタがインストールされます。

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 インストールディスクをディスクドライブに挿入します。
- 3 以下のコマンドを入力し結果を確認します：

uname

各OSにより、以下の文字が表示されたことを確認します。

- Solaris : 「SunOS」、HP-UX : 「HP-UX」、IBM AIX : 「AIX」、Linux : 「Linux」、Open UNIX : 「OpenUNIX」

注意

結果が上記と異なる場合は、管理者にお問い合わせください。

4 tarファイルをルートフォルダにコピーします。

各OSのtarファイルは、下記フォルダに収められています。

- カラー MFP
 - Solaris : [インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/SolarisFilter/Usa/
 - HP-UX : [インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/HP-UXFilter/Usa/
 - AIX : [インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/AIXFilter/Usa/
 - Linux : [インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/LinuxFilter/Usa/
 - Open UNIX: [インストールディスク] /Admin/Color_Unix_Linux/OpenUnixFilter/Usa/
- モノクロMFP
 - Solaris : [インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/SolarisFilter/Usa/
 - HP-UX : [インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/HP-UXFilter/Usa/
 - AIX : [インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/AIXFilter/Usa/
 - Linux : [インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/LinuxFilter/Usa/
 - Open UNIX: [インストールディスク] /Admin/BW_Unix_Linux/OpenUnixFilter/Usa/

5 ルートディレクトリに移動します。

6 下記コマンドを入力します。

- Solaris :

```
tar xvf solaris.tar
```
- HP-UX :

```
tar xvf hpux.tar
tar xvf hpux64.tar (64ビット版用)
```
- IBM AIX :

```
tar xvf aix.tar
```
- Linux :

```
tar xvf linux.tar
```
- Open UNIX :

```
tar xvf openunix.tar
```

7 コマンドを実行すると、必要なファイルを解凍し自動的に正しい場所へインストールします。引き続き、プリントキューの設定を行います。

📖 P.171 「プリントキューの作成」

□ プリントキューの作成

UNIX/Linuxフィルタをコピーしたら、プリントキューを作成することができます。

プリントキューの作成はestcoloradd/estbwaddファイルを使って作成するか、手動で作成するかの2通りの方法があります。

📖 P.171 「estcoloradd/estbwaddを使ってプリントキューを作成する」

📖 P.171 「手動でプリントキューを作成する」

estcoloradd/estbwaddを使ってプリントキューを作成する

1 ルートアカウントにログインします。

2 下記コマンドを入力します：

カラー MFP：

```
estcoloradd <キュー名> <ホスト名またはIPアドレス>
```

モノクロMFP：

```
estbwadd <キュー名> <ホスト名またはIPアドレス>
```

補 足

- このコマンドでは、システムのlpadminコマンドを使ってプリントキューを作成します。また、指定したIPアドレスまたはホスト名の構成ファイルを作成します。この構成ファイルは、プリントキューの詳細を設定するのに使用します。
- lpadminコマンドでは、プリンタインターフェイスファイルをプリントキューと同名のファイルとして保存します。構成ファイルは「<キュー名>.conf」ファイルとして保存されます。それぞれのファイルの保存先はプラットフォームごとに異なります。
 - Solaris：「/etc/lp/interfaces」
 - HP-UX：「/etc/lp/interface」
 - IBM AIX：「/opt/toshiba/tap/filter」
 - Linux：「/opt/toshiba/tap/interfaces」
 - Open UNIX：「/usr/spool/lp/admins/lp/interfaces」
- Linuxでは、estcoloradd/estbwaddコマンドを実行後、printtoolユーティリティを使ってlp印刷システムにプリンタを追加します。printtoolユーティリティの使用方法についてはご使用のOSの取扱説明書を参照してください。

手動でプリントキューを作成する

手動でリモートプリンタを追加し、プリントキューを作成することもできます。

手動によるプリントキューの作成手順はOSによって異なります。

📖 P.172 「手動でプリントキューを作成する (Solaris)」

📖 P.172 「手動でプリントキューを作成する (HP-UX)」

📖 P.173 「手動でプリントキューを作成する (IBM AIX)」

📖 P.174 「手動でプリントキューを作成する (Linux)」

📖 P.175 「手動でプリントキューを作成する (Open UNIX)」

注 意

手動によりプリントキューを作成する場合、シェルはBourne Shell(sh)を使用してください。

手動でプリントキューを作成する (Solaris)

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 UNIX/Linuxエディタを起動します。
- 3 以下のファイルを作成します。
`/etc/lp/interfaces/<キュー名>.conf`
- 4 <キュー名>.confファイルに、以下の行を追加します。
`dest=<IPアドレス>`
- 5 ファイルを保存します。
- 6 以下のコマンドを入力し、ワーキングディレクトリを変更します。
`cd /etc/lp/interfaces/`
- 7 下記コマンドを入力します。
`chmod +x <キュー名>.conf`
- 8 下記コマンドを入力します。
`chown lp:lp <キュー名>.conf`
- 9 下記コマンドを入力します。
カラー MFP :
`lpadmin -p <キュー名> -v /dev/null -I any ¥
-i /usr/lib/lp/model/net_estcolor`
モノクロMFP :
`lpadmin -p <キュー名> -v /dev/null -I any ¥
-i /usr/lib/lp/model/net_estbw`
- 10 下記コマンドを入力します。
`accept <キュー名>`
- 11 下記コマンドを入力します。
`enable <キュー名>`

手動でプリントキューを作成する (HP-UX)

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 UNIX/Linuxエディタを起動します。
- 3 以下のファイルを作成します。
`/etc/lp/interface/<キュー名>.conf`
- 4 <キュー名>.confファイルに以下の行を追加します。
`dest=<IPアドレス>`
- 5 ファイルを保存します。
- 6 以下のコマンドを入力し、ワーキングディレクトリを変更します。
`cd /etc/lp/interfaces/`
- 7 下記コマンドを入力します。
`chmod +x <キュー名>.conf`

- 8 下記コマンドを入力します。
`chown lp:lp <キュー名>.conf`
- 9 下記コマンドを入力します。
`ps -ef | grep lpsched | grep -iv grep > /dev/null 2>&1`
- 10 下記コマンドを入力します。
`echo $?`
- 11 「0」が画面に表示された場合は、スケジューラをいったん終了します。下記コマンドを入力します。
`/usr/sbin/lpshut > /dev/null 2>&1`
- 12 下記コマンドを入力します。
カラー MFP :
`/usr/sbin/lpadmin -p <キュー名> -v/dev/null ¥
-mnet_estcolor -orm <キュー名> -orpprint -ob3`
モノクロMFP :
`/usr/sbin/lpadmin -p <キュー名> -v/dev/null ¥
-mnet_estbw -orm <キュー名> -orpprint -ob3`
- 13 下記コマンドを入力します。
`/usr/sbin/accept <キュー名>`
- 14 下記コマンドを入力します。
`enable <キュー名>`
- 15 手順10でスケジューラを終了した場合は、スケジューラを起動します。下記コマンドを入力します。
`/usr/sbin/lpsched > /dev/null 2>&1`

手動でプリントキューを作成する (IBM AIX)

- 1 下記コマンドを入力します。
`ls /opt/toshiba/tap/filter`
- 2 上記ディレクトリが存在しない場合は、下記コマンドを入力します。
`mkdir /opt/toshiba/tap/filter`
- 3 ルートアカウントにログインします。
- 4 UNIX/Linuxエディタを起動します。
- 5 以下のファイルを作成します。
`/opt/toshiba/tap/filter/interfaces/<キュー名>.conf`
- 6 <キュー名>.confファイルに以下の行を追加します。
`dest=<IPアドレス>`
- 7 ファイルを保存します。
- 8 下記コマンドを入力します。
`mkque -q<キュー名> ¥
-a 's_statfilter = /usr/lib/lpd/bsdshort' ¥
-a 'up = TRUE' -a 'host = <IPアドレス>' -a 'rq = print'`

9 下記コマンドを入力します。

カラー MFP :

```
mkqudev -q <キュー名> -ddev_<キュー名> ¥  
-a 'backend = /opt/toshiba/tap/bin/estcolorBackend''
```

モノクロMFP :

```
mkqudev -q <キュー名> -ddev_<キュー名> ¥  
-a 'backend = /opt/toshiba/tap/bin/estbwBackend''
```

10 下記コマンドを入力します。

カラー MFP :

```
cp /usr/lib/lpd/pio/predef/net_estcolor ¥  
/opt/Toshiba/tap/filter/<キュー名>
```

モノクロMFP :

```
cp /usr/lib/lpd/pio/predef/net_estbw ¥  
/opt/Toshiba/tap/filter/<キュー名>
```

手動でプリントキューを作成する (Linux)

1 下記コマンドを入力します。

```
ls /opt/toshiba/tap/interface
```

2 上記ディレクトリが存在しない場合は、下記コマンドを入力します。

```
mkdir /opt/toshiba/tap/interface
```

3 ルートアカウントにログインします。

4 UNIX/Linuxエディタを起動します。

5 以下のファイルを作成します。

```
/opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>.conf
```

6 <キュー名>.confファイルに以下の行を追加します。

```
dest=<IPアドレス>
```

7 ファイルを保存します。

8 下記コマンドを入力します。

カラー MFP :

```
cp /opt/toshiba/tap/model/net_estcolor ¥  
/opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>
```

モノクロMFP :

```
cp /opt/toshiba/tap/model/net_estbw ¥  
/opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>
```

9 下記コマンドを入力します。

```
/opt/toshiba/tap/bin/modPrintcap ¥
```

```
-a <キュー名> <IPアドレス>
```

10 下記コマンドを入力します。

```
ls /opt/toshiba/tap/bin/flag_<キュー名>
```

補足

手順10のファイルが存在しない場合は、手順1~9が正しく行われていますので手順11を行う必要はありません。そのまま手順12へ進んでください。

11 上記ファイルが存在する場合は、下記コマンドを入力します。

```
/opt/toshiba/tap/bin/printconf_import ¥  
-a <キュー名> <IPアドレス> ¥  
rm /opt/toshiba/tap/bin/flag_<キュー名>
```

12 lpdを再起動します。

手動でプリントキューを作成する (Open UNIX)

1 ルートアカウントにログインします。**2** UNIX/Linuxエディタを起動します。**3** 以下のファイルを作成します。

```
/usr/spool/lp/admins/lp/interfaces/<キュー名>.conf
```

4 <キュー名>.confファイルに以下の行を追加します。

```
dest=<IPアドレス>
```

5 ファイルを保存します。**6** 下記コマンドを入力します。

```
chmod +x <キュー名>.conf
```

7 下記コマンドを入力します。

```
chown lp:lp <キュー名>.conf
```

8 下記コマンドを入力します。

カラー MFP :

```
lpadmin -p <キュー名> -v /dev/null -I any ¥  
-i /usr/lib/lp/model/net_estcolor
```

モノクロMFP :

```
lpadmin -p <キュー名> -v /dev/null -I any ¥  
-i /usr/lib/lp/model/net_estbw
```

9 下記コマンドを入力します。

```
accept <キュー名>
```

10 下記コマンドを入力します。

```
enable <キュー名>
```

□ デフォルト設定の変更

以下の手順でプリントキューのデフォルト設定を変更することができます。

1 保存されているキュー名と同名のインターフェイスファイルの内容を確認します。

- インターフェイスファイルはそれぞれ以下のディレクトリに保存されています。
 - Solaris : 「/etc/lp/interfaces」
 - HP-UX : 「/etc/lp/interface」
 - IBM AIX : 「/opt/toshiba/tap/filter」
 - Linux : 「/opt/toshiba/tap/interface」
 - Open UNIX: 「/usr/spool/lp/admins/lp/interfaces」
- すべてのデフォルト設定の値は、このファイルに記述されています。このファイルでは大文字・小文字を区別して入力する必要があります。
また、/bin/sh変数フォーマットに準じて記述する必要があります。

2 構成ファイルを手動で変更するには、パラメータと値を記述した行を追加します。

- 構成ファイルはそれぞれ以下のディレクトリに保存されています。
 - Solaris : 「/etc/lp/interfaces」
 - HP-UX : 「/etc/lp/interface」
 - IBM AIX : 「/opt/toshiba/tap/filter」
 - Linux : 「/opt/toshiba/tap/interface」
 - Open UNIX: 「/usr/spool/lp/admins/lp/interfaces」

たとえば、デフォルトの用紙向きを変更する場合は、以下の行を追加します。

```
orient= "LANDSCAPE"
```

□ プリントキューの削除

プリントキューの削除はestcolorm/estbwrnファイルを使って削除するか、手動で削除するかの2通りの方法があります。

📖 P.176 「estcolorm/estbwrnを使ってプリントキューを削除する」

📖 P.177 「手動でプリントキューを削除する」

estcolorm/estbwrnを使ってプリントキューを削除する

estcolorm/estbwrnを使って作成したキューを削除したい場合は、以下の手順に従ってキューを削除できます。

1 ルートアカウントにログインします。

2 下記コマンドを入力します。

カラー MFP :

```
estcolorm <キュー名>
```

モノクロMFP :

```
estbwrn <キュー名>
```

補足

- このコマンドでは、システムのlpadminコマンドを使ってプリントキューと構成ファイルを削除します。
- Linuxでは、削除後lpdを再起動する必要があります。

手動でプリントキューを削除する

手動でプリントキューを削除することもできます。
手動によるプリントキューの削除手順はOSによって異なります。

- 📖 P.177 「プリントキューを削除する (Solaris)」
- 📖 P.177 「プリントキューを削除する (HP-UX)」
- 📖 P.178 「プリントキューを削除する (IBM AIX)」
- 📖 P.178 「プリントキューを削除する (Linux)」
- 📖 P.178 「プリントキューを削除する (Open UNIX)」

注意

手動によりプリントキューを削除する場合、シェルはBourne Shell (sh) を使用してください。

プリントキューを削除する (Solaris)

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 下記コマンドを入力します。
`lpadmin -x <キュー名>`
- 3 下記コマンドを入力します。
`rm /etc/lp/interfaces/<キュー名>.conf`

プリントキューを削除する (HP-UX)

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 下記コマンドを入力します。
`ps -ef | grep lpsched | grep -iv grep > /dev/null 2>&1`
- 3 下記コマンドを入力します。
`echo $?`
- 4 「0」が画面に表示された場合は、スケジューラをいったん終了します。下記コマンドを入力します。
`/usr/sbin/lpshut > /dev/null 2>&1`
- 5 下記コマンドを入力します。
`/usr/sbin/lpadmin -x<キュー名>`
- 6 下記コマンドを入力します。
`rm /etc/lp/interface/<キュー名>.conf`
- 7 手順4でスケジューラを終了した場合は、スケジューラを起動します。下記コマンドを入力します。
`/usr/sbin/lpsched > /dev/null 2>&1`

プリントキューを削除する (IBM AIX)

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 下記コマンドを入力します。
`rm /opt/toshiba/tap/filter/<キュー名>`
- 3 下記コマンドを入力します。
`rm /opt/toshiba/tap/filter/<キュー名>.conf`
- 4 下記コマンドを入力します。
`rmqueuedev -q<キュー名> -ddev_<キュー名>`
- 5 下記コマンドを入力します。
`rmque -q<キュー名>`

プリントキューを削除する (Linux)

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 下記コマンドを入力します。
`rm /opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>`
- 3 下記コマンドを入力します。
`rm /opt/toshiba/tap/interface/<キュー名>.conf`
- 4 下記コマンドを入力します。
`/opt/toshiba/tap/bin/modPrintcap -d <キュー名>`
- 5 下記コマンドを入力します。
`ls /opt/toshiba/tap/bin/flag_<キュー名>`
- 6 上記ファイルが存在している場合は、下記コマンドを入力します。
`/opt/toshiba/tap/bin/printconf_import -d <キュー名> ¥`
`rm /opt/toshiba/tap/bin/flag_<キュー名>`
- 7 lpdを再起動します。

プリントキューを削除する (Open UNIX)

- 1 ルートアカウントにログインします。
- 2 下記コマンドを入力します。
`lpadmin -x <キュー名>`
- 3 下記コマンドを入力します。
`rm /usr/spool/lp/admins/lp/interfaces/<キュー名>.conf`

CUPSの設定

CUPSを使用してUNIX/Linuxワークステーションに印刷システムをセットアップする場合は、LPR印刷またはIPP印刷を設定することができます。

注意

CUPSを使用して印刷する場合は、印刷する用紙サイズを選択することができません。その場合はフィルタを使って印刷してください。

■ CUPSについて

本機のCUPSプリンタドライバのインストール方法について説明します。ここでは、CUPS v1.1.15の環境の場合を例に説明しています。異なるバージョンをお使いの場合は、説明と画面が異なる場合があります。

CUPS環境では、実際にはプリンタドライバではなくPPDファイルを使用して印刷をセットアップします。

動作環境

CUPSプリンタドライバは以下のUNIX/Linuxワークステーションをサポートしています。

- Red Hat 8.0 CUPS 1.1.18

導入方法

このドライバは、XPPやKPrinterなどのインターフェイスで使用するよう設計されています。このドライバを、Linux環境と同じようにOS X環境で使用することもできますが、OS X環境での使用は推奨していません。

■ CUPSによるプリンタの設定

LPR印刷またはIPP印刷をCUPSに設定することができます。

□ CUPSのインストール (LPR印刷)

CUPSを設定するには、PPDファイルをお使いのUNIX/Linuxワークステーションにコピーして、プリンタをインストールし、PPDの設定を行います。プリンタのインストールおよびPPDの設定は、ブラウザを使って操作します。

PPDファイルはルートディレクトリにコピーして展開します。PPDファイルの展開後にCUPS daemonをリスタートします。

- 1 インストールディスクをディスクドライブに挿入します。
- 2 ルートアカウントにログインします。
- 3 コマンドラインからインストールディスクのドライブに移動して、以下のコマンドを入力し、ルートディレクトリにtarファイルをコピーします。

カラー MFP :

```
cp TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.tar /
```

モノクロMFP :

```
cp TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.tar /
```

tarファイルは、インストールディスクの以下のフォルダに収録されています。

- カラー MFP
 - 「Admin/Color_Unix_Linux/CUPS/Usa/2-sided_default」フォルダ
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
 - 「Admin/Color_Unix_Linux/CUPS/Usa/normal」フォルダ
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。
- モノクロMFP
 - 「Admin/BW_Unix_Linux/CUPS/Usa/2-sided_default」フォルダ
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
 - 「Admin/BW_Unix_Linux/CUPS/Usa/normal」フォルダ
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

- 4 以下のコマンドを入力し、ルートディレクトリに移動します。

```
cd /
```

- 5 以下のコマンドを入力し、tarファイルを展開します。

カラー MFP :

```
tar xvf TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.tar
```

モノクロMFP :

```
tar xvf TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.tar
```

コマンドを実行すると、PPDファイルとFilterファイルが自動的に正しい場所にインストールされます。

- Linux環境以外をお使いの場合、またはCUPSシステムを標準インストールして使用していない場合は、PPDファイルとFilterファイルを正しい場所に移動し、PPDファイルを編集する必要がありますので、次の手順に進みます。
- Linux環境をお使いの場合で、CUPSシステムを標準インストールして使用している場合は手順11に進みます。

6 以下のコマンドを入力し、PPDファイルとFilterファイルを正しい場所に移動します。

カラー MFP :

```
cd /usr/share/cups/model/Toshiba
mv TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.gz PPDファイルの移動先ディレクトリ
cd /usr/lib/cups/filter/Toshiba
mv estXXXX_Authentication Filterファイルの移動先ディレクトリ
```

モノクロMFP :

```
cd /usr/share/cups/model/Toshiba
mv TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.gz PPDファイルの移動先ディレクトリ
cd /usr/lib/cups/filter/Toshiba
mv estXXXX_Authentication Filterファイルの移動先ディレクトリ
```

* 「XXXX」は機種名になります。

補足

PPDファイルとFilterファイルの正しい場所についてはシステム管理者に問い合わせてください。

7 以下のコマンドを入力し、PPDファイルの移動先ディレクトリに移動します。

```
cd PPDファイルの移動先ディレクトリ
```

8 以下のコマンドを入力し、PPDファイルを解凍します。

カラー MFP :

```
gunzip TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.gz
```

モノクロMFP :

```
gunzip TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.gz
```

9 エディタなどを使って、TOSHIBA_ColorMFP_CUPS / TOSHIBA_MonoMFP_CUPSファイルの以下の記述 (60行目) の下線部分を正しいFilterファイルの格納先ディレクトリに修正します。

```
*cupsFilter: "application/vnd.cups-postscript 0 /usr/lib/cups/filter/Toshiba/estXXXX_Authentication"
```

* 「XXXX」は機種名になります。

10 以下のコマンドを入力し、PPDファイルを圧縮します。

カラー MFP :

```
gzip TOSHIBA_ColorMFP_CUPS
```

モノクロMFP :

```
gzip TOSHIBA_MonoMFP_CUPS
```

11 以下のコマンドを入力します

```
service lpd stop
```

Red Hat Linuxをお使いの場合は、次の手順に進みます。Red Hat Linux以外をお使いの場合は、手順17に進みます。

12 Red Hat Linuxをお使いの場合は、以下のコマンドを入力します。

```
/usr/bin/redhat-switch-printer
```

[redhat-switch-printer] ダイアログボックスが表示されます。

13 [CUPS] を選択し、[OK] をクリックします。

[情報] ダイアログボックスが表示されます。

14 [OK] をクリックします。

15 以下のコマンドを入力します。

```
service cups start
```

注意

すでにCUPSサービスが起動している場合は、「service cups stop」コマンドを入力してCUPSサービスを停止してから、上記コマンドを入力してCUPSサービスの起動を行ってください。

16 以下のコマンドを入力します。

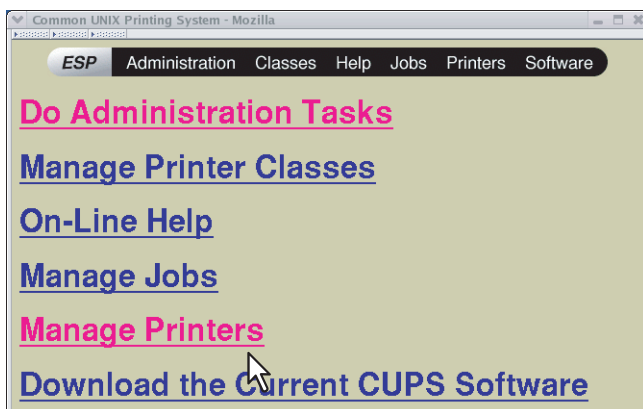
```
/usr/bin/cupsconfig
```

[Common UNIX Printing System] ページが表示されます。手順18に進みます。

17 ブラウザを起動し、「http://localhost:631/」をアドレス欄に入力してCUPSにアクセスします。

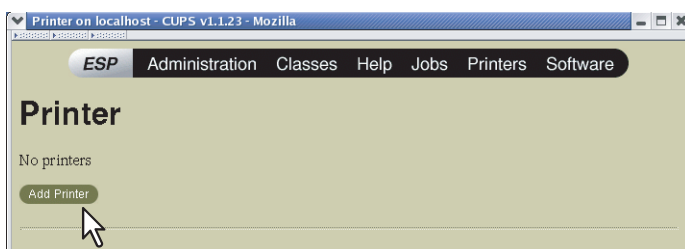
[Common UNIX Printing System] ページが表示されます。

18 [Manage Printers] リンクをクリックします。



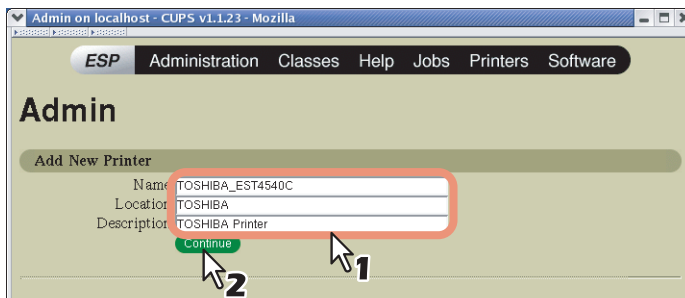
[Printer] ページが表示されます。

19 [Add Printer] をクリックします。



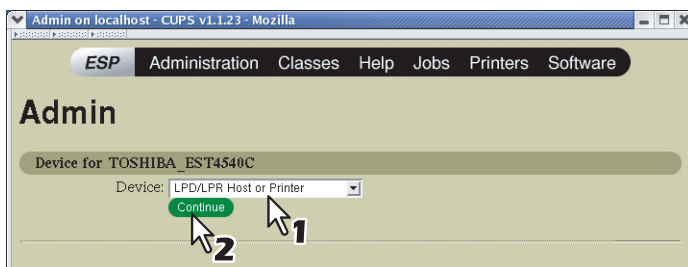
[Admin] ページが表示されます。

20 プリンタ名、設置場所、詳細説明を入力し、[Continue] をクリックします。

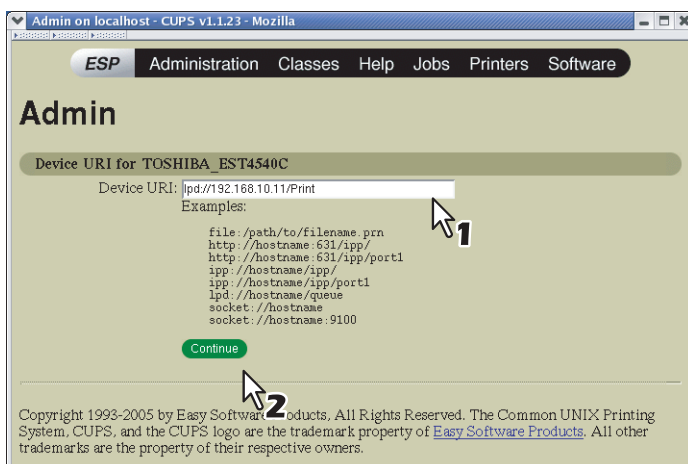


すでに追加されているプリンタと同名のプリンタ名を入力した場合は、既存のプリンタ設定を上書きします。

- 21 「Device」 ドロップダウンメニューで「LPD/LPR Host or Printer」を選択し、[Continue] をクリックします。



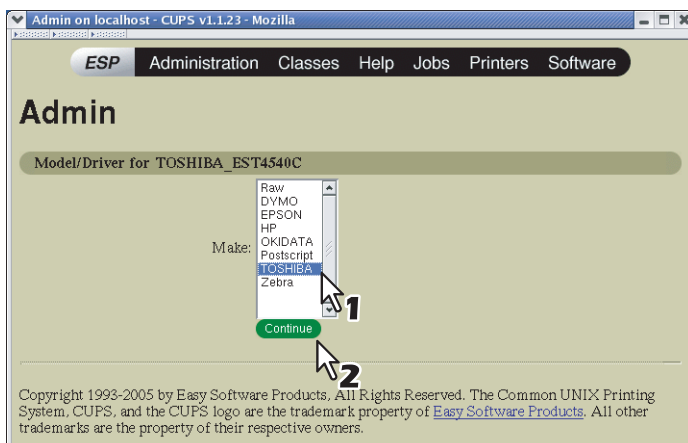
- 22 [Device URI] ボックスに「lpd://<IP address>/Print」と入力し、[Continue] をクリックします。



注意

デバイスURIに指定するアドレスの「Print」の「P」は、必ず大文字で入力してください。

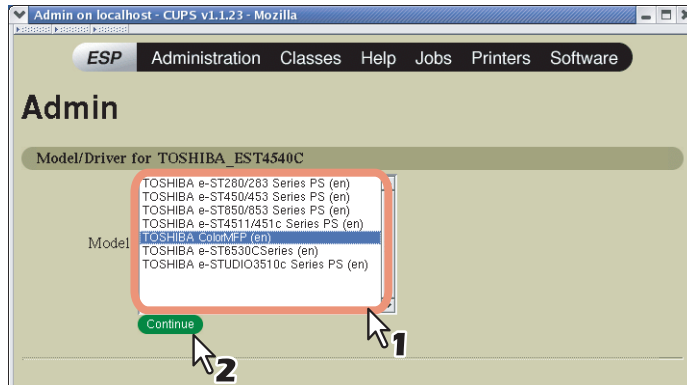
- 23 [Make] ボックスで [TOSHIBA] を選択し、[Continue] をクリックします。



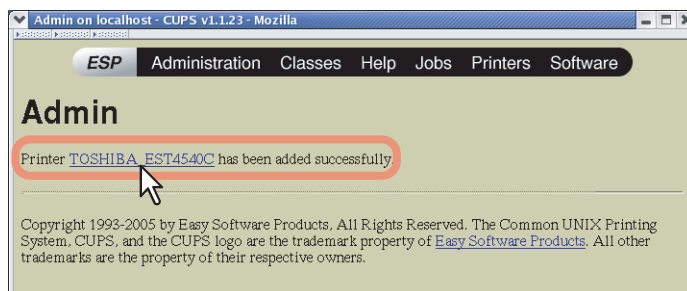
注意

[Make] ボックスに [TOSHIBA] が表示されていない場合は、CUPSを再起動してください。

24 [Model] ボックスでPPDを選択し、[Continue] をクリックします。



25 プリンタの追加が正常に完了したメッセージが表示されたら、プリンタ名リンクをクリックします。



26 以下の手順へ進んで、印刷オプションの設定を行ってください。

📖 P.189 「印刷オプションの設定」

□ CUPSのインストール (IPP印刷)

Linux OSにIPP印刷を設定する場合は、以下の手順で行います。

本機でIPP SSLが有効になっている場合

本機でIPP SSLが有効になっている場合は、Linux OSで以下の設定を行ってください。

- OpenSSLをインストールする
- CUPSを「--enable-ssl」オプションで設定する
- HTTPSシンボリックを「/usr/lib/cups/backend」ディレクトリに作成する
 1. 「アプリケーション：ユーティリティ」フォルダにある「ターミナル」を起動し、ルート権限でログインします。
 - ルート権限でログインするには「su」または「sudo -s」でログインします。
 2. 以下のコマンドを入力します。

```
cd /usr/lib/cups/backend
```
 3. 以下のコメントを入力します。

```
ln -s ipp https
```
 4. CUPSを再起動します。
- IPP SSL証明書を「/etc/cups」ディレクトリに作成する
 1. 以下のコマンドを入力します。

```
cd /etc/cups  
mkdir ssl
```
 2. 以下のコマンドを入力します。

```
openssl req -new -x509  
-keyout /etc/cups/ssl/server.key  
-out /etc/cups/ssl/server.crt -days 365 -nodes
```

注意

- 上記コマンドは1行のコマンドとして改行を含めずに入力する必要があります。
 - 以下の項目を入力するように要求されます。
country/state/province/locality/organization/organizational unit/common nameおよびe-mail address
3. 以下のコマンドを入力します。

```
chmod 600 /etc/cups/ssl/server.*
```
 4. 「/etc/cups」ディレクトリにある「cupsd.conf」ファイルに以下の行を追加します。

```
SSLPort 443  
ServerCertificate /etc/cups/ssl/server.crt  
ServerKey /etc/cups/ssl/server.key
```
 5. 以下のコマンドを入力し、CUPSを再起動します。

```
Service cups restart
```

- 1** インストールディスクをディスクドライブに挿入します。
- 2** ルートアカウントにログインします。

3 コマンドラインからインストールディスクのドライブに移動して、以下のコマンドを入力し、ルートディレクトリにtarファイルをコピーします。

カラー MFP :

```
cp TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.tar /
```

モノクロMFP :

```
cp TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.tar /
```

tarファイルは、インストールディスクの以下のフォルダに収録されています。

- カラー MFP
 - 「Admin/Color_Unix_Linux/CUPS/Usa/2-sided_default」フォルダ
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
 - 「Admin/Color_Unix_Linux/CUPS/Usa/normal」フォルダ
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。
- モノクロMFP
 - 「Admin/BW_Unix_Linux/CUPS/Usa/2-sided_default」フォルダ
このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
 - 「Admin/BW_Unix_Linux/CUPS/Usa/normal」フォルダ
このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

4 以下のコマンドを入力し、ルートディレクトリに移動します。

```
cd /
```

5 以下のコマンドを入力し、tarファイルを展開します。

カラー MFP :

```
tar xvf TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.tar
```

モノクロMFP :

```
tar xvf TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.tar
```

コマンドを実行すると、PPDファイルとFilterファイルが自動的に正しい場所にインストールされます。

- Linux環境以外をお使いの場合、またはCUPSシステムを標準インストールして使用していない場合は、PPDファイルとFilterファイルを正しい場所に移動し、PPDファイルを編集する必要がありますので、次の手順に進みます。
- Linux環境をお使いの場合で、CUPSシステムを標準インストールして使用している場合は手順 11 に進みます。

6 以下のコマンドを入力し、PPDファイルとFilterファイルを正しい場所に移動します。

カラー MFP :

```
cd /usr/share/cups/model/Toshiba
```

```
mv TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.gz PPDファイルの移動先ディレクトリ
```

```
cd /usr/lib/cups/filter/
```

```
mv estXXXX_Authentication Filterファイルの移動先ディレクトリ
```

モノクロMFP :

```
cd /usr/share/cups/model/Toshiba
```

```
mv TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.gz PPDファイルの移動先ディレクトリ
```

```
cd /usr/lib/cups/filter/
```

```
mv estXXXX_Authentication Filterファイルの移動先ディレクトリ
```

* 「XXXX」は機種名になります。

補 足

PPDファイルとFilterファイルの正しい場所についてはシステム管理者に問い合わせてください。

7 以下のコマンドを入力し、PPDファイルの移動先ディレクトリに移動します。

```
cd PPDファイルの移動先ディレクトリ
```

8 以下のコマンドを入力し、PPDファイルを解凍します。

カラー MFP :

```
gunzip TOSHIBA_ColorMFP_CUPS.gz
```

モノクロMFP :

```
gunzip TOSHIBA_MonoMFP_CUPS.gz
```

9 エディタなどを使って、TOSHIBA_ColorMFP_CUPS / TOSHIBA_MonoMFP_CUPSファイルの以下の記述 (60行目) の下線部分を正しいFilterファイルの格納先ディレクトリに修正します。

```
*cupsFilter: "application/vnd.cups-postscript 0 /usr/lib/cups/filter/Toshiba/estXXXX_Authentication"
```

* 「XXXX」は機種名になります。

10 以下のコマンドを入力し、PPDファイルを圧縮します。

カラー MFP :

```
gzip TOSHIBA_ColorMFP_CUPS
```

モノクロMFP :

```
gzip TOSHIBA_MonoMFP_CUPS
```

11 以下のコマンドを入力します。

```
service lpd stop
```

注意

lpdがすでに終了している場合は「Failed」メッセージが表示されます。

- Red Hat Linuxをお使いの場合は、次の手順に進みます。
- Red Hat Linux以外をお使いの場合は、手順15に進みます。

12 Red Hat Linuxをお使いの場合は、以下のコマンドを入力します。

```
/usr/bin/redhat-switch-printer
```

[redhat-switch-printer] ダイアログボックスが表示されます。

13 [CUPS] を選択し、[OK] をクリックします。

[情報] ダイアログボックスが表示されます。

14 [OK] をクリックします。**15** 以下のコマンドを入力します。

```
service cups start
```

16 ブラウザを起動し、「http://localhost:631/」をアドレス欄に入力してCUPSにアクセスします。

[Common UNIX Printing System] ページが表示されます。

注意

IPP SSLが有効の場合は「https://local host:443/」をアドレス欄に入力してCUPSにアクセスします。

補足

Red Hat Linuxをお使いの場合は、以下のコマンドを入力して、「Common UNIX Printing System」ページにアクセスします。

```
/usr/bin/cupsconfig
```

17 [Manage Printers] リンクをクリックします。

[Printer] ページが表示されます。

18 [Add Printer] をクリックします。

19 新しいHTTPプリンタを追加します。

各設定は、以下のように設定してください。

Name: <任意名>

Location: <オプション>

Description: <オプション>

Device: Internet Printing Protocol (http)

Device URL: http://<IPアドレス>:631/Print

Model/Driver: TOSHIBA

注意

IPP SSLが有効の場合は、以下のように設定してください。

- **Device:** Internet Printing Protocol (https)
- **Device URL:** https://<IPアドレス>:443/Print

20 プリンタの追加が正常に完了したメッセージが表示されることを確認します。

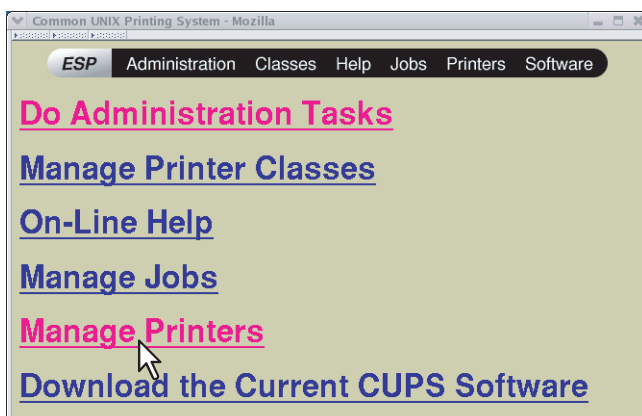
21 引き続いて以下のセクションに進み、印刷オプションの設定を行います。

📖 P.189 「印刷オプションの設定」

□ 印刷オプションの設定

CUPSを使用した印刷ジョブに適用される印刷オプションの設定を行います。

- 1 スタートページの **[Manage Printers]** リンクをクリックします。



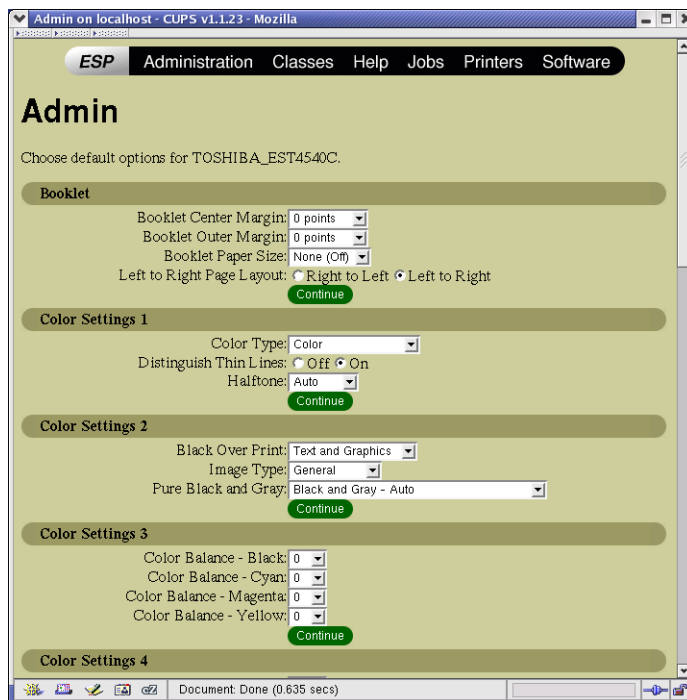
[Printer] ページが表示されます。

- 2 本機を選択し、**[Configure Printer]** をクリックします。



3 表示されたページで、印刷オプションの設定を行います。

- 画面は英文で表示されます。
- アンダーラインの付いたオプションはデフォルト値を示しています。



Booklet (マガジンソート)

項目	選択肢	説明
Booklet Center Margin マガジンソート中央余白	0~36 (3ポイント単位)	見開き印刷されるページの中央の余白を選択します。
Booklet Outer Margin マガジンソート外側余白	0~72 (6ポイント単位)	ページの上下左右の余白を選択します。
Booklet Paper Size マガジンソート用紙サイズ	None (Off) Letter A4 Legal Statement Ledger Folio A3 A5 B4 B5 Computer 13" LG 8.5" SQ 8K 16K	マガジンソート印刷に使用する用紙サイズを選択します。各用紙の片面に2ページずつ印刷され、中折りされます。出力サイズは、用紙サイズの半分になります。
Left to Right Page Layout 左開き	Right to Left <u>Left to Right</u>	左から右に読むように印刷を行う場合にチェックします。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

Color Settings 1 (カラー設定1 : カラー MFP)

項目	選択肢	説明
Color Type カラータイプ	Mono Auto <u>Color</u> Black and Red Black and Green Black and Blue Black and Cyan Black and Magenta Black and Yellow Black and White	印刷ジョブをカラーで印刷するか、モノクロで印刷するか、2色印刷するかを選択します。
Distinguish Thin Lines 細線をはっきりと印刷する	<u>Off</u> , On	細線をはっきりと印刷するかを選択します。
Halftone ハーフトーン	<u>Auto</u> Detail Smooth	印刷時のハーフトーンの処理 (自動、詳細 (高密度) またはスムーズ (諧調をなめらかに)) を選択します。
Resolution 解像度	600dpi 1200dpi 600 x 1200dpi	印刷時の解像度選択します。 注意 <ul style="list-style-type: none"> Resolutionは、e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO2550C Series、e-STUDIO5055C Seriesのみ選択できます。 「600 x 1200dpi」は、e-STUDIO2550C Series、e-STUDIO5055C Seriesのみ選択できます。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

Color Settings 2 (カラー設定2 : カラー MFP)

項目	選択肢	説明
Black Overprint ブラックオーバープリント	Off Text <u>Text and Graphics</u>	黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントする場合にText and Graphicsをします。プリンタはまずフルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキスト、線画を出力します。テキストと背景間のすき間やカラーの版ズレを回避できます。
Image Type 原稿種類	<u>General</u> Photo Presentation Line Art	ジョブタイプの選択に応じて画像をどのように印刷するかを設定します。
PostScript Overprint PostScriptオーバープリント	<u>Off</u> , On	アプリケーション上でオーバープリントの設定をしたオブジェクトをオーバープリント印刷するかを選択します。 注意 Color Settings 1 (カラー設定1) のColor Type (カラータイプ) で [Color] または [Auto] を選択した場合のみ、設定できます。
Pure Black and Gray 黒とグレーの印字方法	Off Black - Auto Black - Text Black - Text & Graphic Black - Text, Graphic & Image <u>Black & Gray - Auto</u> Black & Gray - Text Black & Gray - Text & Graphic Black & Gray - Text, Graphic & Image	黒とグレーの部分をKトナーでどのように印字するかを選択します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確認します。	

Color Settings 3 (カラー設定3 : カラー MFP)

項目	選択肢	説明
Color Balance - Black カラーバランス - 黒	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	黒トナーの印字濃度を設定します。
Color Balance - Cyan カラーバランス - シアン	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	シアントナーの印字濃度を設定します。
Color Balance - Magenta カラーバランス - マゼンタ	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	マゼンタトナーの印字濃度を設定します。
Color Balance - Yellow カラーバランス - 黄	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	黄トナーの印字濃度を設定します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確認します。	

Color Settings 4 (カラー設定4 : カラー MFP)

項目	選択肢	説明
Background Adjustment 背景調整	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	下地濃度を設定します。
Brightness 明るさ	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	明るさを設定します。
Contrast コントラスト	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	コントラストを設定します。
Saturation 彩度	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	彩度を設定します。
Sharpness シャープネス	-4, -3, -2, -1, <u>0</u> , 1, 2, 3, 4	シャープネスを設定します。
Use Sharpness Filter シャープネスフィルタを使用する	<u>Off</u> , On	このオプションをオンにすると、Sharpness (シャープネス) を設定することができます。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確認します。	

Finishing (出カトレイ)

項目	選択肢	説明
Destination 排紙先	Printer's Default Exit Tray Tray 1 Tray 2 Upper Exit Tray Side Exit Tray Job Separator Upper Job Separator Lower	排出先を選択します。 注意 選択できる排紙先は、お使いの機種や装着されているオプションにより異なります。
Folding 中折り	Off, On	中折り印刷を行うかを選択します。
Hole Punch ホールパンチ	Off Long Edge Punch without rotation Short Edge Punch without rotation Long Edge Punch with 180 degree rotation Short Edge Punch with 180 degree rotation	印刷文書にホールパンチ処理（綴じ用の穴開け）をするかを設定します。
Stapling ステイプル	Off Upper Left (Portrait)/ Upper Right (Landscape) Middle Left (Portrait)/ Middle Top (Landscape) Lower Left (Portrait)/ Upper Left (Landscape) Upper Right (Portrait)/ Lower Right (Landscape) Middle Right (Portrait)/ Middle Bottom (Landscape) Lower Right (Portrait)/ Lower Left (Landscape) Middle Top (Portrait)/ Middle Right (Landscape) Middle Bottom (Portrait) /Middle Left (Landscape) Saddle Stitch (Portrait)/ Saddle Stitch (Landscape)	部ごとに用紙をステイプル留めして排紙するかを設定します。 注意 「Saddle Stitch (Portrait)/Saddle Stitch (Landscape)」は、サドルステッチフィニッシャが装着されている場合のみ指定できます。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

General (一般設定)

項目	選択肢	説明
Collate 丁合	Yes, No	丁合を行うかを選択します。
Duplex 両面印刷、とじしろ	1-Sided	片面印刷
	2-Sided, No Tumble (Long-Edge Binding)	両面印刷 (長手綴じ)
	2-Sided, Tumble (Short-Edge Binding)	両面印刷 (短手綴じ)
Media Size 用紙サイズ	A3, A4, A5, A6, B4, B5, Ledger, Legal, Letter, Statement, Folio, Computer, 13" LG, 8.5" SQ, 12×18", 305×457 mm, 8K, 16K, 320×450 mm, 320×460 mm, 13×19"	用紙サイズを選択します。 注意 <ul style="list-style-type: none"> 13×19"は、e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Seriesのみ選択できます。 12×18"、305×457 mm、320×450 mm、320×460 mmは、e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO4540C Series、e-STUDIO5055C Seriesのみ選択できます。
Media Source 給紙元	Auto (Default) Drawer 1 Drawer 2 LCF External LCF Drawer 3 Drawer 4 Bypass Tray	給紙元を選択します。 注意 <ul style="list-style-type: none"> External LCFは、e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Seriesのみ選択できます。 Loops LP301、Loops LP30は、Auto、Drawer 1、Drawer 2、Drawer 3、Drawer 4、Bypass Trayのみ選択できます。
Media Type 用紙タイプ	Plain Plain (Auto) Plain 1 Plain 2 Thick 1 Thick 1 (Back) Thick 2 Thick 2 (Back) Thick 3 Thick 3 (Back) Thick 4 Thick 4 (Back) Transparency Recycled Special 1 Special 1 (Back) Special 2 Special 2 (Back) Thin	用紙タイプを選択します。 注意 <ul style="list-style-type: none"> Plain (Auto)、Plain 1、Plain 2は、e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Seriesのみ選択できます。 Plainは、e-STUDIO4540C Series、e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Series、e-STUDIO5055C Seriesのみ選択できます。 Thick 1 (Back)、Thick 2 (Back)、Thick 3 (Back)、Thick 4 (Back)、Recycled、Special 1、Special 1 (Back)、Special 2、Special 2 (Back)は、e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO4540C Series、e-STUDIO5055C Seriesのみ選択できます。 Thinは、e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Seriesのみ選択できます。 Loops LP301、Loops LP30は、Plainのみ選択できます。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

Options Installed (オプション設定)

項目	選択肢	説明
Model Selection 機種名	TOSHIBA e-STUDIO6570C Series TOSHIBA e-STUDIO6550C Series TOSHIBA e-STUDIO5055C Series TOSHIBA e-STUDIO4540C Series TOSHIBA e-STUDIO2550C Series TOSHIBA e-STUDIO507 Series TOSHIBA e-STUDIO456 Series TOSHIBA e-STUDIO857 Series TOSHIBA e-STUDIO856 Series Loops-LP301_e-STUDIO307LP Loops-LP30_e-STUDIO306LP	
Drawers カセット	Drawer 1 Drawer 1 & LCF Drawer 1 & Drawer 3 Drawer 1 & Drawer 3, 4 Drawer 1 & Drawer 2 Drawer 1, 2 & LCF Drawer 1, 2 & Drawer 3 Drawer 1, 2 & Drawer 3, 4	オプションの給紙カセットの組み合わせを選択します。
Finisher フィニッシャ	e-STUDIO4540C Series <u>Not Installed</u> Hanging Finisher Saddle Stitch Finisher Saddle Stitch Finisher and Hole Punch e-STUDIO6570C Series、 e-STUDIO6550C Series、 e-STUDIO857 Series、 e-STUDIO856 Series <u>Not Installed</u> Saddle Stitch Finisher Saddle Stitch Finisher and Hole Punch e-STUDIO507 Series、 e-STUDIO456 Series <u>Not Installed</u> Saddle Stitch Finisher Saddle Stitch Finisher and Hole Punch Job Separator Offset Tray e-STUDIO2550C Series、 e-STUDIO5055C Series <u>Not Installed</u> Saddle Stitch Finisher Saddle Stitch Finisher and Hole Punch Inner Finisher (2 Trays) Loops LP301、Loops LP30 <u>Not Installed</u> Job Separator	オプションのフィニッシャ類の装着を設定します。

項目	選択肢	説明
External LCF 大容量給紙装置	<u>Not Installed</u> Installed	オプションの大容量給紙装置の装着を設定します。 注意 External LCFは、e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Seriesのみ選択できます。
Harddisk ハードディスク	<u>Not Installed</u> Installed	オプションのハードディスクの装着を設定します。 注意 Harddiskは、e-STUDIO2550C Seriesのみ選択できます。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

Printing Modes (印刷種別)

項目	選択肢	説明
Department Code 部門コード	<u>Disabled</u> (無効) Enabled (有効)	印刷の際に部門コードを使用するかを選択します。 本機が部門コードで管理されている場合に、このオプションを有効にします。
Do not Print Blank Pages 白紙は印字しない	<u>Off</u> , On	白紙ページを印刷するか選択します。
Print Mode 印刷モード	<u>Normal</u> Proof Private - Password Hold	印刷モードを選択します。
Toner Save トナー節約	<u>Off</u> , On	トナーを節約して印刷するかを選択します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

Printing Modes DC (部門コード)

項目	選択肢	説明
Department Code(DC) - Digit 1 to Digit 5 部門コード 1桁目~5桁目	<u>0</u> to 9	上記Printing ModesのDepartment Codeを有効にした場合は、5桁の部門コードを指定します。 使用する部門コードについては、管理者にお問い合わせください。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

Private Document Password (プライベート印刷パスワード)

項目	選択肢	説明
Password - Digit 1 to Digit 5 パスワード 1桁目~5桁目	<u>0</u> to 9	Print Modeで「Private - Password」を選択した場合に、5桁のパスワードを指定します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

Banners (バナー)

項目	選択肢	説明
Starting Banner 書類の前に	<u>none</u>	文書の前にバナーページを挿入して印刷するかを選択します。挿入する場合は、以下から選択します。
	classified	機密扱い
	confidential	極秘
	secret	機密
	standard	標準
	topsecret	最高機密
	unclassified	非機密扱い
Ending Banner 書類の後に	<u>none</u>	文書の後にバナーページを挿入して印刷するかを選択します。挿入する場合は、以下から選択します。
	classified	機密扱い
	confidential	極秘
	secret	機密
	standard	標準
	topsecret	最高機密
	unclassified	非機密扱い
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

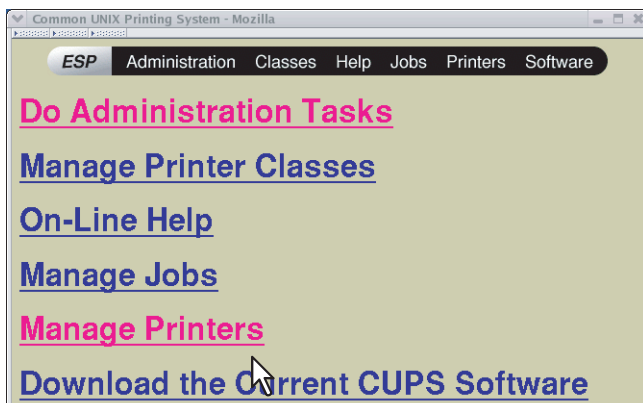
PS Binary Protocol

項目	選択肢	説明
PS Binary Protocol PSバイナリプロトコル	<u>None</u> , TBCP	PostScriptを使用して印刷データをバイナリ処理し、TBCPプロトコルを使って印刷を行うかを選択します。
[Continue] ボタン	上記の選択値を確定します。	

□ プリンタの変更

追加した後にプリンタの設置場所や詳細説明の内容を変更したい場合は、以下の手順で行います。

1 スタートページの [Manage Printers] リンクをクリックします。

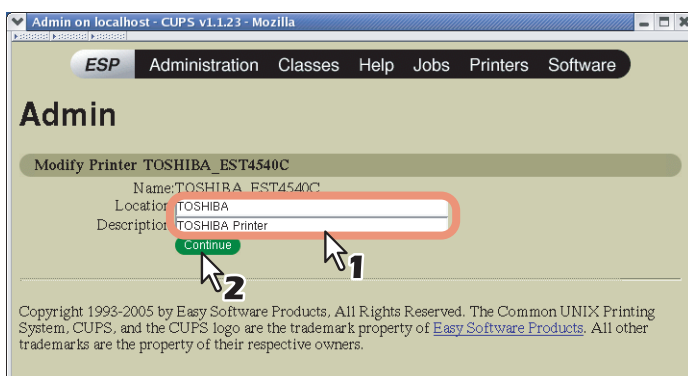


[Printer] ページが表示されます。

2 [Modify Printer] をクリックします。



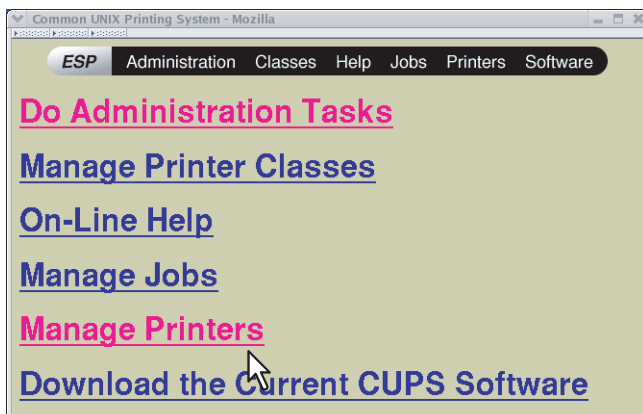
3 設置場所および詳細説明の内容を変更し、[Continue] をクリックします。



□ プリンタのアンインストール

追加したプリンタを削除する場合は、以下の手順で行います。

- 1 スタートページの **[Manage Printers]** リンクをクリックします。



[Printer] ページが表示されます。

- 2 **[Delete Printer]** をクリックします。



プリンタが削除されます。

- 3 **[/usr/share/cups/model/Toshiba]** ディレクトリにコピーしたPPDファイルを削除します。

スキャンドライバ&ユーティリティのインストール

スキャンドライバ&ユーティリティのインストール手順について説明しています。

インストールする前に	202
スキャンドライバ&ユーティリティの種類	202
必要条件	202
スキャンドライバ&ユーティリティのインストール	204
インストール手順	204
WIAドライバをインストールする	207
アンインストールする	211

インストールする前に

この章では、本機からネットワークスキャン機能を使用するために必要なソフトウェアのインストール方法について説明します。インストールを始める前に、この章をよくお読みください。

■ スキャンドライバ&ユーティリティの種類

スキャン機能を使用するには、本機のクライアントソフトウェアである下記ユーティリティをお使いのコンピュータにインストールします。

TWAINドライバ

ファイリングボックスに保管された文書をTWAIN対応アプリケーションに画像として取り込むことができます。

ファイルダウンローダ

ファイリングボックスに保管された文書をお使いのコンピュータのハードディスクにファイルとして取り込むことができます。

Remote Scanドライバ

お使いのWindowsコンピュータからリモート操作でスキャンを行い、スキャンした画像をTWAIN対応アプリケーションに取り込むことができます。

WIAドライバ

お使いのWindowsコンピュータからリモート操作でスキャンを行い、スキャンした画像をWIA対応アプリケーションに取り込むことができます。

■ 必要条件

Windowsコンピュータにスキャンドライバ&ユーティリティをインストールするには、以下の環境が必要です。

- **ディスプレイ解像度**
1024×768ドット以上
- **ディスプレイ色**
High Color（16ビット）以上を推奨
- **CPU**
Pentium 133 MHz（Pentium 266 MHz以上を推奨）
- **OS**
Windows Vista Service Pack 2
Windows 7（Service Pack 1推奨）
Windows 8
Windows Server 2003 Service Pack 2
Windows Server 2008 Service Pack 2
Windows Server 2012

注意

WIAドライバは、Windows Server 2003の64ビット版をサポートしていません。

- **推奨メモリ**
A4/LTサイズの600dpiカラー文書/600dpiブラック文書の取り込み：256MB

□ スキャンドライバ&ユーティリティがすでにインストールされている場合

すでに他のインストールディスクからスキャンドライバ&ユーティリティがインストールされている場合は、本機のインストールディスクからインストールし直し、ソフトウェアをアップデートしてください。

スキャンドライバ&ユーティリティを本機のインストールディスクからインストールする場合は、それらをいったんアンインストールしてから、インストールしてください。また、スキャンドライバ&ユーティリティをアンインストールする際に、設定情報を削除するかを確認するメッセージが表示されるので、[いいえ]をクリックして、設定情報を残すようにします。設定情報を残しておくことで、再度インストールしたときにそのまま設定を引き継ぐことができます。

スキャンドライバ&ユーティリティのインストール

お使いのコンピュータにスキャンドライバやスキャンユーティリティをインストールします。

■ インストール手順

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。ただし、WIAドライバをWindows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012へインストールする場合は、別の手順で操作する必要がありますので下記項目を参照してください。

☞ P.207 「WIAドライバをインストールする」

注意

- Microsoft Office 2013がインストールされているコンピュータに、「Remote Scan driver」、「TWAIN driver」、「WIA driver」のいずれか、または全てをインストールすると、自動的に「TOSHIBA Office Scan Add-In」がインストールされます。
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
なお、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してインストールを実行することができます。
 - インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダを開き、「Setup.exe」をダブルクリックします。
 - [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されますので、「Administrators」のパスワードを入力した後、[はい] ([OK]) をクリックします。

1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

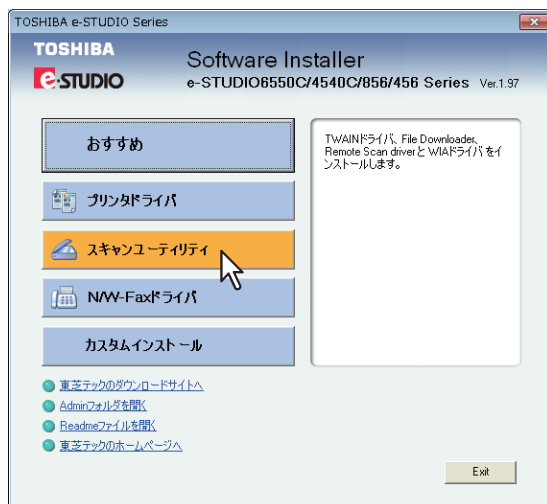
Software Installerが自動的に起動しないときには、インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

2 [使用許諾契約の全条項に同意します。] を選択し、[次へ] をクリックします。



メインメニューが表示されます。

3 [スキャンユーティリティ] をクリックします。



4 インストールするソフトウェアを確認し、[インストール] をクリックします。



- これらをインストールするフォルダを変更できます。[参照] をクリックして [フォルダの参照] ダイアログボックスが表示されたら、インストール先のフォルダを選択して [OK] をクリックします。
- インストールが開始されます。

5 インストールが完了したら、[終了] をクリックします。



メインメニューが表示されます。

注意

再起動を要求する画面が表示されることがあります。その場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックします。

6 [Exit] をクリックします。

インストール作業の終了を確認するメッセージが表示されますので、[はい] をクリックしてください。

■ WIAドライバをインストールする

WIAドライバをWindows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012へインストールします。

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

注意

- WIAドライバのインストールを開始するには、お使いのコンピュータにスキャンユーティリティがインストールされている必要があります。
スキャンユーティリティのインストール方法については、以下のセクションを参照してください。
📖 P.204 「インストール手順」
- Windows Server 2003、Windows Server 2008またはWindows Server 2012をお使いの場合は、WIAドライバをインストールする前に以下の設定を行ってください。
 - Windows Server 2003の場合
[管理ツール] の [サービス] から [Windows Image Acquisition (WIA)] を選択し、スタートアップの種類を [自動] に設定してください。
 - Windows Server 2008の場合
[管理ツール] の [サーバーマネージャー] から [デスクトップエクスペリエンス] をインストールしてください。
[管理ツール] の [サービス] から [Windows Image Acquisition (WIA)] を選択し、スタートアップの種類を [自動] に設定してください。
[管理ツール] の [サービス] から [PnP-X IP Bus Enumerator] を選択し、スタートアップの種類を [自動] に設定してください。
 - Windows Server 2012の場合
[管理ツール] の [サーバーマネージャー] から [デスクトップエクスペリエンス] をインストールしてください。
- インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログインしてください。
ただし、管理者権限以外のユーザでログインしている場合でも、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してインストールを実行することができます。

1 [ネットワーク画面] を表示します。

- Windows 7をお使いの場合
[スタート] → [コンピュータ] → [ネットワーク] の順にクリックします。

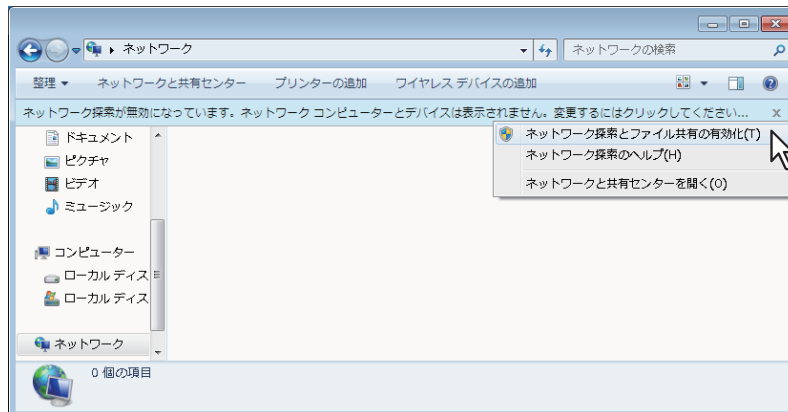


- Windows Vista / Windows Server 2008をお使いの場合
[スタート] → [ネットワーク] をクリックします。



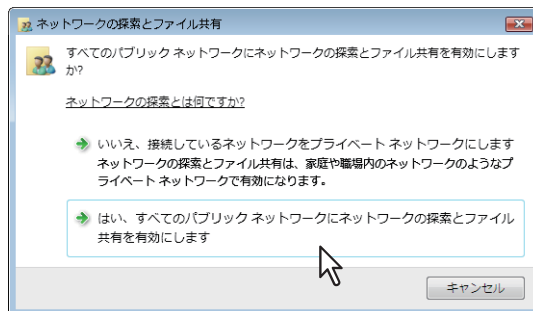
- Windows 8 / Windows Server 2012をお使いの場合は、以下のセクションを参照してください。
📖 P.116 「Windows 8 / Windows Server 2012で [ネットワーク] 画面を表示する」

- 2 [ネットワーク探索とファイル共有が無効になっています。ネットワークコンピューターとデバイスは表示されません。変更するにはクリックしてください] をクリックし [ネットワーク探索とファイル共有の有効化] を選択します。

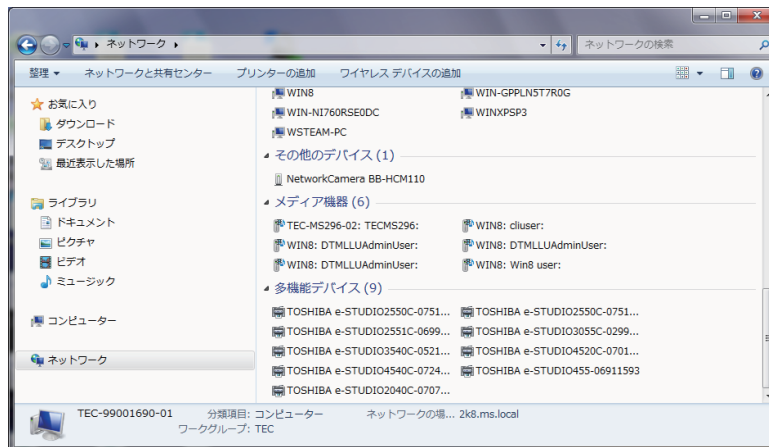


[ネットワークの探索とファイル共有] ダイアログボックスが表示されます。

- 3 [はい、すべてのパブリックネットワークにネットワークの探索とファイル共有を有効にします] をクリックします。



[ネットワーク] 画面に、接続されているコンピュータと多機能デバイスのアイコンが表示されます。

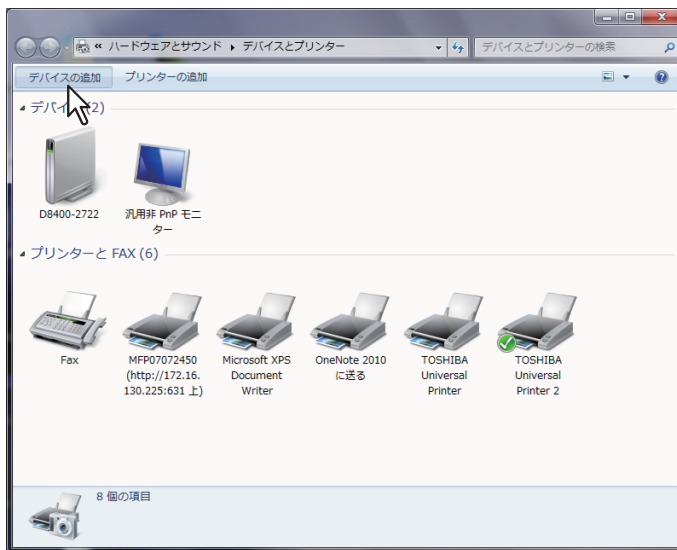


4 [スタート] → [デバイスとプリンター] をクリックして、[デバイスとプリンター] フォルダを開きます。



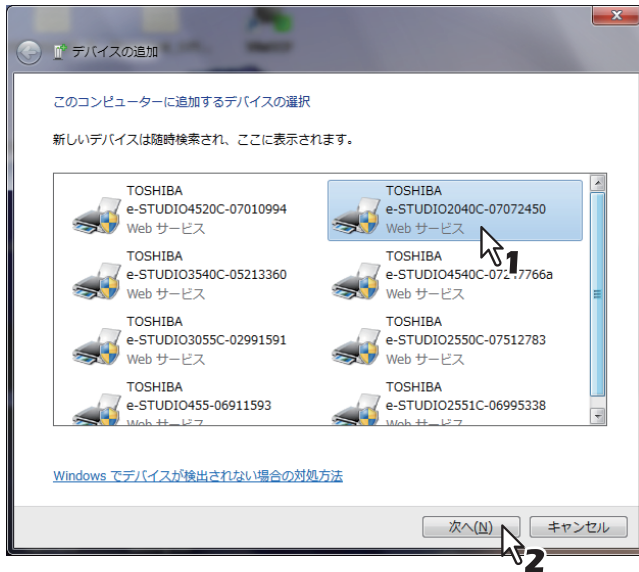
Windows 8 / Windows Server 2012での操作方法は、以下のセクションを参照してください。
P.52 「Windows 8 / Windows Server 2012でプリンタフォルダを表示する」

5 [デバイスの追加] をクリックします。




[デバイスの追加] ダイアログボックスが表示されます。

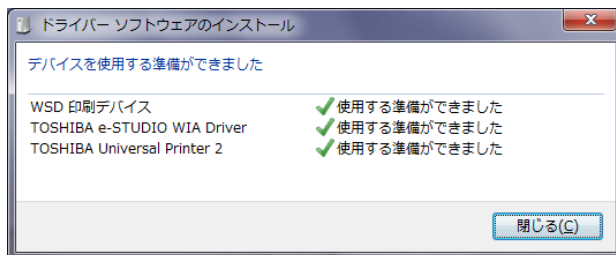
6 本機が多機能デバイスのアイコンを選択し、[次へ] をクリックします。



- Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2012をお使いの場合は、インストールが開始されます。手順8へ進みます。

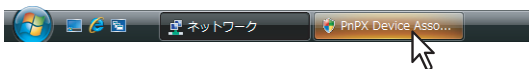
補足

タスクバーに表示される  アイコンをクリックすると、インストール状況を示す下記画面が表示されます。



- Windows VistaまたはWindows Server 2008をお使いの場合は、[PnPX Device Association] がタスクバーに表示されます。次の手順に進んでください。

7 タスクバーに表示された [PnPX Device Association] をクリックします。



インストールが開始されます。

8 インストールが完了します。

アンインストールする

スキャンドライバ&ユーティリティを削除する場合は、コントロールパネルのプログラムをアンインストールするメニューで削除したいソフトウェアを選択して行います。アンインストールの手順については、以下を参照してください。
☞ P.226 「クライアントソフトウェアの削除」

WIAドライバのアンインストール

- Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008をお使いの場合
インストール時の手順1~2と同様に、[ネットワーク] 画面で本機を選択して右クリックし、[アンインストール] をクリックしてください。アンインストールが実行されます。
- Windows 8 / Windows Server 2012をお使いの場合
[デバイスとプリンター] フォルダを開き、本機を選択して右クリックし、表示されるメニューから [デバイスの削除] を選択してください。
Windows 8 / Windows Server 2012での [デバイスとプリンター] フォルダの表示方法は、以下のセクションを参照してください。
☞ P.52 「Windows 8 / Windows Server 2012でプリンタフォルダを表示する」

TOSHIBA Office Scan Add-Inのアンインストール

TOSHIBA Office Scan Add-Inをアンインストールする場合は、コントロールパネルのプログラムをアンインストールするメニューで削除したいソフトウェアを選択して行います。アンインストールを行う際は、以下の項目を参照してください。
☞ P.226 「クライアントソフトウェアの削除」

ネットワークファクスユーティリティのインストール

N/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerのインストール方法について説明します。

インストールする前に	214
ネットワークファクスユーティリティの種類	214
必要条件	214
ネットワークファクスユーティリティのインストール	215
Web Serviceプリントによるインストール	217
ネットワークファクスユーティリティのアンインストール	218
N/W-Faxドライバのアンインストール	218
AddressBook Viewerのアンインストール	218

インストールする前に

この章では、本機からファクス送信を実行したり、オンラインアドレス帳を使用するために必要なソフトウェアのインストール方法について説明します。インストールを始める前に、この章をよくお読みください。

■ ネットワークファクスユーティリティの種類

ネットワークファクス機能を使用するには、本機のクライアントソフトウェアである下記ユーティリティをお使いのコンピュータにインストールします。

N/W-Faxドライバ

N/W-Faxドライバでは、宛先リストをセットアップし、お使いのコンピュータから複数の宛先またはグループへ電子文書を送信することができます。また、さまざまなファクスプロパティを設定することができます。プロパティは、送信者や宛先の情報に関する属性を示します。属性には、ダイヤリングオプション、送信者の情報、解像度やページレイアウトなど、ファクスジョブを処理するときに必要なパラメータが設定されています。

その他の特長として、ファクスを送信する日時を指定できる時刻指定機能があります。また、カスタマイズした送信状ページを送信時に添付するオプションもあります。このページには、送信者や宛先のファクス情報および詳細メッセージを含めることができます。送信状ページに印刷する送信者や宛先の情報は、簡単に管理することができます。

AddressBook Viewer

AddressBook Viewerを使用すると、連絡先のファクス番号やEメールアドレスを簡単に管理することができます。また本機アドレス帳をアップロードして使用することもできます。AddressBook Viewerで管理している連絡先は、ネットワークファクスで文書をファクス送信またはインターネットファクス送信する際に使用することができます。

■ 必要条件

WindowsコンピュータにN/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerをインストールするには、以下の環境が必要です。

- **ディスプレイ解像度**
1024×768ドット以上
- **ディスプレイ色**
High Color（16ビット）以上を推奨
- **CPU**
Pentium 133 MHz（Pentium 266 MHz以上を推奨）
- **メモリ**
OSと同等の必要メモリ容量
- **OS**
Windows Vista Service Pack 2
Windows 7（Service Pack 1推奨）
Windows 8
Windows Server 2003 Service Pack 2
Windows Server 2008 Service Pack 2
Windows Server 2012

N/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerがすでにインストールされている場合

すでに他のインストールディスクからN/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerがインストールされている場合は、本機のインストールディスクからインストールし直し、ソフトウェアをアップデートしてください。

N/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerを本機のインストールディスクからインストールする場合は、それらをいったんアンインストールしてから、インストールしてください。

また、AddressBook Viewerをアンインストールする際に、設定情報を削除するかを確認するメッセージが表示されるので、[いいえ]をクリックして、設定情報を残すようにします。設定情報を残しておく、再度インストールしたときにそのまま設定を引き継ぐことができます。

ネットワークファクスユーティリティのインストール

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

なお、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してインストールを実行することができます。

- インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダを開き、「Setup.exe」をダブルクリックします。
- [ユーザアカウント制御] ダイアログボックスが表示されますので、管理者のパスワードを入力した後、[はい] ([OK]) をクリックします。

1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

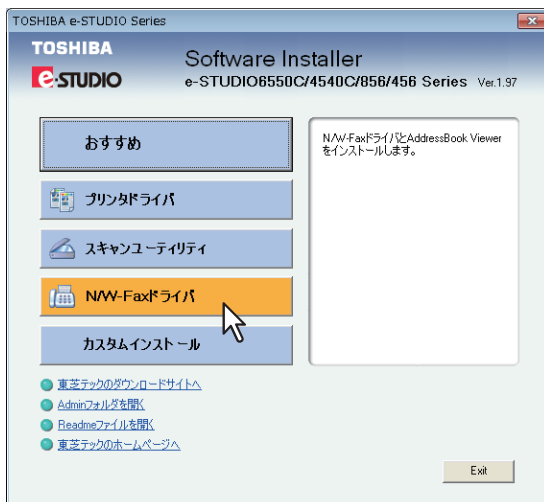
Software Installerが自動的に起動しないときには、インストールディスクの「e-STUDIO」フォルダをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、Software Installerを起動してください。

2 [使用許諾契約の全条項に同意します。] を選択し、[次へ] をクリックします。



メインメニューが表示されます。

3 [N/W-Faxドライバ] をクリックします。



4 インストールするソフトウェアを確認し、[インストール] をクリックします。



これらをインストールするフォルダを変更できます。[参照] をクリックして [フォルダの参照] ダイアログボックスが表示されたら、インストール先のフォルダを選択して [OK] をクリックします。

注意

目的の東芝複合機を検出するためにSNMP設定を確認／変更する場合は、以下のセクションの手順4を参照してください。

📖 P.28 「おすすめインストール手順」

以降の手順は、プリンタドライバのインストールを行うときと同様ですので、ここでは説明を省略しています。接続環境に応じて以下の項目を参照してください。

📖 P.43 「Raw TCP/LPR印刷」

📖 P.55 「SMB印刷」

Web Serviceプリントによるインストール

Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012 へWSD (Web Services on Devices) プロトコルを使用してN/W-Faxドライバをインストールします。インストールの手順は、プリンタドライバのインストールを行うときと同様ですので、ここでは説明を省略しています。インストールを行う際は、以下の項目を参照してください。

📖 P.112 「Web Serviceプリント」

ネットワークファクスユーティリティのアンインストール

N/W-FaxドライバおよびAddressBook Viewerをアンインストールする場合は、以下の手順で行います。

■ N/W-Faxドライバのアンインストール

N/W-Faxドライバをアンインストールします。アンインストールの手順は、プリンタドライバのアンインストールを行うときと同様ですので、ここでは説明を省略しています。アンインストールを行う際は、以下の項目を参照してください。

📖 P.123 「プリンタドライバのアンインストール」

■ AddressBook Viewerのアンインストール

AddressBook Viewerをアンインストールする場合は、コントロールパネルのプログラムをアンインストールするメニューで削除したいソフトウェアを選択して行います。アンインストールを行う際は、以下の項目を参照してください。

📖 P.226 「クライアントソフトウェアの削除」

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール

Backup/Restore Utilityのインストール方法について説明します。

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityをインストールする前に	220
必要条件	220
ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール	221
アンインストールする	224

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityをインストールする前に

この章では、Backup/Restore Utilityを使用するために必要なソフトウェアのインストール方法について説明します。インストールを始める前に、この章をよくお読みください。

■ 必要条件

WindowsコンピュータにファイリングボックスBackup/Restore Utilityをインストールするには、以下の環境が必要です。

- **ディスプレイ解像度**
1024×768ドット以上
- **ディスプレイ色**
High Color（16ビット）以上を推奨
- **CPU**
Pentium 133 MHz（Pentium 266 MHz以上を推奨）
- **メモリ**
OSと同等の必要メモリ容量
- **OS**
Windows Vista Service Pack 2
Windows 7（Service Pack 1推奨）
Windows 8
Windows Server 2003 Service Pack 2
Windows Server 2008 Service Pack 2
Windows Server 2012
- **必要なソフトウェア**
Microsoft Internet Explorer 5.5 Service Pack 2またはそれ以上（IPv6環境での使用時にはInternet Explorer 7.0以上）
Microsoft Internet Explorerを使ってファイリングボックスWebユーティリティにアクセス可能なこと

注意

- ファイリングボックスBackup/Restore Utilityは、上記OSの64ビット版をサポートしていません。
- ファイリングボックスBackup/Restore Utilityを使ってファイリングボックスデータをバックアップまたはリストアするには、本機のFTPサーバー設定が有効になっている必要があります。

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityのインストール

お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

注意

インストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。

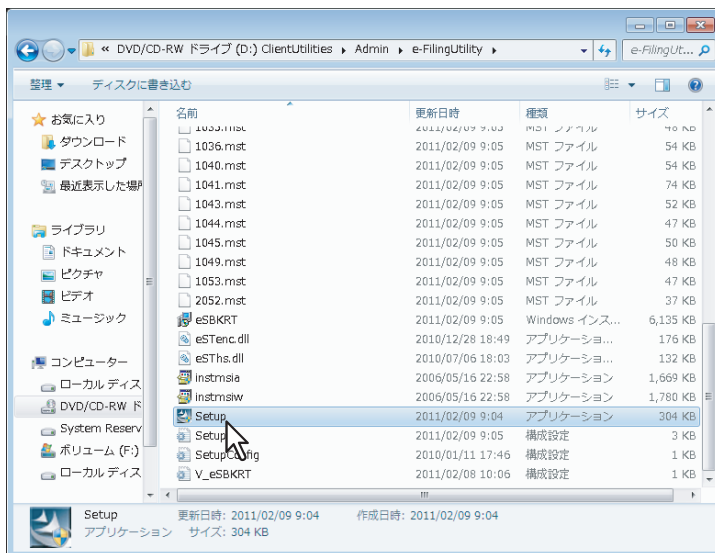
なお、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012の場合、以下の手順によりユーザアカウントを一時的に変更してインストールを実行することができます。

- インストールディスクの「Admin¥e-FilingUtility」フォルダを開き、「setup.exe」をダブルクリックします。
- [ユーザアカウント制御] ダイアログボックスが表示されますので、管理者のパスワードを入力した後、[はい] ([OK]) をクリックします。

1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

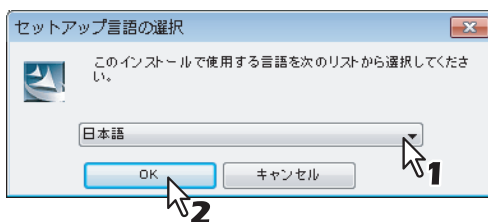
インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

2 インストールディスクの「Admin¥e-FilingUtility」フォルダを開き、「setup.exe」をダブルクリックします。

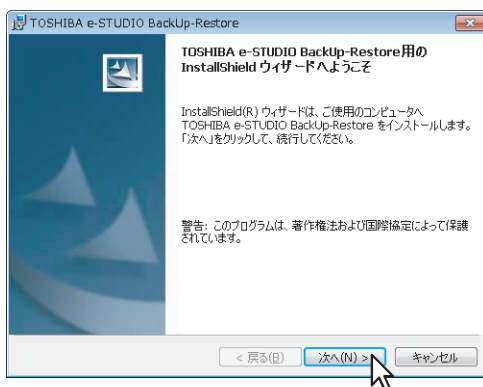


言語選択のウィンドウが表示されます。

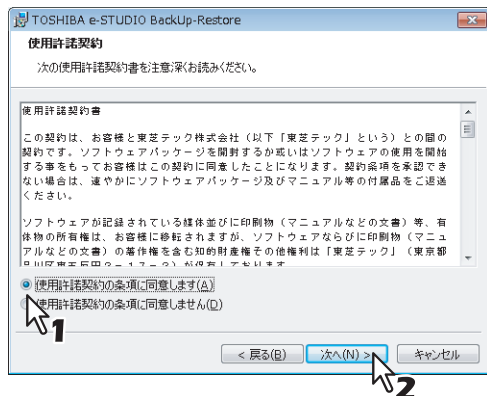
3 使用する言語を選択し、[OK] をクリックします。



4 [次へ] をクリックします。

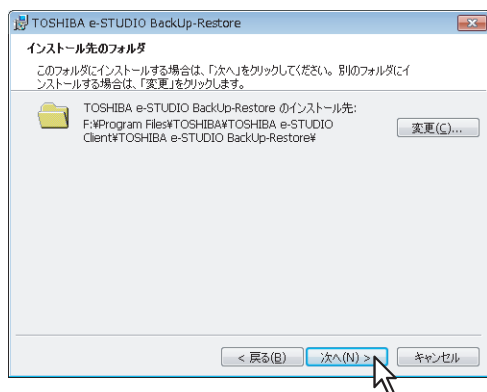


5 [使用許諾契約の全条項に同意します。] を選択し、[次へ] をクリックします。



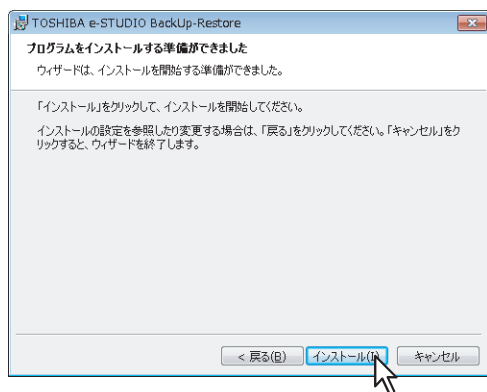
[インストール先のフォルダ] ダイアログボックスが表示されます。

6 [次へ] をクリックします。



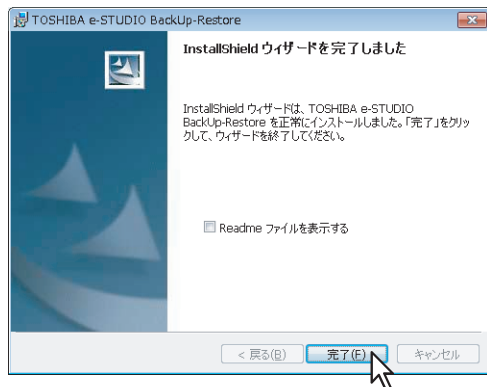
- インストール先のフォルダを変更する場合は、[変更] をクリックして [インストール先フォルダの変更] ダイアログボックスが表示されたら、インストール先のフォルダを選択して [OK] をクリックします。
- インストールの開始を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 [インストール] をクリックします。



インストールが開始されます。

8 [完了] をクリックします。



インストールを完了します。

注意

再起動を要求する画面が表示されることがあります。その場合は、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックします。

アンインストールする

ファイリングボックス Backup/Restore Utility を削除する場合は、コントロールパネルのプログラムをアンインストールするメニューで削除したいソフトウェアを選択して行います。アンインストールの手順については、以下を参照してください。

📖 P.226 「クライアントソフトウェアの削除」

インストールのメンテナンス

このセクションでは、クライアントソフトウェアの削除および修復方法について説明しています。

クライアントソフトウェアの削除	226
Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012	226
Windows Server 2003	230
クライアントソフトウェアの修復	232

クライアントソフトウェアの削除

クライアントソフトウェアを削除します。
お使いのWindowsコンピュータのバージョンに合わせて操作を行ってください。

- 📖 P.226 「Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012」
- 📖 P.230 「Windows Server 2003」

注意

- プリンタドライバおよび N/W-Fax ドライバはセットアッププログラムによる削除はできません。これらを削除したい場合は、以下の手順を参照してください。
📖 P.123 「プリンタドライバのアンインストール」
- クライアントソフトウェアを削除するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。
ただし、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012の場合、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更して操作を実行することができます。

■ Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012

- 1 [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、[プログラムのアンインストール] をクリックします。



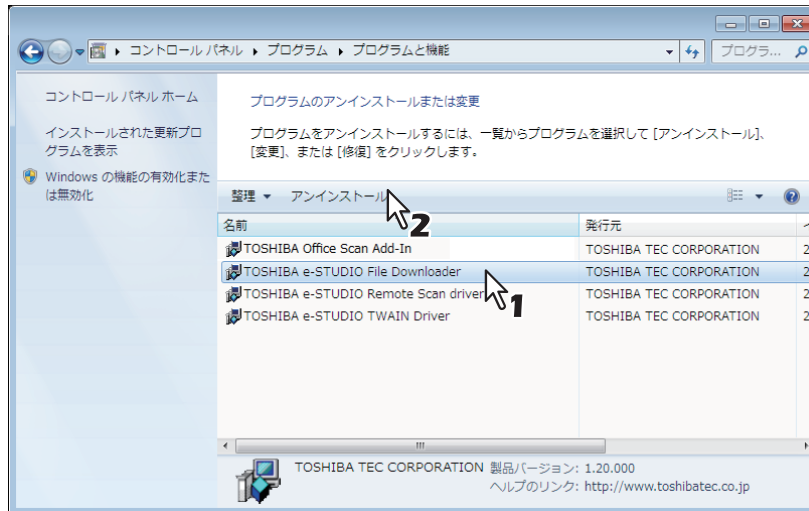
[プログラムのアンインストールまたは変更] ダイアログボックスが表示されます。

補足

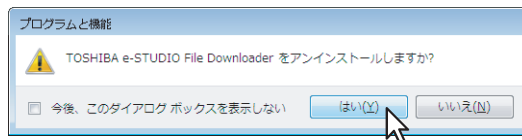
Windows 8 / Windows Server 2012での [プログラムのアンインストールまたは変更] 画面の表示方法は、以下のセクションを参照してください。

- 📖 P.228 「Windows 8 / Windows Server 2012で[プログラムのアンインストールまたは変更]画面を表示する」

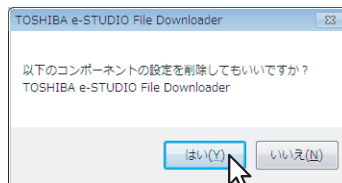
2 一覧から削除したいソフトウェアを選択し、[アンインストール] をクリックします。



3 [はい] をクリックします。



4 設定ファイルを削除する場合は、[はい] をクリックします。



ファイルの削除を開始します。

注意

[いいえ] をクリックした場合は、設定情報は削除されず残り、次回のインストール時に引き継がれます。

□ Windows 8 / Windows Server 2012で【プログラムのアンインストールまたは変更】画面を表示する

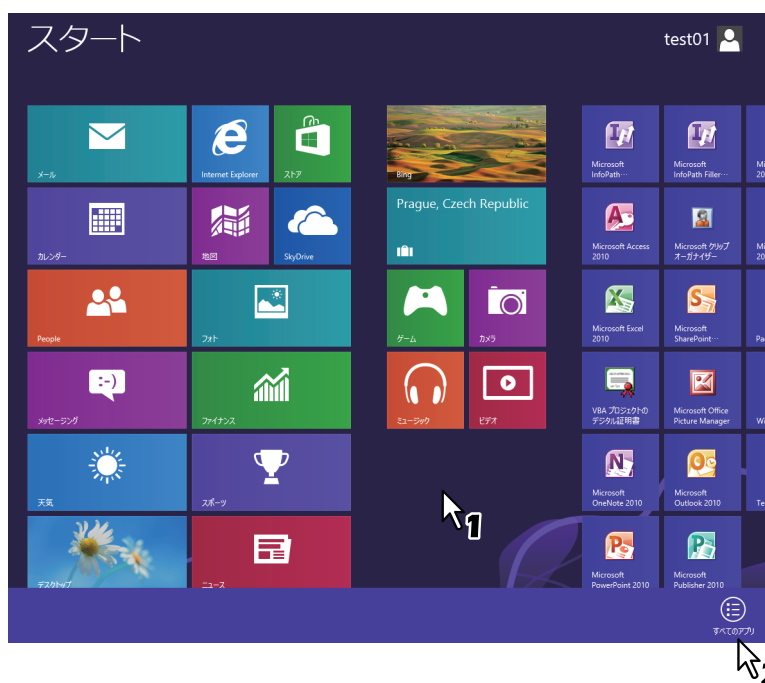
Windows 8 / Windows Server 2012をお使いの場合は、以下の手順で【プログラムのアンインストールまたは変更】画面を表示します。

- 1 カーソルを画面の右上隅または右下隅に移動させ、表示メニューから【スタート】を選択します。



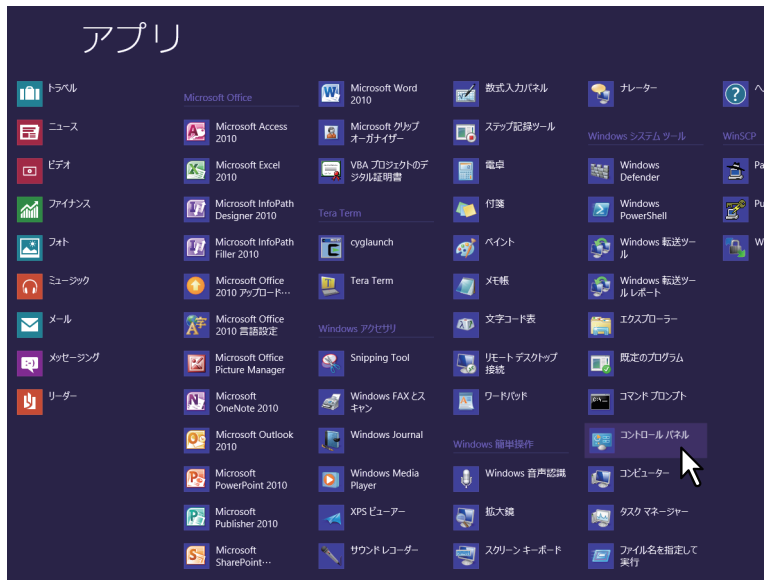
【スタート】画面が表示されます。

- 2 【スタート】画面の空白エリアを右クリックし、表示された【すべてのアプリ】をクリックします。



【アプリ】画面が表示されます。

3 [コントロールパネル] をクリックします。



[すべてのコントロールパネル項目] 画面が表示されます。

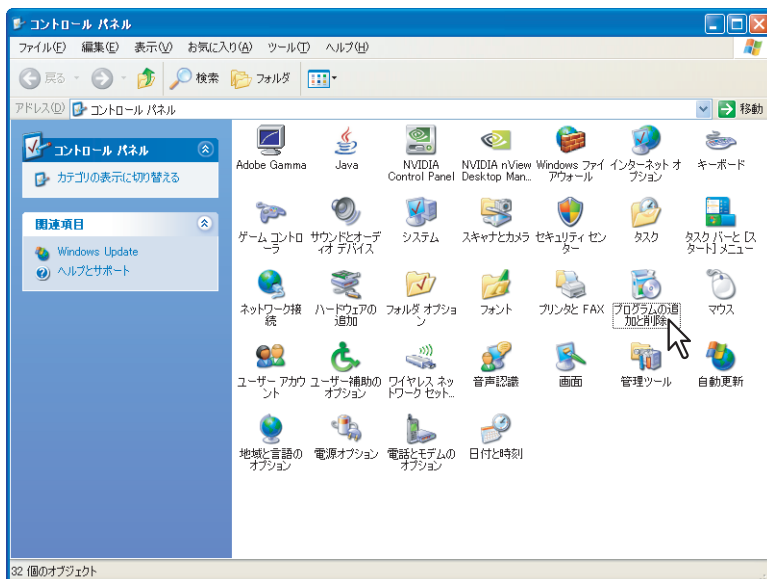
4 [プログラムと機能] をクリックします。



[プログラムのアンインストールまたは変更] 画面が表示されます。

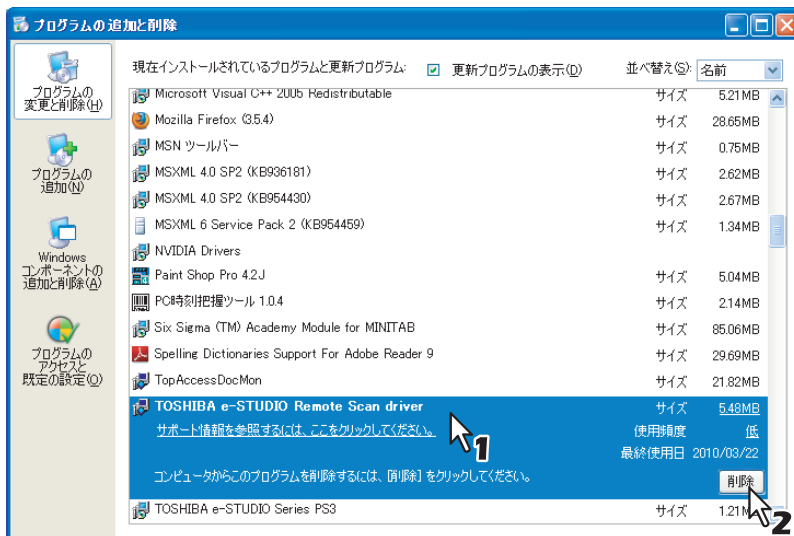
■ Windows Server 2003

- 1 [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、[プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。

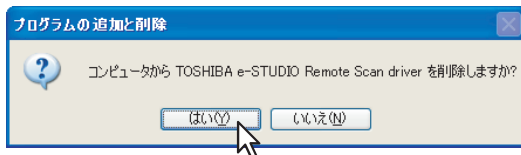


[プログラムの追加と削除] ダイアログボックスが表示されます。

- 2 一覧から削除したいソフトウェアを選択し、[削除] をクリックします。



- 3 [はい] をクリックします。



4 設定ファイルを削除する場合は、[はい] をクリックします。



ファイルの削除を開始します。

注意

[いいえ] をクリックした場合は、設定情報は削除されず残り、次回のインストール時に引き継がれます。

クライアントソフトウェアの修復

クライアントソフトウェアが正常に使用できない場合は、クライアントソフトウェアの修復を行ってください。

注意

- プリンタドライバ、N/W-FaxドライバおよびWIAドライバはセットアッププログラムによる修復はできません。これらを修復したい場合は、いったんドライバの削除を行い、再インストールしてください。
- クライアントソフトウェアを修復するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。ただし、Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012の場合、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、[ユーザアカウント制御] ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更して操作を実行することができます。

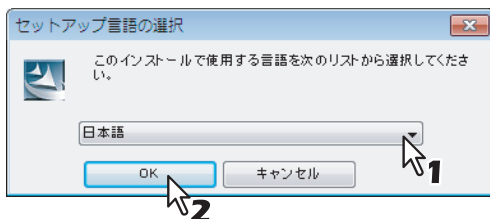
1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

インストールディスクをセットすると、自動的にSoftware Installerが起動することがあります。この場合は、表示されたメインメニューの [Exit] をクリックしてSoftware Installerを終了します。

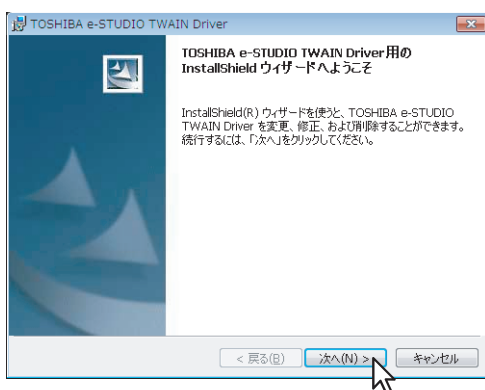
2 修復したいソフトウェアのフォルダを開き、「Setup.exe」をダブルクリックします。

- TWAINドライバ (32ビット版のコンピュータをお使いの場合)
[インストールディスク] : ¥Client ¥TWAIN ¥32bit ¥
- TWAINドライバ (64ビット版のコンピュータをお使いの場合)
[インストールディスク] : ¥Client ¥TWAIN ¥64bit ¥
- ファイルダウンローダ
[インストールディスク] : ¥Client ¥FD
- Remote Scanドライバ (32ビット版のコンピュータをお使いの場合)
[インストールディスク] : ¥Client ¥RS ¥32bit ¥
- Remote Scanドライバ (64ビット版のコンピュータをお使いの場合)
[インストールディスク] : ¥Client ¥RS ¥64bit ¥
- AddressBook Viewer (32ビット版のコンピュータをお使いの場合)
[インストールディスク] : ¥Client ¥ADRBK ¥32bit
- AddressBook Viewer (64ビット版のコンピュータをお使いの場合)
[インストールディスク] : ¥Client ¥ADRBK ¥64bit
- TOSHIBA Office Scan Add-In
[インストールディスク] : ¥Admin ¥Add-In ¥

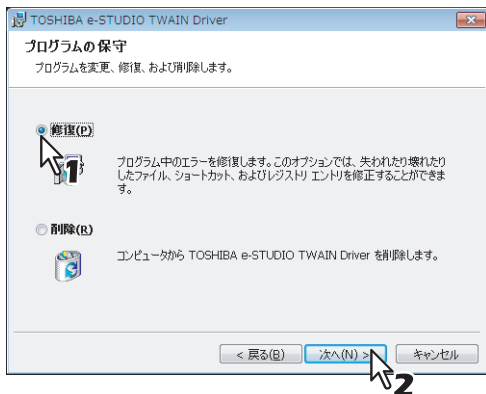
3 使用する言語を選択し、[OK] をクリックします。



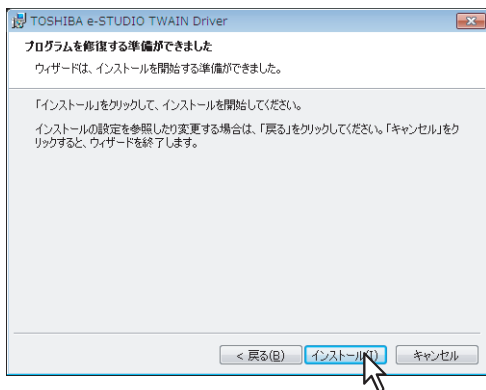
4 [次へ] をクリックします。



5 [修復] を選択し、[次へ] をクリックします。

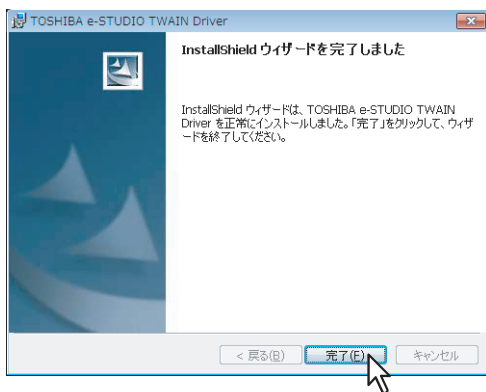


6 [インストール] をクリックします。



ファイルの修復を開始します。

7 [完了] をクリックしてウィザードを終了します。



索引

A	
AddressBook Viewer	14, 214
L	
LPR印刷	37
M	
Macintosh Bonjour印刷	
Mac OS X	144, 153, 163
Macintosh IPP印刷	141, 150, 160
Macintosh LPR印刷	138, 147, 156
N	
N/W-Faxドライバ	214
NDPSモード	22
NDSモード	21
NetWareプリントサーバー	21
Novell iPrint	25
Novell iPrint印刷	38
Novell印刷	37
P	
PostScriptプリンタ記述ファイル	130
PS3プリンタドライバ	36
R	
Remote Scanドライバ	14, 202
T	
TWAINドライバ	14, 202
U	
Universal Printer 2ドライバ	36
Universal PS3プリンタドライバ (PostScript)	36
Universal XPSプリンタドライバ	36
UNIX/Linuxプリントキュー	
デフォルト設定の変更	176
プリントキューの削除	176
プリントキューの作成	171
USB印刷	88
W	
Web Serviceプリント	38
WIAドライバ	14, 202
あ	
アンインストール	123
い	
インストール	
Mac OS X 10.2.4 - 10.6.x	131
UNIX/Linuxフィルタ	169
インターネット印刷	37
は	
はじめに	1
ひ	
必要条件	
CPU	214, 220
Macintosh	130
OS	214, 220
UNIX/Linux	169
Windows	36
ディスプレイ解像度	214, 220
ディスプレイ色	214, 220
メモリ	214, 220
ふ	
ファイルダウンローダ	14, 202
プラグイン	135
プリンタドライバ	14

FC-5540C/6540C/6550C
FC-2540C/3540C/4540C
DP-2530/3590/4590/5010
DP-6560/8560
FC-2050C
FC-2555C/3555C/4555C/5055C
DP-3030
DP-3031
FC-5560C/6560C/6570C
DP-2572/3572/4572/5072
DP-6570/8570
OMJ120009H0

東芝デジタル複合機 / デジタル複写機
インストールガイド

東芝テック株式会社

